内容一覧

普通紙 / 専用紙に印刷

ハガキに印刷

封筒に印刷

印刷の中止方法

目的別の印刷方法

基本的な取り込み方法

トラブル対処方法（印刷関連）

各画面と項目の説明

各画面と項目の説明（TWAIN ドライバ関連）

プリンタドライバ関連情報

サービス・サポートのご案内

その他の情報

普通紙 / 専用紙に印刷

最適な普通紙 / 専用紙の選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種用紙をご用意しております。市販の普通紙にも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、エプソン製の専用紙をご使用になることをお勧めします。
以下では、本機で印刷できるエプソン製の用紙と市販の用紙についてご説明します。用途に合った用紙を選択してください。

エプソン製の用紙

注 意

一部専用紙に同梱されている「クリーニングシート」は、本機では紙送りの機構上ご使用になれません。

写真用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
フォト・プリント紙 2	厚口タイプの光沢紙です。 写真並の色鮮やかさをお手ごろな価格で実現できます。	A4	20	PMA4SP1
			50	KA450PP2

光沢フィルム

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用光沢フィルム	光沢感のある写真の印刷に適した、破れにくいフィルムです。	A6	10	MJA6CP1
		A4	20	MJA4SP6

文書などの印刷に適した専用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
スーパーファイン専用紙 2	写真やイラストなどが入った文書の印刷に最適な用紙です。	B5	100	KB5100SF2
		A4	100	KA4100SF2
上質普通紙	ビジネス文書やホームページの印刷に適したインクジェット用の普通紙です。 特に黒インクの発色に優れています。	A4	250	KA4250NP
両面上質普通紙（再生紙）	ビジネス文書やホームページの印刷に適したインクジェット用の両面普通紙です。 ※両面上質普通紙は古紙配合 100% 再生紙です。なお、本機は両面印刷機能に対応していません。	A4	250	KA4250NPD

特殊用紙

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番

アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、衣類（綿 100% または綿 50% 以上の混紡）に転写することのできる用紙です。オリジナルの T シャツなどができます。	A4	5	MJTRSP1
ミニフォトシール	小さなシールを作ることができる用紙です。16 分割シールに対応したアプリケーションソフトから印刷してください。	ハガキサイズ（16 分割）	5	MJHSP5
スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーを作ることができる裏面のり付きのラベルシールです。好きな形に切り取って貼ることができます。	A4	10	MJA4SP5
専用 OHP シート	写真やグラフなどが入った印刷に最適な OHP シートです。	A4	10	KA410SOHP
			30	MJOHPS1N
フォトカード 2	余白の裁ち落としができるミシン目付きの用紙です。	114 × 175mm（ミシン目切り取り後 102 × 152mm）	20	PMZSP1
フォト光沢名刺カード	写真やイラストが入った名刺を作るのに最適な用紙です。	A4 サイズ（8 分割）	10	KNC10PP

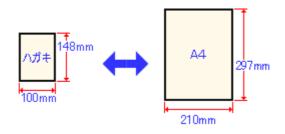
市販の用紙

一般に販売されている事務用普通紙をご利用ください。

注 意

坪量 64 〜 90g/m^2、厚さ 0.08 〜 0.11mm の範囲のものを使用してください。

印刷できる用紙のサイズ

本機にセットして印刷することのできる定形の用紙サイズは、最小で 100 × 148mm（ハガキ）、最大で 210 × 297mm（A4）です。

ポイント

プリンタドライバでは、ユーザー定義サイズとして以下の用紙サイズが設定できます。
Windows 98/Me　: 最小 89 × 89mm、最大 241.3 × 1117.6mm
Windows 2000/XP　: 最小 89 × 89mm、最大 241.3 × 3276.7mm
Macintosh　: 最小 88.9 × 88.9mm、最大 558.8 × 1117.6mm
ただし、この設定可能範囲には通紙保証外のサイズも含まれますので、上記の定形サイズに拡大 / 縮小して印刷することをお勧めします。

普通紙 / 専用紙のセット方法

ここでは、普通紙 / 専用紙のセット方法についてご説明します。

注意

エプソン製専用紙をセットする前に、必ず用紙に添付の取扱説明書をご覧ください。

ポイント

各種用紙（普通紙を除く）は、一般の室温環境（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。

1. 本機の電源をオンにします。
2. 排紙サポートを手前に倒し、エッジガイドをセットする用紙の幅よりやや広い位置まで移動します。

3. 用紙を図のようによくさばき、端をそろえます。

注意

- 用紙が反っている場合は、反りを修正してください。

- フチなし全面印刷や印刷領域を［最大］に設定して印刷するときは、特に用紙の反りを厳密に修正してください。反っている用紙を使用すると、用紙の下端がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合には用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

4. **印刷する面を手前側にして、用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせながら縦方向にセットします。続いて、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。**

専用紙によって、印刷面やセット可能枚数が異なります。また、給紙補助のためにシートまたは普通紙を用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表を参照してセットしてください。

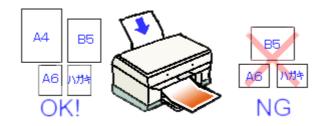
用紙	セット可能枚数	印刷面	給紙補助
市販の普通紙	マークまで	－	必要ありません
上質普通紙	マークまで	－	必要ありません
両面上質普通紙＜再生紙＞	マークまで	－	必要ありません
スーパーファイン専用紙 2	30 枚	より白い面	必要ありません
フォト・プリント紙 2	20 枚	より光沢のある面	必要ありません
アイロンプリントペーパー	1 枚	白紙の面（印刷がない面） 切り落とされた角がある場合は、その角が右上にくる面	必要ありません
スーパーファイン専用光沢フィルム	A6：1 枚	切り落とされた角が右上にくる面 印刷面	普通紙 （A6 の場合は、給紙補助シート）
	A4：20 枚		
専用 OHP シート	1 枚		普通紙
ミニフォトシール	1 枚		給紙補助シート A/B
フォト光沢名刺カード	1 枚		給紙補助シート
スーパーファイン専用ラベルシート	1 枚	EPSON ロゴの印刷されていない面	必要ありません
フォトカード 2	20 枚	より光沢のある面	給紙補助シート

ポイント

- 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されています。
- 給紙補助シートは、セット可能枚数に含まれません。

注 意

用紙のセット方向について
用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、正常に印刷や排紙ができません。（往復ハガキのみ、横方向にセットします。）

A4
B5
A6
ハガキ
OK!
B5
A6
ハガキ
NG

普通紙 / 専用紙への印刷方法

ここでは、普通紙 / 専用紙への基本的な印刷方法をご説明します。

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

ポイント

本機のプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本機のプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本機のプリンタドライバを選択してください。

2. ［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

1	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズを、ポップアップメニューから選択します。
2	給紙装置	［オートシートフィーダ］を選択します。
3	印刷方向	印刷方向を選択します。［用紙設定］画面の左部で、印刷方向のイメージを確認できます。

ポイント

［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「用紙設定画面」

3. ［印刷］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］などの項目をクリックします。

4. ［印刷］画面の各項目を設定します。

<table>
<tr><td>1</td><td>印刷部数</td><td colspan="2">印刷部数を入力します。</td></tr>
<tr><td rowspan="13">2</td><td rowspan="13">用紙種類</td><td colspan="2">本機にセットした用紙の種類を、ポップアップメニューから選択します。</td></tr>
<tr><td>セットした用紙</td><td>用紙種類</td></tr>
<tr><td>上質普通紙</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td>両面上質普通紙</td><td>普通紙</td></tr>
<tr><td>フォト・プリント紙 2</td><td>フォトプリント紙</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用紙 2</td><td>スーパーファイン専用紙 2</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用光沢フィルム</td><td>専用光沢フィルム</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール</td><td>専用光沢フィルム</td></tr>
<tr><td>アイロンプリントペーパー</td><td>アイロンプリントペーパー</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン専用ラベルシート</td><td>スーパーファイン専用紙 2</td></tr>
<tr><td>専用 OHP シート</td><td>専用 OHP シート</td></tr>
<tr><td>フォトカード 2</td><td>フォトプリント紙</td></tr>
<tr><td>フォト光沢名刺カード</td><td>フォトプリント紙</td></tr>
<tr><td>3</td><td>インク</td><td colspan="2">［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>モード</td><td colspan="2">印刷モードを設定します。
ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択することをお勧めします。</td></tr>
</table>

［印刷］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「印刷画面」

5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷が開始されます。

ポイント

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。

「印刷後の用紙の保存方法」

ハガキに印刷

最適なハガキの選択

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種ハガキをご用意しております。官製ハガキにも印刷することはできますが、よりきれいに印刷するためには、エプソン製の専用ハガキをご使用になることをお勧めします。以下では、本機で印刷できるエプソン製のハガキと官製ハガキについてご説明します。用途に合ったハガキを選択してください。

エプソン製のハガキ

用紙名	特長	サイズ	入り数	型番
フォト・クォリティ・カード 2	光沢感のあるハガキです。写真を使っての年賀状やバースデイカード作りに最適です。	ハガキ	20	PMHSP1
スーパーファイン専用ハガキ	お手ごろな価格で、写真を使っての年賀状やバースデイカードを作ることができるハガキです。	ハガキ	50	MJSP5

注意

一部のエプソン製ハガキに同梱されている「クリーニングシート」は、本機では紙送りの機構上ご使用になれません。

官製ハガキ

官製ハガキをご利用ください。インクジェット対応の官製ハガキもご利用いただけます。

注意

- 往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
- 市販の再生紙ハガキなどは、正常に給紙できないおそれがあります。

ハガキのセット方法

ここでは、ハガキのセット方法をご説明します。

注 意

エプソン製のハガキをセットする前に、必ずハガキに添付の取扱説明書をご覧ください。

1. 本機の電源をオンにします。

2. 排紙サポートを手前に倒し、エッジガイドをセットする用紙の幅よりやや広い位置まで移動します。

3. ハガキを図のようによくさばき、端をそろえます。

ポイント

用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

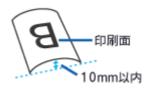
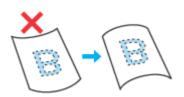
4. 印刷する面を手前側にして、ハガキをオートシートフィーダの右側に沿わせて縦方向にセットします。続いてエッジガイドをハガキの側面に合わせます。

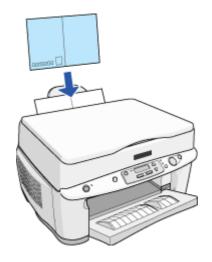
宛名面に印刷する場合は、宛先用の郵便番号枠を下側にしてセットしてください。
用紙によって、セット可能枚数が異なります。またエプソン製専用ハガキをセットする場合は、給紙補助のためにシートを用紙の一番下に敷く必要がありますので、下表を参照してセットしてください。

用紙	セット可能枚数	給紙補助
官製ハガキ	30 枚	必要ありません
官製ハガキ（インクジェット紙）	30 枚	必要ありません
フォト・クォリティ・カード 2	20 枚	給紙補助シート＜タイプ C ＞
スーパーファイン専用ハガキ	30 枚	給紙補助シート

※ 給紙補助シートは、ご購入いただいた専用紙パックに同梱されているものをお使いください。

注 意

印刷領域を［最大］に設定して印刷する場合は、図のように多少反りを付けてからセットしてください。

また、片面に印刷後その裏面に印刷するときは、しばらく乾かしてから反りを付けなおしてください。

逆に反った状態（上記の×のイラスト）で印刷すると、印刷面が汚れるおそれがあります。

往復ハガキは、横方向にセットしてください。また、折り目を付けずにセットしてください。

ハガキへの印刷方法

ここでは、ハガキへの基本的な印刷方法をご説明します。

1.　プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

ポイント
本機のプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本機のプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本機のプリンタドライバを選択してください。

2.　［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

1	用紙サイズ	［ハガキ］を選択します。 往復ハガキに印刷する場合は、［往復ハガキ］を選択します。
2	給紙装置	［オートシートフィーダ］を選択します。
3	印刷方向	印刷方向を選択します。 ［用紙設定］画面の左部で、印刷方向のイメージを確認できます。

ポイント
- 印刷する画像によっては、ハガキの先端が傷付く場合があります。
  先端の傷が気になる場合は、プリンタドライバで印刷可能領域を［最大］または［標準］に設定して印刷することをお勧めします。

- ［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
  「用紙設定画面」

注意

フチなし全面印刷をする場合の注意
フチなし全面印刷機能では、作成したハガキサイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は、郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

3.　［印刷］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［印刷］や［プリント］などの項目をクリックします。

4.　［印刷］画面の各項目を設定します。

1	印刷部数	印刷部数を入力します。		
2	用紙種類	本機にセットしたハガキの種類を、ポップアップメニューから選択します。		
		セットした用紙		**用紙種類**
		官製ハガキ		普通紙
		官製ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
			通信面	スーパーファイン専用紙 2
		フォト・クォリティ・カード 2	宛名面	普通紙
			通信面	フォトプリント紙
		スーパーファイン専用ハガキ	宛名面	普通紙
			通信面	スーパーファイン専用紙 2
3	インク	［カラー］で印刷するか、［黒］（モノクロ）で印刷するかを選択します。		
4	モード	印刷モードを設定します。ここでは、自動的に最適な設定で印刷する［推奨設定］を選択することをお勧めします。		

［印刷］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「印刷画面」

5. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

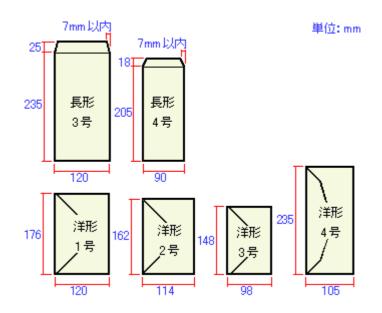
バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷が開始されます。

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法については、以下のページをご覧ください。
「印刷後の用紙の保存方法」

封筒に印刷

使用できる封筒について

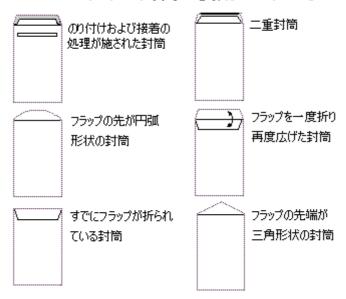
本機で印刷できる封筒のサイズと印刷領域についてご説明します。

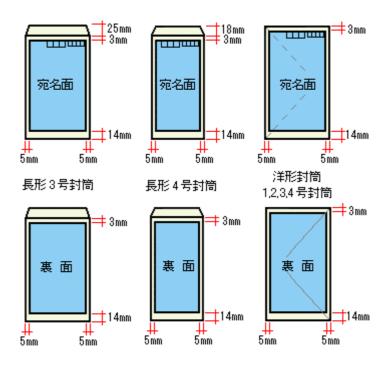
印刷可能な封筒のサイズ

ポイント

上記の封筒であってもフラップの長さが異なる封筒をご利用いただく場合は、ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定してから印刷してください。ユーザー定義サイズで封筒のサイズを設定する場合、用紙の長さはフラップを含めた長さに設定してください。

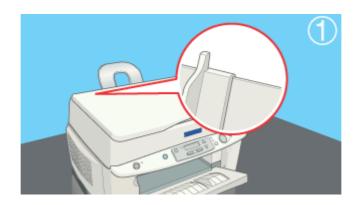
「定形外の用紙サイズに印刷」

注 意

- ご利用の封筒によっては、上記の定形サイズの封筒またはユーザー定義サイズで設定した封筒で印刷したにもかかわらず、印刷開始位置がずれることがあります。印刷前には必ず試し印刷することをお勧めします。試し印刷をして印刷開始位置がずれる場合は、アプリケーションソフトで余白の設定を調整してください。
- 印刷可能なサイズの封筒であっても、以下の封筒はご使用になれません。無理にご使用になると、給紙機構に悪影響を及ぼすおそれがありますので、絶対にご使用にならないでください。

封筒の印刷領域

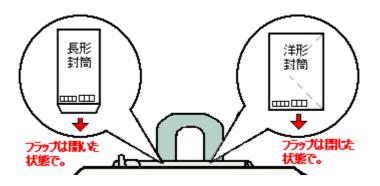
封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると用紙の下端において印刷品質が低下するおそれがあります。

封筒のセット方法

ここでは、封筒のセット方法をご説明します。

1. 本機の電源をオンにします。
2. 排紙サポートを手前に倒し、エッジガイドをセットする用紙の幅よりやや広い位置まで移動します。

3. 封筒をよくさばき、端をそろえます。

ポイント
用紙によっては、手の油分や水分が印刷品質に影響を与える場合があります。用紙を取り扱う場合は、用紙の端を持つか、綿製の手袋などをすることをお勧めします。

4. 印刷する面を手前側にして、封筒をオートシートフィーダの右側に沿わせてセットします。続いて、エッジガイドを封筒の側面に合わせます。

ポイント
- 封筒は、下図の向きで本機へセットしてください。

- 封筒のセット可能枚数は 10 枚です。

5. **アジャストレバーを＜＋＞位置に切り替えてください。**

封筒への印刷方法

ここでは、封筒への基本的な印刷方法をご説明します。

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

ポイント
本機のプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本機のプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本機のプリンタドライバを選択してください。

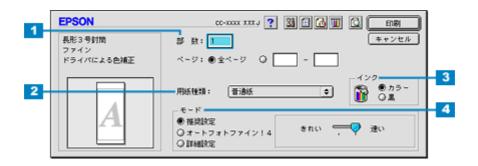
2. ［用紙設定］画面の各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

1	用紙サイズ	印刷データの封筒サイズをポップアップメニューから選択します。
2	給紙装置	［オートシートフィーダ］を選択します。
3	印刷方向	印刷方向を選択します。 ［用紙設定］画面の左部で、印刷方向のイメージを確認できます。

ポイント
［用紙設定］画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。
「用紙設定画面」

3. ［印刷］画面を開きます。

多くのアプリケーションソフトでは、[ファイル] メニューの [印刷] や [プリント] などの項目をクリックします。

4. [印刷] 画面の各項目を設定します。

1	印刷部数	印刷部数を入力します。
2	用紙種類	[普通紙] を選択します。
3	インク	[カラー] で印刷するか、[黒]（モノクロ）で印刷するかを選択します。
4	モード	印刷モードを設定します。ここでは、自動的に最適な設定で印刷する [推奨設定] を選択することをお勧めします。

ポイント

[印刷] 画面の各項目の詳細については、以下のページをご覧ください。

「印刷画面」

5. [印刷] ボタンをクリックして、印刷を実行します。

バックグラウンドプリントを [入] に設定している場合は、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷が開始されます。

印刷の中止方法

印刷の中止方法

印刷を中止したいと思ったときは、以下の手順で印刷を中止してください。

ポイント
何らかの理由により印刷を強制終了させたい場合は、まず始めに本機の電源をオフにしてください。印刷中の用紙は排紙されます。その後、以下の手順で印刷文書を削除してください。

バックグラウンドプリント使用時の場合

バックグラウンドプリントを［入］に設定している場合は、画面上に表示される EPSON Monitor3 を使用して印刷を中止します。

1. **アプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。**

   EPSON Monitor3 の画面が表示されます。

2. **印刷文書をクリックして、 ボタンをクリックします。**

   画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に止まります。

バックグラウンドプリント未使用の場合

バックグラウンドプリントを使用していない場合は、Macintosh の機能を使用して印刷を中止します。

1. コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。

   画面上に印刷キャンセルに関するダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に止まります。

目的別の印刷方法

年賀状の印刷方法

ここでは、官製のお年玉付き年賀ハガキへ印刷する際のポイント（プリンタドライバの設定）についてご説明します。

ポイント

- エプソン製の専用ハガキをお使いになれば、さらにきれいに印刷することができます。
  「最適なハガキの選択」
- ハガキのセット方法は以下のページをご覧ください。
  「ハガキのセット方法」

お年玉付き年賀ハガキに印刷する際のプリンタドライバの設定

印刷時に設定するプリンタドライバの用紙種類の項目は、以下の表を参照して設定してください。

セットしたハガキ		用紙種類
お年玉付き年賀ハガキ		普通紙
お年玉付き年賀ハガキ（インクジェット紙）	宛名面	普通紙
	通信面	スーパーファイン専用紙 2

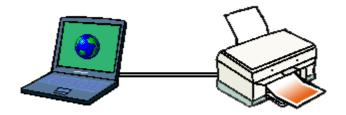
上の画面の開き方やそのほかの設定など、ハガキへの印刷方法は以下をご覧ください。
「ハガキへの印刷方法」

注意

フチなし全面印刷をする場合の注意

フチなし全面印刷機能では、作成したハガキサイズよりわずかに拡大して印刷することによって、フチのない印刷を実現しています。そのため、拡大されて用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。文章を用紙の端ぎりぎりに配置すると、切れてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、宛名面に印刷する場合は、郵便番号がずれてしまうため、フチなし全面印刷機能を使わないことをお勧めします。

ホームページの印刷方法

ここでは、Internet Explorer を使用してホームページを印刷する際の手順についてご説明します。

ポイント

インターネット上で表現される画像や音などは、ほとんどの場合、制作者が著作権を有しています。個人で使用する以外の無断複製や無断転用などは著作権法の罰則の対象となります。

1. Internet Explorer を起動して、印刷したいページを開いてください。

2. ［ファイル］メニューの［用紙設定］をクリックします。

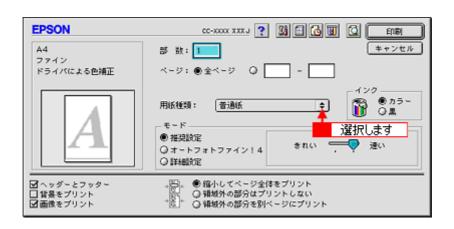
   ［用紙設定］画面が開きます。

3. ［用紙サイズ］と［給紙装置］を設定します。設定したら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

4. 本機の電源をオンにして、用紙をセットします。

5. ［ファイル］メニュー内の［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が開きます。

6. 本機にセットした用紙の種類を、［用紙種類］のポップアップメニューから選択します。

ポイント

インターネット上の画像は、データ通信を優先するため、基本的に低解像度に設定されています。そのため、専用紙を使用して［フォト］印刷など高解像度で印刷しても印刷の品質は向上しない場合があります。

7. モードから［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

8. ［Web スムージング］にチェックが付いていることを確認します。

［Web スムージング］は、Web 上の低解像度のロゴ・イラスト・画像の輪郭をなめらかにして印刷します。

9. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

印刷時、ページの左右が切れてしまう場合

手順 3 の［用紙サイズ］で設定したサイズ（＝印刷データのサイズ）が、ホームページのページサイズより小さいことが考えられます。先に設定した用紙サイズより大きいサイズ（［A4］で切れてしまった場合は、［B4］など）を設定して、印刷してみてください。
なお、ここで設定したサイズと本機にセットした用紙サイズが異なる場合は、縮小して印刷する必要があります。［レイアウト］画面で［フィットページ］を選択し、［出力用紙］のポップアップメニューから本機にセットした用紙サイズを選択してください。

ホームページ上のデータが複数ページに渡っている場合

ページのつなぎ目で、画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。

ページ上の背景色などが印刷できない場合

［印刷］画面で［背景をプリント］にチェックを付けてください。

写真の印刷方法

デジタルカメラで撮影した画像データを写真のように印刷したい !!　そんなときは以下の説明をご覧ください。

最適な用紙の選択

エプソンでは、写真プリントに最適な用紙を各種用意しております。以下のページを参照して、用途に合った用紙を選択してください。

「最適な普通紙 / 専用紙の選択」

フチなし全面印刷をする場合

用紙の種類やサイズによっては、フチなし全面印刷ができません。詳細は以下のページでご確認ください。

「フチなし全面印刷（定形紙）」

用紙のセット方法

各用紙のセット方法については、以下のページをご覧ください。

「普通紙 / 専用紙のセット方法」

写真の印刷方法

デジタルカメラで撮影した画像データを印刷する場合は、オートフォトファイン !4 機能を使用することをお勧めします。
オートフォトファイン !4 は、元のデータに手を加えることなく、自動的に高画質化して印刷できる機能です。
オートフォトファイン !4 を使った印刷方法は、以下のページをご覧ください。

「写真をきれいに印刷（オートフォトファイン !4）」

印刷後の用紙の取り扱いや保存方法について、以下のページをご覧ください。

「印刷後の用紙の保存方法」

きれいに印刷したい

写真データをよりきれいに印刷するためには、以下の４つのポイントを押さえておきましょう。

ポイント１　印刷しようとする画像データが、どのくらいの大きさで印刷可能か確認しましょう。

一般的に画像データは、細かい点（画素またはピクセル）の集まりで構成されています。同じサイズの印刷を行う場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷を行うことができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど、画素数の多い画像データが必要になります。
デジタルカメラの画像データを例にした場合、画像データのサイズと印刷サイズの関係は以下の通りです。
以下の表を参考にして、印刷サイズに適した画素数の画像データを用意してください。

デジタルカメラ	一般的な記録画素数（ピクセル）	印刷サイズ			
		A6	A5	B5	A4
35 万画素	640 × 480	○	△	△	△
130 万画素	1290 × 960	◎	◎	○	○
211 万画素	1600 × 1200	◎	◎	○	○
300 万画素	2048 × 1536	※	◎	◎	◎

※ オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

ポイント２　専用紙に印刷しましょう。

せっかく完璧な印刷データを作っても、印刷する用紙が普通紙では、高い解像度で印刷することはできません。
フォト・プリント紙２などの専用紙に印刷すれば、高品位の印刷結果が得られます。
その際、プリンタドライバの［用紙種類］の設定で、使用する専用紙に対応した用紙種類を選択してください。

ポイント

専用紙には、目的に応じてさまざまな種類があります。写真の印刷が目的の場合には、「フォト・プリント紙 2」や「スーパーファイン専用紙 2」などの使用をお勧めします。

「印刷サイズに適した画像データを用意する」、「専用紙に印刷する」の 2 点に注意すれば、高品質な印刷を行うことができます。
通常は、これだけのことで高品質な印刷を行うことができます。
しかし、このように印刷しても、印刷する画像の内容によっては印刷結果に印刷ムラやスジが目立つことがあります。このような場合は、ポイント 3・ポイント 4 をご覧ください。

ポイント 3　プリンタドライバの詳細設定を変更してみましょう。

印刷結果を良く見ると印刷ムラやスジが目立つ場合には、プリンタドライバの［詳細設定］画面を開き、画面内の設定を変更すれば、印刷ムラなどを目立たなくすることができます。

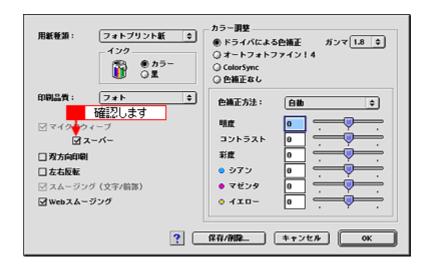
ポイント

画像データや専用紙の組み合わせによっては、設定を変更しても印刷時間が長くなるだけで、見た目上の印刷品質は変わらない場合もあります。

1. **［双方向印刷］がチェックされている場合は、チェックを外してください。印刷速度は遅くなりますが、印刷品質は向上します。**

   双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、より高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

2. **［双方向印刷］のチェックを外して印刷しても、印刷ムラが目立つ場合には、［マイクロウィーブ］にチェックを付けます。**

   印刷時の紙送りピッチが少なくなり、印刷ムラが目立たなくなります。さらに［スーパー］にチェックを付けると、より改善されます。ただし、これらの設定を行っても、画像データや専用紙によっては、印刷時間が長くなるだけで見た目上の印刷品質は変わらない場合もあります。

ポイント 4　プリンタの状態を確認しましょう。

プリントヘッドの目詰まりなどで、正常な印刷が行われていない可能性もあります。
ノズルチェックパターンの印刷やヘッドクリーニングを行ってみてください。
「ノズルチェック」
「ヘッドクリーニング」

ポイント

- このほかに、初心者の方でも簡単に画像データを高画質化できる「オートフォトファイン !4」があります。オートフォトファイン !4 は自動的に画像を高画質化して印刷する EPSON 独自の画像補正機能です。印刷する際にプリンタドライバで設定すれば、元データに手を加えることなく画像を高画質化して印刷します。
「写真をきれいに印刷（オートフォトファイン !4）」
- 写真などの画像データは、基本的に細かい点（画素）の集まりで構成されています。この点（ドット）の細かさを表すのが解像度で、解像度の高さがきれいに印刷するポイントになります。デジタルカメラの画像データを印刷する場合には、印刷サイズを大きくすれば解像度は低くなり、小さくすれば解像度は高くなります。
「解像度とは？」
- ディスプレイに表示された画像と、プリンタで印刷した画像の色合いは完全には一致しません。できるだけ一致させるためには、ディスプレイの調整も必要です。
「ディスプレイについて」

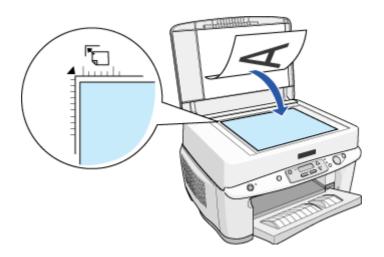
基本的な取り込み方法

基本的な取り込みの流れ

ここでは、基本的な取り込みの流れをご説明します。

ポイント

ここでは、通常の取り込みを行う際の流れだけを説明しています。実際は各ステップごとに注意しなければいけない内容がありますので、各リンク先を参照してください。

1. 取り込む原稿を用意して、本機にセットします。

「原稿のセット」
「使用できる原稿」

2. TWAIN 対応のアプリケーション（PhotoImpression など）で TWAIN を起動します。

「EPSON TWAIN の起動」

3. 全自動モードまたはマニュアルモードで取り込みます。

「全自動モードでの取り込み」
「マニュアルモードでの取り込み」

4. **取り込んだ画像を保存します。**

「取り込んだ画像の保存」

これで基本的な取り込みの流れの説明は終了です。

TWAIN 対応アプリケーションについて

本機は TWAIN 対応機器であるため、TWAIN 対応の画像処理アプリケーションを使用して画像を取り込むことができます。

本機には、次の TWAIN 対応アプリケーションが付属していますので、目的に合わせてご利用ください。

- EPSON SMART PANEL
- ArcSoft PhotoImpression
- 読ん de!! ココ パーソナル

また、Paint Shop Pro や Imaging など、一般的な TWAIN 対応アプリケーションを使用して画像を取り込むこともできます。

TWAIN について

TWAIN とは、スキャナなどの画像入力機器と、それを制御するアプリケーションとのインターフェイス（情報のやりとり）に関する標準規格です。

TWAIN 対応のアプリケーションと、TWAIN 対応のスキャナおよび専用ドライバとの組み合わせであれば、どのアプリケーションからどの機種のスキャナでも同様の操作で扱うことができます。

EPSON TWAIN について

本機は、「EPSON TWAIN」という専用ドライバ（TWAIN 対応ドライバ）によってコンピュータから制御されます。

下図のように、TWAIN 対応アプリケーションから画像取り込みの指示をすると、EPSON TWAIN が連携して起動し、指定された条件で画像の取り込みを行います。（画面はマニュアルモードで EPSON TWAIN が起動した場合の例です。）

（画像の取り込みは TWAIN 対応アプリケーションを使って行いますが、実際にスキャナを直接制御するのは EPSON TWAIN です。）

原稿をスキャナで取り込む際の各種の条件も、EPSON TWAIN の画面で設定します。

ポイント

EPSON TWAIN は、Windows/Macintosh ともに同じ手順で操作できます。本ユーザーズガイドでは、Windows の操作を例に説明しています。

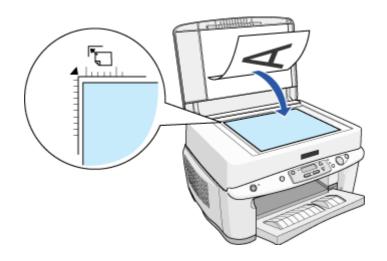
原稿のセット

ここでは、原稿のセット方法をご説明します。

注意

原稿台や原稿カバーには強い力をかけたり、斜めに力を加えないでください。破損するおそれがあります。

1. **原稿カバーを開き、原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

   原稿台の左上に、原稿の左上を合わせてセットします。

ポイント

原稿台の端から約 1.5mm（上端、左端）、3mm（下端）、6mm（右端）の範囲は取り込まれません。
「使用できる原稿」

使用できる原稿のサイズや、原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、下の「原稿台よりも大きい原稿のセット」を参照してください。

2. **原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。**

   原稿カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれてしまいます。

ポイント

- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。
- 原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

以上で原稿のセットは終了です。

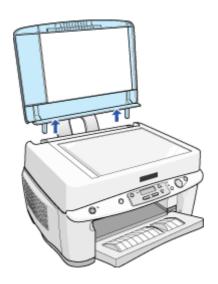
原稿台よりも大きい原稿のセット

原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。

ポイント

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がらないようにしてください。
- 原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

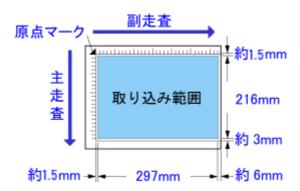
原稿カバーの取り外しと取り付け

原稿カバーを取り外すときは、カバーを開けた状態で、上に引いて取り外します。
原稿カバーを取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。

注 意

- 原稿カバーには強い力をかけたり、斜めに力を加えないでください。カバーが破損するおそれがあります。
- 原稿カバーを外した状態で、スキャナユニットを開閉しないでください。けがや故障の原因となるおそれがあります。

使用できる原稿

使用できるサイズ

最大 A4 サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。
原稿台に付いているスケールの内側約 1.5mm（上端、左端）、3mm（下端）、6mm（右端）の範囲は取り込まれません。
（取り込み範囲を超えるサイズの原稿をセットした場合、下端および右端が黒ずむ場合があります。）

*1 主走査：キャリッジ上のセンサで読み取る画素の 1 ラインごとの読み取り方向
*2 副走査：キャリッジの移動による読み取り方向

ポイント

- 縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。
  - B5 （182 × 257mm ）
  - LTR （216 × 279mm ：アメリカ合衆国で使われるレターサイズ）
  - A4 （210 × 297mm ）
- 図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込むときは、線の向きを本機の主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

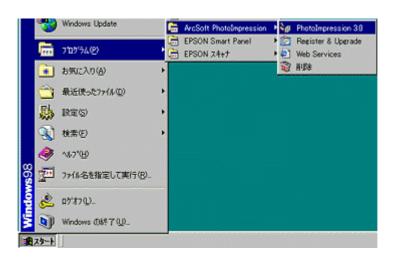
原稿の条件について

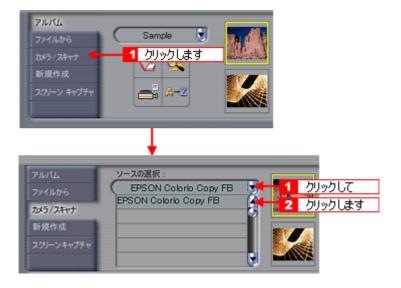
本機は反射原稿（光を反射する原稿）を取り込むイメージスキャナです。原稿の種類によってはうまく取り込めないこともあります。以下の点にご注意ください。

- 写真、印刷物など表面が平滑な原稿を使用してください。
- 貼り付けなどで表面に段差がある原稿を取り込んだ場合、段差のところに色にじみやゆがみが生じることがあります。また、厚みのある原稿を取り込んだ場合も、にじみが生じることがあります。
- OHP シートを取り込む場合、白い背景に置いて原稿がはっきり見えるように書かれていれば、取り込むことができます。
- 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。（黒い紙を原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります。）

EPSON TWAIN の起動

ここでは、付属の TWAIN 対応アプリケーション PhotoImpression を使って、EPSON TWAIN を起動する方法を例にご説明します。
PhotoImpression の使い方について詳しくは、PhotoImpression のヘルプをご覧ください。

1. PhotoImpression を起動します。

2. 起動する TWAIN データソースを選択します。

本機で使用する TWAIN データソースは「EPSON Colorio Copy FB」です。

3. EPSON TWAIN を起動します。

4. **EPSON TWAIN を起動すると、EPSON TWAIN 画面が表示されます。**

EPSON TWAIN では、「全自動モード」と「マニュアルモード」の 2 種類のモードが利用できます。

ポイント

- **スキャナでの画像取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。**
- **全自動モード・マニュアルモードは、EPSON TWAIN の動作モードなので、EPSON TWAIN で設定します。**

取り込みモードの選択

EPSON TWAIN には、「全自動」と「マニュアル」の２つの取り込みモードがあります。用途に応じて 2 つのモードを使い分けてください。

また、スキャナビボタンと EPSON SMART PANEL を使用すると、誰もが簡単にその目的に合わせた画像取り込みを行うことができます。

モード	機能	用途
全自動 「全自動モードでの取り込み」	• 原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれる • 複数枚の写真をセットした場合、全自動モードで 1 枚ずつ読み取ることができる（TWAIN 対応アプリケーションが複数取り込みに対応している必要があります） • セットした写真が多少傾いていても、自動的に水平に補正される（傾き補正機能）	• 詳細設定が不要な場合 • いろいろなタイプの原稿を続けて取り込む場合 • 一度に複数枚の写真原稿をセットして連続して取り込む場合など
マニュアル 「マニュアルモードでの取り込み」	• 設定画面で、取り込み条件を手動で設定して取り込む	• 全自動モードで原稿が認識されない場合 • 全自動モードで取り込んでも思い通りの画質にならない場合 • 取り込み条件を詳細に設定したい場合 • 特殊な効果をつけて取り込みたい場合など
スキャナビ 「スキャナビボタンでの取り込み」	• ボタン 1 つでセットした原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれる • 使用する目的に合った設定で、取り込まれる	• コピー • E メールに画像を添付して送信する場合 • Web 上で画像データを共有したい場合 • 簡単に取り込んだ画像をファイル保管したい場合など

ポイント

- スキャナでの画像取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。
- 原稿によっては、全自動モードでうまく認識されないことがありますので、その場合はマニュアルモードを使用してください。
- 全自動モード・マニュアルモードは、EPSON TWAIN の動作モードなので、EPSON TWAIN で設定します。

全自動モードでの取り込み

ここでは、プリントされたカラー写真の取り込み方を例に説明しますので、原稿台にカラー写真をセットしておいてください。ここでは、付属の PhotoImpression を例にご説明します。

ポイント

初めて本機をお使いになるときは、全自動モードで画像が取り込まれます。全自動モードでは、画像取り込み（スキャン）のコマンドを実行するだけで、自動的に原稿のタイプが認識され、原稿タイプに適した設定で画像が取り込まれます。

1. TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。

ポイント

画像取り込みのコマンドは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションにより異なります。詳しくは、TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. EPSON TWAIN が起動して原稿が仮取り込み（プレビュー）され、原稿タイプが自動認識されます。

ポイント

- 手順 1 の後、上記の画面でなくマニュアルモード画面が表示された場合は、設定がマニュアルモードになっています。全自動モードで取り込むには、マニュアルモード画面の中の［全自動モード］ボタンをクリックし全自動モードに切り替えて、［取り込み］ボタンをクリックしてください。
- 上記の画面で［キャンセル］ボタンをクリックすると、モード切り替え用の画面が表示されます。この画面でマニュアルモードに切り替え、取り込み条件を手動で設定することもできます。
  また、全自動モードで取り込む原稿の種類や出力の解像度をあらかじめ設定しておくこともできます。
  「全自動モード」
  「マニュアルモードでの取り込み」

3. 原稿タイプに適した設定で原稿が自動的に取り込まれます。

ポイント

手順 2 の後、上記の画面でなく次の画面が表示された場合は、原稿タイプが自動認識できなかったことを示します。この場合、次のいずれかの操作を行ってください。

- **原稿を確認し、再度全自動モードで画像を取り込む**
  [OK］ボタンをクリックし、表示される画面で ［取り込み］ボタンをクリックして、再度全自動モードで画像を取り込んでください。
- **マニュアルモードに切り替える**
  [OK］ボタンをクリックし、表示される画面で ［マニュアルモード］ボタンをクリックして、マニュアルモードに切り替えてください。
  「マニュアルモードでの取り込み」

4. 取り込まれた画像が、TWAIN 対応アプリケーションの画面に表示されます。

以上で画像の取り込みは終了です。以下の説明に進みます。
「取り込んだ画像の保存」

画質が思い通りにならない場合は、マニュアルモードで取り込みをやりなおします。
「マニュアルモードでの取り込み」

原稿タイプと取り込み設定

原稿は以下のいずれかのタイプとして自動認識されます。

原稿タイプ	原稿の例
カラー写真	一般的なカラー写真
白黒写真	一般的な白黒写真
イラスト	グラフ、ロゴ、地図など色数の少ないもの
文字 / 線画	文字のみの文書、塗りつぶされていない絵など
カラー書類	カラーの新聞、雑誌など
白黒書類	白黒の新聞、雑誌など

ポイント
写真を含む原稿が「カラー写真」または「白黒写真」として認識された場合は、写真だけが取り込み範囲となります。それ以外のタイプとして認識された場合は、原稿全体が取り込まれます。

原稿は、自動認識された原稿タイプに従って、それぞれ次の設定で取り込まれます。

原稿タイプ	傾き補正	アンシャープマスク	表現色	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	解像度
カラー写真	する	On	24bit カラー	Off	Off	写真	300dpi
白黒写真	する	On	8bit グレー	Off	−	写真	300dpi
イラスト	しない	Off	24bit カラー	Off	On	書類	150dpi
文字 / 線画	する	−	モノクロ	−	−	−	400dpi
カラー書類	しない	On	24bit カラー	On	Off	書類	150dpi
白黒書類	しない	On	8bit グレー	On	−	書類	150dpi

ポイント
- 原稿が若干傾いてセットされている場合でも、傾きが自動的に補正されて取り込まれます。（「傾き補正 する」の場合のみ。）
- 全自動モードでは、認識された取り込み範囲に対して、露出（明るさ）が自動的に調整されます。
- アンシャープマスクでは、画像がはっきりしていない場合、画像をシャープにできます。
- 雑誌、カタログなどの印刷物を取り込んだ画像に、暗い斑点模様や虹のような模様が発生する場合があります。このような模様を「モアレ」といいます。モアレ除去は、モアレを軽減する機能です。
- カラースムージングでは、カラー原稿を、特定の色に減色して（割り当てて）取り込むことができます。近似色は 1 つの色に割り当てられるため、色数の少ないグラフ、ロゴ、地図などの取り込みで色むらを発生させません。

マニュアルモードでの取り込み

ここでは、プリントされたカラー写真の取り込み方を例に説明しますので、原稿台にカラー写真をセットしておいてください。

1. TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。

   選択方法については、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書を参照してください。
   （画面は PhotoImpresson の場合。）

2. 全自動モードが起動したら、プレビューが終了する前に［キャンセル］ボタンをクリックし、［マニュアルモード］ボタンをクリックします。

   マニュアルモードが起動した場合は、手順 3 に進みます。

3. マニュアルモード画面が表示され ボタンをクリックしてプレビューを実行します。

ポイント

プレビューを自動実行するかどうかは、[環境設定] ダイアログで設定できます。
「環境設定」

4. **取り込み範囲を設定します。**

原稿の一部だけを取り込む場合は、プレビュー画像上で取り込み範囲を指定します。また、[自動範囲選択] ボタンにより、画像のある範囲を自動選択することも可能です。

＋	カーソルが＋のときに、取り込む範囲をドラッグして指定します。
↕	カーソルを取り込み範囲の線上に移動すると矢印の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより拡大 / 縮小できます。（縦横比を維持するには Shift キーを押しながらドラッグします。）
(手の形)	カーソルを取り込み範囲の中に移動すると手の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより移動できます。（垂直・水平に移動するには Shift キーを押しながらドラッグします。）

ポイント

[自動範囲選択] ボタンで画像を自動選択するとき、画像によっては目的の範囲を選択しない場合があります。そのような場合は、プレビュー画像上でカーソルをドラッグして取り込む範囲を指定してください。

5. **基本的な取り込み条件を設定します。**

通常は取り込む原稿の種類を「イメージタイプ」に設定し「出力機器」を設定すると自動的に解像度などが設定されます。
「出力サイズを指定して取り込もう」
「基本設定」

6. ［ズームプレビュー］ボタンをクリックして取り込み範囲をズーム表示し、取り込む領域を微調整します。

初期設定では、ズームプレビュー後、自動的に露出を調整します。

7. 必要に応じ、詳細な取り込み条件を設定し、［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。

取り込んだ画像が、新規ファイルとして表示されます。（EPSON TWAIN の後ろに隠れて見えない場合があります。）

「写真をきれいに取り込もう」
「基本設定」

8. ［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN を閉じます。

スキャナビボタンでの取り込み

スキャナビボタンの仕組み

スキャナビボタンを押すと、EPSON SMART PANEL を起動します。（インストール時の標準設定。）

ポイント

Windows の場合、イベントモニタが標準機能として組み込まれています。イベントモニタがスキャナビボタンの押下を監視しています。
設定は［コントロールパネル］-［スキャナとカメラ］で設定されています。詳しくは以下の説明をご覧ください。
「スキャナとカメラについて」

スキャナビボタンを使用して取り込む手順

スキャナビボタンを使用しての取り込みは、次の手順になります。

1. **原稿台に原稿をセットします。**

2. **スキャナビボタンを押します。**

   イベントモニタにより、スキャナビボタンが押されたことを自動的に検知します。

スキャナビボタンを押しても EPSON SMART PANEL が起動しない場合には、設定が必要です。
「スキャナビボタンについて」

3. **EPSON SMART PANEL が自動的に起動しますので、使用する機能のアイコンをクリックします。**

ポイント

スキャナビボタンを押したときに起動する機能を、あらかじめ設定することができます。機能を設定した場合は、スキャナビボタンを押すと直接画像を取り込み、機能に対応したアプリケーションを起動します。

「メイン画面」

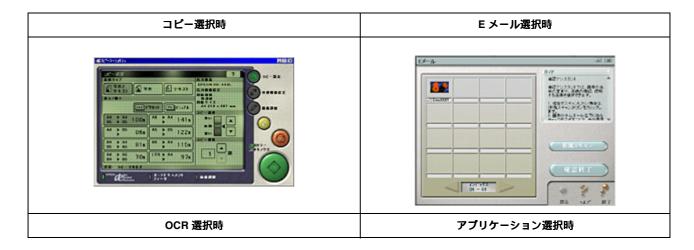
4. **EPSON SMART PANEL の各機能で画像の取り込みを実行します。**

5. **EPSON SMART PANEL で選択した機能に対応するアプリケーションが起動します。画面の指示に従って操作します。**

   EPSON SMART PANEL での詳しい取り込み方法については、EPSON SMART PANEL のヘルプを参照してください。

   「メイン画面」

コピー選択時	E メール選択時
OCR 選択時	アプリケーション選択時

カード、カレンダー選択時	Web 選択時
ファイル保存選択時	DPE 選択時
コピー Fax 選択時	

上記の画面は、EPSON SMART PANEL から各機能のアイコンをクリックし、対応するアプリケーションが起動したときの画面です。スキャナビボタンを押したときに上記機能のいずれかが起動するように設定した場合、機能によってはスキャナビボタンを押して起動したときの画面が上記の画面と異なる場合があります。

取り込んだ画像の保存

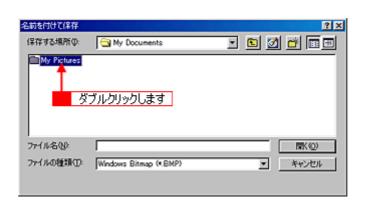
一般的には次のような手順になります。お使いの TWAIN 対応アプリケーションによって画面や手順が異なりますので、詳しくはお使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

1. TWAIN 対応アプリケーションで、保存のコマンドを選択します。

ポイント

保存のコマンドは、一般的に［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］、［別名で保存］などです。詳しくはお使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. 保存するフォルダを選びます。

   フォルダ名は覚えておいてください。（後で画像を開くときにフォルダを指定するため。）

3. ファイル形式を選び、ファイル名を入力します。

BMP 形式を選択した例

4.　［保存］や［OK］などのボタンをクリックして保存します。

これで画像の取り込み・保存は終了です。

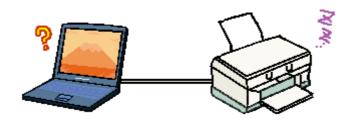
画像ファイル形式について

主なファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、形式を決めてください。
Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションで開くことができます。

形式（拡張子）	説 明
TIFF 形式 （＊ .TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。レタッチなどの加工が前提ならば、まずは TIFF などの形式で保存してください。
EPS 形式 （＊ .EPS ）	ポストスクリプト形式のファイルです。ほとんどのイラストレーションソフトや、DTP ソフトが対応しています。
BMP 形式 （＊ .BMP ）（Windows のみ）	多くのアプリケーションが対応しているファイル形式（Windows のみ）です。ワ ープロソフトをはじめ、ほとんどの Windows 用アプリケーションが対応しています。
PICT 形式（Macintosh のみ）	Macintosh 標準の画像ファイル形式（Macintosh のみ）です。ワープロソフトをはじめ、ほとんどの Macintosh 用アプリケーションが対応しています。
JPEG 形式 （＊ .JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択でき、かなり圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。

トラブル対処方法（印刷関連）

本機の電源がオンにならない

本機の電源スイッチを押してもランプが 1 つも点灯しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本機の故障が考えられます。

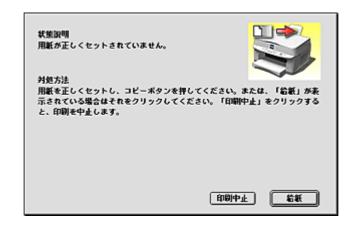
ポイント

以上の２点を確認の上で電源スイッチを押しても電源がオンにならない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

電源ランプは点灯しているのに、印刷が始まらない

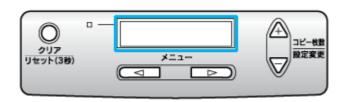
本機の電源は入っているけれど、コンピュータから印刷を実行しても印刷が始まらない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」などのメッセージが表示されていませんか？

画面上に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処方法）が表示されている場合は、メッセージに従って原因を解決してください。
何もメッセージが表示されていない場合、またはメッセージが表示されていても原因や対処方法がよくわからない場合は、この項目以降に記載されている各項目を確認して、エラー解除などを行ってください。

チェック

操作パネルにエラーメッセージが表示されていませんか？

エラーメッセージが表示されている（エラーが発生している）と、本機は給紙動作を行わない場合があります。（発生しているエラーの内容によって、給紙できる場合とできない場合があります。）
電源ランプが点灯しているにもかかわらず本機がまったく給紙動作をしないといった場合のほとんどは、エラーが発生しているケースのため、まずはエラーメッセージを確認してください。

エラーメッセージが表示されている場合のエラーの内容については、以下のページをご参照ください。
「操作パネルのエラー表示一覧」

チェック

本機とコンピュータはしっかりと接続されていますか？

本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタに USB ケーブルがしっかり接続されていますか？ケーブルが断線していませんか？変に曲がっていませんか？しっかり接続されていないと印刷されない場合がありますので、よく確認してください。

チェック

本機用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

セレクタに本機のアイコンが表示されていますか？
本機のアイコンがない場合は、プリンタドライバがインストールされていませんので、「スタートアップガイド」の手順説明に従って、インストールをしてください。

上記画面は、［アップル］メニューの［セレクタ］をクリックして開きます。

チェック

「印刷先」の設定は正しいですか？

ネットワーク環境で Macintosh をご利用の場合は、セレクタ上に USB ポートとネットワークプリンタの両方が表示される場合があります。印刷したいプリンタ（USB ポートに直接接続されているプリンタか、ネットワーク上のプリンタか）を選択してください。

上記画面は、［アップル］メニューの［セレクタ］をクリックして開きます。

チェック

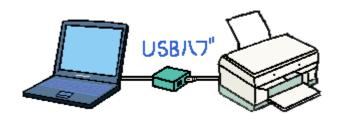
EPSON Monitor3 のステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷の途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷を停止したりした場合、「一時停止」状態のままになります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。
［プリントキューの開始］ボタンまたは ▶ ボタンをクリックして印刷を再開します。

「印刷状況確認画面（EPSON Monitor3）」

チェック

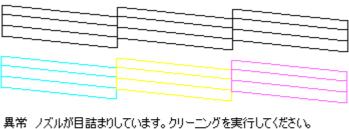
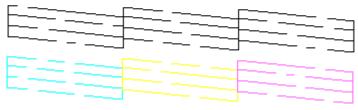
USB ハブをご利用の場合に、コンピュータに直接接続されているハブに本機を接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、コンピュータ本体に直接接続してください。

チェック

ノズルチェックパターンを印刷して本機が故障していないか確認しましょう。

本機が内部に持っているノズルチェックパターンを印刷できるかどうかで、故障の有無がわかります。
「ノズルチェック」

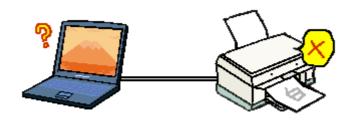
正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ポイント

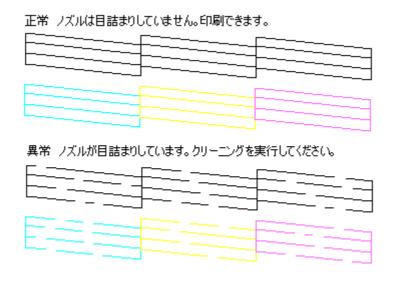
以上のチェック項目を確認の上で、再度印刷を実行しても印刷が始まらないときは、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。
本機のプリンタドライバを一旦アンインストール（削除）してから、再度インストールしてみてください。
「プリンタドライバの削除方法」

それでも、印刷できない場合はお買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

動作はするが何も印刷しない

印刷を実行すると用紙を給紙して本機は正常に動作しているようなのに、何も印刷しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
本機の電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

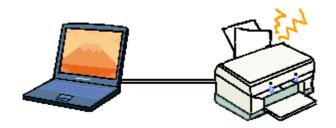
チェック

本機を長期間使用しないでいませんでしたか？

本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
この場合は、ヘッドクリーニングとノズルチェックを繰り返し実行してください。
5 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、本機の電源をオフにして一晩以上経過した後、再度印刷を実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。なお、ヘッドの目詰まりを防ぐためには、定期的に印刷していただくことをお勧めします。
「ヘッドクリーニング」
「ノズルチェック」

それでも印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

紙送りが正しくできない（定形紙・ハガキ・封筒）

用紙をオートシートフィーダにセットして印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

用紙はオートシートフィーダに正しくセットされていますか？

用紙が正しくセットされていないと給紙不良の原因になります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙をオートシートフィーダの右側に沿わせていますか？
- エッジガイドを用紙の側面に合わせていますか？
- 用紙を本機の内部へ無理に押し込んでいませんか？
- 用紙は縦方向にセットされていますか？（往復ハガキは横方向）
- 本機にセットしてある用紙の量が多すぎませんか？
- 用紙をよくさばきましたか？

以下のページを参照して、正しい用紙のセット方法や用紙ごとの取り扱い注意事項をご確認ください。
「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ハガキのセット方法」
「封筒のセット方法」

チェック

ご使用の専用紙には給紙補助が必要ではないですか？

お買い求めいただいた EPSON 純正の専用紙によっては、用紙をセットする前に、専用紙に同梱されている給紙補助シート、もしくは同じサイズの普通紙をセットしないと、最後の 1 枚を正常に給紙できない場合があります。
以下のページを参照して、給紙補助の必要 / 不要をご確認ください。
「普通紙 / 専用紙のセット方法」
「ハガキのセット方法」

チェック

本機で使用できない用紙をお使いではありませんか？

お使いの用紙によっては、給紙できなかったり、正常に印刷できない場合もあります。以下の項目をチェックしてください。

- 用紙にシワや折り目はないですか？
- 厚すぎたり、薄すぎる用紙をお使いではありませんか？

- 用紙が湿気を含んでいませんか？
- 用紙が反っていませんか？
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴の空いている用紙ではありませんか？

使用できる用紙の種類については、以下のページをご参照ください。
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なハガキの選択」
「使用できる封筒について」

チェック

本機は水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所と本機の間に何か物が挟まれていたり、本機底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかって本機が歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。
また、一般の室温環境下（室温：15 ～ 25 度、湿度：40 ～ 60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

チェック

本機内部に用紙が詰まっていませんか？

スキャナユニットを開き、本機内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。
もし紙詰まりが発生している場合は、無理に引っ張らずに、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

1. 電源をオフにして、スキャナユニットを開けます。
2. 用紙を静かに引き抜きます。このとき、途中から破れてしまった場合は、本機内部に用紙が残らないように完全に取り除いてください。
3. スキャナユニットを閉じ、電源をオンにして、用紙をセットし直します。

用紙が切れて本機内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたりプリンタを分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

ポイント

それでもトラブルが解決しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷面がこすれる、汚れる

印刷を実行すると印刷面がこすれて汚れている。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

本機内部が汚れていませんか？

本機の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。
定期的に本機のお手入れをしてください。
「本機のメンテナンス」

チェック

印刷領域を［最大］に設定して印刷していませんか？

プリンタドライバで印刷領域を［最大］に設定して印刷すると、紙送りの機構上、用紙の下端 3mm ～ 14mm の範囲で印刷品質の低下が生じることがあります。また、プリントヘッドが用紙下端とこすれることにより、まれに用紙の最下端部分が汚れることがあります。この場合は、用紙の反りを修正してから本機にセットしてください。それでも汚れが発生する場合は、アジャストレバーを＜＋＞位置にセットして印刷を実行してください。

チェック

［四辺フチなし］の設定をして印刷していませんか？

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。

チェック

用紙を横方向にセットしていませんか？

用紙は、往復ハガキを使用する場合を除いて、すべて縦方向にセットしてください。
横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。

チェック

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときにでる「かえり」）のある用紙を使用していませんか？

反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、用紙の端がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、本機にセットしてください。

チェック

エプソン製の専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？

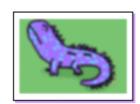
上記の特殊用紙は普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れることがあります。
印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷がぼやける、にじむ、濃い

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、インクがにじんできれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

普通紙に写真などを印刷していませんか？

カラー画像やグラフィックスなど、文字などに比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質の印刷をするためには、専用紙のご使用をお勧めします。

チェック

アジャストレバーを＜＋＞位置に設定していませんか？

厚紙や印刷結果がこすれるとき以外に、アジャストレバーを＜＋＞位置で印刷すると、印刷結果がぼやけるときがあります。通常の印刷時は必ずアジャストレバーを＜０＞位置に戻して印刷してください。

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本機に合った型番のものを使用してください。
本機で使用できるインクカートリッジの当社純正品については、以下のページをご参照ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［詳細設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［詳細設定］画面の設定を確認してください。

「詳細設定画面」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［詳細設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と、実際に使用している用紙の種類は同じですか？

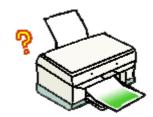
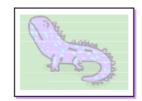
実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

「印刷画面」

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

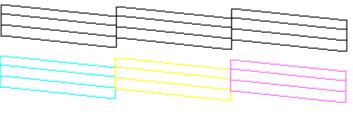
- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷がかすれる、薄い 、印刷した文字や罫線に白スジが入る

印刷を実行すると印刷結果がぼやけたり、インクがにじんできれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
本機の電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
(未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。)
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本機に合った型番のものを使用してください。
本機で使用できるインクカートリッジの当社純正品については、以下のページをご参照ください。
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［詳細設定］画面の「カラー調整」にて「明度」や「コントラスト」を調整したままだと、印刷結果の濃さが変化します。
プリンタドライバの［詳細設定］画面の設定を確認してください。

「詳細設定画面」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［詳細設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

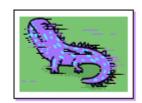
「印刷画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

印刷にムラがある、色スジがある

印刷を実行すると色ムラや、色スジが発生してきれいに印刷できない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
本機の電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

正常　ノズルは目詰まりしていません。印刷できます。

異常　ノズルが目詰まりしています。クリーニングを実行してください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに、印刷結果がぼやける場合は、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。縦罫線の場合は、線がガタガタにズレます。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後6ヶ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
(未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。)
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
また、純正品以外のカートリッジをお使いになると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。
インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
なお、必ず本機に合った型番のものを使用してください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

チェック

本機は水平で安定した場所に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、設置場所と本機の間に何か物がはさまれていたり、本機底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかって本機が歪み、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。

チェック

印刷後の用紙を重なった状態で放置していませんか？

印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに１枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

縦の罫線が左右にガタガタになったり、文字がぼやける

印刷を実行すると縦の罫線が左右にガタガタになったり、文字がぼやけるときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？

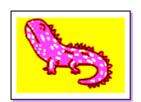
プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷する「双方向印刷」を行っているときに縦の罫線が左右にガタガタになったり文字がぼやけるときは、プリントヘッドのギャップがズレている可能性があります。
（ギャップのズレとは、プリントヘッドが左に動くときと右に動くときとで、印刷位置にズレが生じる状態です。ギャップがズレていると、縦罫線の場合は線がガタガタになります。写真の印刷のような場合は、インクが正しく重ならなくなるため、印刷結果がぼやけます。）
このようなときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面内の［ギャップ調整］ボタンをクリックして、ギャップのズレを調整してください。
（なお、双方向印刷は［手動設定］画面で、する / しないを選択できます。）
「ギャップ調整」

ポイント

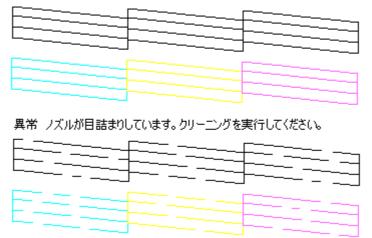
以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

色合いがおかしい、印刷されない色がある、インクが出ない

印刷を実行すると、思った色合いで印刷されない、また特定の色が印刷されない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていて特定のインクの出が悪いと、色合いがおかしくなります。
ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認してください。
本機の電源をオンにして、普通紙を複数枚セットしたら、ノズルチェックを実行してください。
「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。
「ヘッドクリーニング」

チェック

プリンタドライバでカラー調整の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［詳細設定］画面の「カラー調整」で「明度」や「コントラスト」などの項目を調整したままだと、印刷結果の色合いが変化します。
プリンタドライバの［詳細設定］画面の設定を確認してください。

「詳細設定画面」

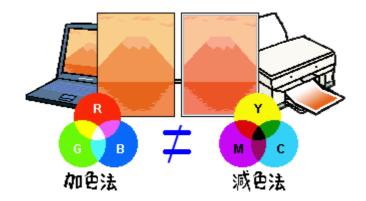
チェック

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

インクカートリッジは、開封後 6ヵ月以内に使い切ってください。
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。
（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

出力装置（ディスプレイ、プリンタ）の発色方法の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

「色について」

これらの差異を抑え、各機器間の色合いを合わせる機能として、ColorSync という機能があります。これらの機能を使用して印刷してみてください。
「画面表示と色合いを合わせて印刷」

チェック

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙の種類は同じですか？

実際に使用する用紙の種類と、プリンタドライバで設定する「用紙種類」の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。
実際に使用する用紙の種類とプリンタドライバの設定は、必ず合わせてください。

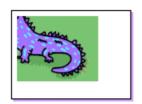
「印刷画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

位置がずれる

印刷を実行すると、用紙の思ったところに印刷してくれない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に印刷している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバの用紙サイズの設定を、実際に使用する用紙サイズと合わせてください。

「用紙設定画面」

また、印刷データのサイズが実際に使用する用紙サイズよりも大きい（または小さい）場合は、プリンタドライバの「フィットページ」の機能を使用して、実際に使用する用紙サイズに合わせた印刷を行ってください。
「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

チェック

用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？また、用紙が曲がってセットされていませんか？

一旦用紙を取り出して、用紙をよく整えてください。
オートシートフィーダの右側に沿って用紙をセットし、エッジガイドを用紙の側面に正しく合わせてください。

チェック

ポスター印刷や拡大 / 縮小印刷などのプリンタの機能を使用して印刷していませんか？

本機のプリンタドライバは、印刷結果をさまざまな用途でお使いいただくための機能をご用意しています。これらの機能が有効になっていると、画面上での表示と異なる印刷結果を出力することがあります。プリンタドライバの設定を確認してください。
「レイアウト画面」

チェック

ホームページを印刷していませんか？

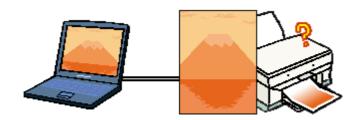
プリンタドライバで設定した［用紙サイズ］（＝印刷データのサイズ）が、ホームページのページサイズより小さいことが考えられます。
先に設定した用紙サイズより大きいサイズを設定して、印刷してみてください。例えば、[A4] で位置がずれて（ページが切れて）しまった場合は［B4］などを設定してください。
なお、ここで設定したサイズと本機にセットした用紙サイズが異なる場合は、縮小して印刷する必要があります。
プリンタドライバの［レイアウト］画面で［フィットページ］を選択し、[出力用紙］のリストボックスから本機にセットした用紙サイズを選択してください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

フチなし全面印刷ができない

フチなし全面印刷を実行したつもりなのに、フチなしにならない場合は、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

印刷時の設定で、フチなし全面印刷をするように設定しましたか？

プリンタドライバで、フチなし全面印刷をするように設定したか確認して、再度印刷してください。
「フチなし全面印刷（定形紙）」

チェック

フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成されていますか？

アプリケーションソフトから印刷する場合、フチなし全面印刷（定形紙）をするデータのサイズは、用紙サイズいっぱいに作成しておく必要があります。
「フチなし全面印刷（定形紙）」

チェック

定形紙にフチなし全面印刷を行う場合、フチなし全面印刷の推奨用紙を使用していますか？

定形紙でフチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

なお、上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。また、スーパーファイン専用光沢フィルム・専用 OHP シート・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

チェック

規格サイズ (*) よりも長さが短い用紙を使っていませんか？

規格サイズよりも長さが約 3mm 以上短い用紙をお使いになると、本機は用紙下端に 3mm 程度の余白を残して印刷を終了します。
規格サイズの用紙をお使いください。
* A4:210 × 297mm / ハガキ：100 × 148mm

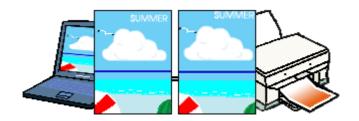
ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
「インターネット FAQ のご案内」

- **インターネットをお使いでない方、またインターネット** FAQ **をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。**

画像の上下左右が切れる

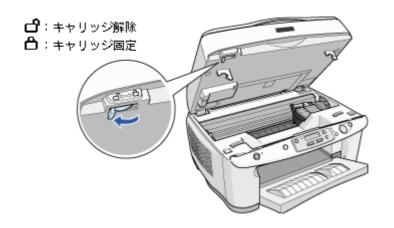
フチなし全面印刷をしたときに、画像の上下左右が切れる場合は、以下を確認してください。

フチなし全面印刷（四辺フチなし印刷）時は、裁ち落とし印刷（用紙より少しはみ出した印刷）をするために、写真を用紙サイズよりも少し拡大処理します。（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm。）
拡大処理されて用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、ディスプレイ上に表示されている内容と印刷結果でわずかに違いが生じます。

トラブル対処方法（取り込み関連）

電源オンでエラーになる

チェック

キャリッジ固定レバーがロックされた状態になっていませんか？

電源ボタンを押して電源をオフにしてから、キャリッジ固定レバーを左側（ ）に移動させてキャリッジを解除してください。

ポイント

以上の項目をを確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の裏表紙をご覧ください。

スキャナが認識されない

本機の電源は入っているけれど、コンピュータから画像取り込みを実行してもスキャナとして認識されない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

本機の電源がオフになっていると、スキャナとして認識されません。必ず電源をオンにして電源ランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。

チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

Macintosh の場合、EPSON USB Scanner 01xx 機能拡張が使用停止になっていませんか？

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scanner 01xx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

必要なシステム条件を満たしていますか？

USB 接続でご使用の場合は、Windows 95/NT、および Windows 95/NT から Windows 98/Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータでは使用できません。
お使いのコンピュータがシステム条件を満たしているかご確認ください。
「TWAIN ドライバのシステム条件」

チェック

USB ハブは 1 段目に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、本体に直接接続してください。

チェック

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、「スタートアップガイド」をご覧ください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」

- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

EPSON TWAIN を起動できない

取り込みを実行しようとしても TWAIN が起動しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

本機の電源がオフになっていると、スキャナとして認識されません。必ず電源をオンにして電源ランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。

チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

Macintosh の場合、EPSON USB Scanner 01xx 機能拡張が使用停止になっていませんか？

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scanner 01xx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

USB ハブは 1 段目に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、本体に直接接続してください。

チェック

スキャナの動作が不安定になっていませんか？

何らかの原因により、スキャナの動作が不安定になっていることも考えられます。電源ボタンを押して電源をオフにした後、もう一度電源ボタンを押して電源をオンにしてください。

チェック

アプリケーションで TWAIN データソースを正しく選択していますか？

お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書を参照し、TWAIN データソースの選択画面で［EPSON Colorio Copy FB］を選択してください。

Windows　Macintosh

チェック

他の TWAIN 対応アプリケーションで試してみてください。

何らかの原因により、TWAIN 対応アプリケーションの動作が不安定になっていることも考えられます。他の TWAIN 対応アプリケーションから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。

チェック

必要なシステム条件を満たしていますか？

USB 接続でご使用の場合は、Windows 95/NT、および Windows 95/NT から Windows 98/Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータでは使用できません。
お使いのコンピュータがシステム条件を満たしているかご確認ください。
「TWAIN ドライバのシステム条件」

チェック

TWAIN ドライバのインストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、スタートアップガイドをご覧ください。

チェック

他の TWAIN 対応アプリケーションで TWAIN を使用していませんか？

EPSON TWAIN は同時に 2 つのアプリケーションを使用することはできません。使用していないアプリケーションの EPSON TWAIN を終了してから実行してください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

エラーが出て画像が取り込めない

取り込みを実行しようとしてもエラーが出て画像を取り込めない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

ハードディスクに、必要な空き容量がありますか？

ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の 2 倍以上の空き容量が必要です。不足している場合は、不要なデータを削除したり、ハードディスクを増設するなどして必要な容量を確保してください。取り込む画像データ容量の目安は、EPSON TWAIN の［出力サイズ］項目で確認できます。
なお、フォトレタッチソフトを使用している場合、フォトレタッチソフトが仮想記憶領域として多くの容量を使用していることがあります。必要に応じて、ハードディスクを増設してください。

チェック

メモリの空き容量は十分にありますか？

次のときは、メモリの空き容量が減って画像が取り込めないことがあります。これらの場合、ソフトウェアの動作が遅くなるなどの症状が現れますので、次のように対処して空きメモリを確保してください。

	状況	対処
1	複数のソフトウェアを同時に使用している	他のソフトウェアを終了する
2	他のソフトウェアで大きなデータを扱っている	他のソフトウェアでデータを保存の上、できればそのソフトウェアを終了する
3	クリップボードに大きなデータがある	念のため、コンピュータを再起動する

必要なメモリ容量は画像データによって異なりますが、カラー原稿の取り込みでは、64MB 以上を推奨します。（画像データによっては、さらに多くの容量を必要とします。メモリ容量は、多ければ多いほど有利です。）

チェック

Macintosh の場合、アプリケーションに割り当てたメモリ容量は十分ですか？

Macintosh の場合は、TWAIN 対応アプリケーションに割り当てたメモリ容量が不十分だと、画像を取り込めないことがあります。このときは、次のように対処してください。

1. TWAIN 対応アプリケーションを終了します。
2. TWAIN 対応アプリケーションのアイコンをクリックし、［ファイル］-［情報を見る］-［メモリ］を選びます。
3. ［メモリ必要条件］項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］をそれぞれ設定します。最適な設定値はアプリケーションによって異なりますので、お使いのアプリケーションの取扱説明書で確認するか、またはアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。基本的には、取り込む画像データ容量の 2 倍以上の容量を割り当てることをお勧めします。

なお、アプリケーションに割り当てるメモリ容量を増やしすぎると、同時に使用する他のアプリケーションの動作に支障が出ることがありますのでご注意ください。

チェック

スキャナが認識されていますか？

「スキャナが認識されない」

チェック

TWAIN 対応アプリケーションの動作が不安定になっていませんか？

他の TWAIN 対応アプリケーションから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。何らかの原因により、TWAIN 対応アプリケーションの動作が不安定になっていることが考えられます。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

取り込み時に時間がかかる

取り込み時に時間がかかる。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

画像を高解像で取り込む設定にしていると、取り込みに時間がかかります。解像度を下げて、画像を取り込んでください。
適切な解像度がわからないときは、［全自動モード］での取り込みを行ってください。

「全自動モードでの取り込み」
「解像度とは？」

取り込み時のエラー一覧

取り込みを実行した時にエラーが発生した場合には、エラー状態をディスプレイに表示します。
エラーが表示されている場合には、次の表を参照して問題を解決してください。

エラーの種類	エラーメッセージ	
	エラー原因と対処方法	
TWAIN データソースまたはインターフェイスのエラー		
	原因	以下のように TWAIN データソースを選択していないため
	対処	EPSON TWAIN を起動する前に、TWAIN 対応アプリケーションで TWAIN データソースを選択してください。選択方法はアプリケーションによって異なりますので、アプリケーションの取扱説明書でご確認ください。
ハードディスクやメモリ関連のエラー		
	原因	これらのエラーは、コンピュータのハードディスクやメモリの空き容量が不足しているときに起こります。
	対処	ハードディスクやメモリの空き容量を確保してください。

本体からのエラー	Windows: EPSON Colorio Copy FB — コピー実行中のため、スキャナが使用できません。コピー終了を待って、再度実行してください。 OK Macintosh: コピー実行中のため、スキャナが使用できません。コピー終了を待って、再度実行してください。 OK	
	原因	本体側でコピーを実行しているときに起こります。
	対処	コピー終了を待って、再度取り込みを実行してください。
	Windows: EPSON Colorio Copy FB — メンテナンスカバーが開いています。カバーを閉じて、再度実行してください。 OK Macintosh: メンテナンスカバーが開いてます。カバーを閉じて、再度実行してください。 OK	
	原因	スキャナユニットが開いたまま取り込みを実行しています。
	対処	スキャナユニットを閉じて、再度取り込みを実行してください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

スキャナビボタンを押しても動作しない

スキャナビボタンを押してもアプリケーションが何も起動しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

本機の準備はできていますか？

本機の電源がオフになっていると、スキャナとして認識されません。必ず電源をオンにして電源ランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。

チェック

接続に問題はありませんか？

USB ケーブルをしっかりと接続してください。

チェック

USB ハブは 1 段目に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続するか、USB ハブを使用しないで、本体に直接接続してください。

チェック

EPSON SMART PANEL をインストールしていますか？

EPSON SMART PANEL は、スキャナビボタンが押されたことを監視して、［コピー］などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
「スタートアップガイド」を参照し、EPSON SMART PANEL をインストールしておいてください。

チェック

Windows の場合、コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の［イベント］画面で、［デバイスのイベントを実行しない］チェックボックスがチェックされていませんか？

このチェックボックスがチェックされていると、スキャナビボタンを押しても動作しません。
「スキャナとカメラについて」

チェック

Windows の場合、コントロールパネルの［スキャナとカメラ］が、アプリケーションを何も選択（チェック）していない状態になっていませんか？

何らかのアプリケーションを選択しないと、スキャナビボタンを押しても動作しません。
「スキャナとカメラについて」

チェック

Macintosh の場合、EPSON Scanner Monitor 機能拡張が使用停止になっていませんか？

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scanner 01xx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

Macintosh の場合、EPSON USB Scanner 01xx 機能拡張が使用停止になっていませんか？

コントロールパネルの［機能拡張マネージャ］を開き、EPSON USB Scanner 01xx がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして Macintosh を再起動してください。

チェック

必要なシステム条件を満たしていますか？

USB 接続でご使用の場合は、Windows 95/NT、および Windows 95/NT から Windows 98/Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータでは使用できません。
お使いのコンピュータがシステム条件を満たしているかご確認ください。
「TWAIN ドライバのシステム条件」

チェック

インストールが不完全な状態で終了していませんか？

何らかの原因で、正常にインストールできない、取り込みができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、スタートアップガイドをご覧ください。

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

スキャナビボタンを押したときの動作が違う

スキャナビボタンを押したときの動作が意図した通りにならない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

チェック

EPSON SMART PANEL をインストールしていますか？

EPSON SMART PANEL は、スキャナビボタンが押されたことを監視して、[コピー]［ファックス］などのさまざまなアプリケーションソフトを起動するソフトウェアです。
スタートアップガイドを参照し、EPSON SMART PANEL をインストールしておいてください。

チェック

Windows の場合、[スキャナとカメラ] の設定で、EPSON SMART PANEL 以外のアプリケーション（Imaging など）が選択されていませんか？

コントロールパネルの［スキャナとカメラ］の［イベント］画面で、EPSON SMART PANEL を選択（チェック）してください。
「スキャナビボタンについて」

チェック

EPSON SMART PANEL での、スキャナビボタンの設定は意図通りになっていますか？

スキャナビボタン押下後の処理は EPSON SMART PANEL がコントロールします。
そのため、EPSON SMART PANEL でのスキャナビボタンに関する設定を確認してください。
「メイン画面」

ポイント

以上のチェック項目をチェックしても症状が改善しない場合

- インターネットをお使いの方は、インターネット FAQ をご覧ください。
  「インターネット FAQ のご案内」
- インターネットをお使いでない方、またインターネット FAQ をご覧になっても改善しない方は、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。カラリオインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

プレビュー画像の色がおかしい

プレビューを実行したときの画像の色合いがおかしい。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[環境設定]ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。
[環境設定]の[カラー]タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出]ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

「基本設定」
「環境設定」

自動調整で意図通りの結果が得られない場合は、[イメージ制御]ダイアログでハイライト / シャドウ / ガンマを調整してください。

「イメージ制御」

チェック

[環境設定]ダイアログの「高速プレビュー」のチェックを外してみてください

[環境設定]の[プレビュー]タブで「高速プレビュー」の チェックを外すと、プレビュー画像が高品位になります。

「環境設定」

画像がぼけている・ゆがんでいる

取り込んだ画像がぼけていたり、ゆがんでいる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

取り込み中に本機を揺らしていませんか？

本機に振動を与えないように気を付けながら、もう一度取り込んでください。

チェック

「アンシャープマスク」のチェックが外れていませんか？

基本設定画面上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてください。
「基本設定」

チェック

原稿自体のピントがずれていませんか？

取り込む原稿自体のピントがずれている可能性があります。この場合も EPSON TWAIN 画面上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてみてください。
「基本設定」

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、次を参照して対処してください。
「イメージタイプ」

チェック

[環境設定] ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。
[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。
「基本設定」
「環境設定」

チェック

解像度が適切に設定されていますか？

EPSON TWAIN の機能により、取り込む画像のきめ細かさ（解像度）を設定できます。適切な解像度を設定して取り込んでください。
「解像度とは？」

点がいくつか現れるだけで画像にならない

取り込んだ画像が真っ白、影のように点がいくつか現れる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

本機に原稿をセットしてありますか？

本機に原稿をセットしてください。原稿をセットしないで取り込むと、原稿カバーの裏を取り込むため、白い画像になるだけです。

チェック

原稿の取り込む面を下にしてセットしてありますか？

原稿の取り込みを行う面を原稿台に向けてセットしてください。

チェック

しきい値の設定は適切ですか？

基本設定のイメージタイプを「文字／線画」または「COPY & FAX」にしてイラストや文字原稿などを取り込む場合は、［イメージ制御］ダイアログの「しきい値」の設定を変更してみてください。設定を変更すると線や文字を取り込めるようになります。

「文字原稿の認識率を上げて取り込もう」
「イメージタイプ」
「イメージ制御」

画像が暗い、細部が表現されない、裏写りする

取り込んだ画像が暗い、細かい部分が表現されない、原稿の裏の内容まで裏写りする。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります。（ガンマ値の設定にバラつきがあります。）そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさで取り込めるよう、［環境設定］の［カラー］タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。
設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は 1.8 近傍に設定してください。
なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。
「環境設定」

チェック

［環境設定］ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。
［環境設定］の［カラー］タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、［自動露出］ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。
「基本設定」
「環境設定」

チェック

原稿に裏が透けて見えるほどの薄い用紙を使用していませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。裏写りは、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります。
「使用できる原稿」

チェック

［イメージタイプ］ダイアログの自動露出オプションを、「書類」に設定していませんか？

自動露出オプションを「書類」に設定すると、ハイライト（画像の最も明るい部分）が 255（真っ白）になるように調整されます。そのため、裏写りを防止できます。また次の効果もあります。

- 文字がくっきりした画像になります。
- 背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。
「イメージタイプ」

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

取り込んだ画像に網目状の陰影（モアレ）が生じる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

印刷物などのスクリーン処理された原稿を取り込んでいませんか？

印刷物（雑誌・カタログなど）は、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- EPSON TWAIN の「アンシャープマスク」のチェックを外して取り込む
  「基本設定」
- [イメージタイプ] で [カラー書類] または [白黒書類] を選択して取り込む
  「イメージタイプ」
- 原稿の向きを変えて取り込み、アプリケーションで本来の向きに回転する
- EPSON TWAIN の「ズーム」の設定を少し変更して取り込む
  「基本設定」

ポイント

印刷におけるモアレ
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する。（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンともいい、網点の配列される角度をスクリーン角度という。）

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

画像取り込みにおけるモアレ
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像を本機で取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、イメージタイプを選択し直したり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

画像が画面に大きく表示される

取り込んだ画像が必要以上に画面に大きく表示される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

画像を高解像度で取り込んでいませんか？

通常パソコンの画面の解像度は 70 ～ 90dpi しかありませんが、アプリケーションによっては、取り込んだ画像データの各画素（画像を構成している細かな点の 1 つ 1 つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。

その場合、取り込んだ画像データは大きく表示されます。しかしこの場合でも、印刷すると原稿と同じ大きさになります。

画像の色が原稿と違う

取り込んだ画像がセットした原稿の色合いと異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

[イメージタイプ]を正しく設定していますか？

取り込む原稿の種類や画像の用途に合わせて、基本設定の「イメージタイプ」を正しく設定してください。
「イメージタイプ」

チェック

ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？

フルカラー（1677 万色以上）のデータを表示させるのであれば、表示色を Windows の場合 High Color（65,000 色）以上、Macintosh の場合 32,000 色以上にしなければきれいな表示は得られません。

チェック

[環境設定]ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。
[環境設定]の[カラー]タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出]ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。
「基本設定」
「環境設定」

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色あいで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。
「ディスプレイについて」

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の[モニタ設定]などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は C・M・Y（シアン・マゼンタ・イエロー。色の三原色）、ディスプレイは R・G・B（赤・緑・青。光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色あいを完全に一致させることはできません。
自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON TWAIN またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。

文字原稿の認識率がよくない

OCR ソフト（読ん de!! ココなど）で取り込んだ文字原稿の文字としての認識率が良くない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

チェック

原稿が斜めにセットされていませんか？

原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下します。まっすぐにセットしてください。また、原稿カバーを閉じる時は、原稿が動かないようにゆっくり閉じてください。

チェック

［イメージタイプ］や［出力機器］を正しく設定していますか？

イメージタイプを「文字（背景除去）」、出力機器を「OCR」に設定して取り込んでください。
それでも認識率が良くない場合は、［イメージタイプ］ダイアログの「モノクロオプション」を［なし］に設定してください。

さらに［イメージ制御］ダイアログの「しきい値」を調整してください。
しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
「文字原稿の認識率を上げて取り込もう」

それでも認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

チェック

原稿の品質に問題がありませんか？

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。

- 何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- FAX 受信した原稿
- 文字間や行間が狭すぎる原稿
- 文字に罫線や下線がかかっている原稿
- 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- 折り目やしわがある原稿
- 本の綴じ込み付近

※詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイと印刷結果の色が合わない

せっかくきれいに取り込んだ画像を印刷するとディスプレイと印刷結果の色合いが異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください

チェック

カラーマッチング技術を使用してみましたか？

Windows の「ICM/sRGB」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング技術を使用してみてください。Windows の場合は、さらに［画面のプロパティ］で、お使いのディスプレイ用のカラープロファイル（色変換用の情報が入っているファイル）を追加しておいてください。

また、印刷に使用するアプリケーションソフトで sRGB の設定をしておいてください。そうしないと、sRGB を使用してもディスプレイと印刷結果の色は合いません。

チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。

「ディスプレイについて」

チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトレタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。
モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。
詳しい手順については、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない
印刷物は C・M・Y（シアン・マゼンタ・イエロー。色の三原色）、ディスプレイは R・G・B（赤・緑・青。光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

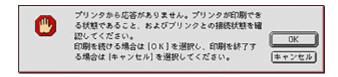
自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON TWAIN またはフォトレタッチソフトで画質を調整してみてください。

書籍のご案内「カラーマネージメント！」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1
発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

トラブル対処方法（その他）

その他のトラブル

チェック

「書き込みエラー」や「通信エラー」などのメッセージがコンピュータの画面に表示されて、印刷できない

これらのメッセージは、いくつかの要因によって表示されます。

- プリンタドライバが正しくインストールされていない場合
- コンピュータと本機が正しく接続されていない場合

以下のページを参照して、原因の確認とエラー解除を行ってください。
「電源ランプは点灯しているのに、印刷が始まらない」

チェック

クリーニングが動作しない

プリントヘッドのクリーニングを実行しても本機がまったく動作しない場合は、エラーメッセージが表示されていないか確認してください。
インク残量が少なくなっているとき、およびインクがなくなっているときは、クリーニングを実行しても本機はクリーニングを行いません。
インク残量が少なくなっているとき、またはインクがなくなっているとき新しいインクカートリッジに交換してからクリーニングを実行してください。
「操作パネルのエラー表示一覧」
「インクカートリッジの交換方法」

チェック

インクカートリッジの取り付け時、誤って黄色いテープと一緒に青いラベルをはがしてしまった

誤って青いラベルをはがしてしまったインクカートリッジは、使用しないでください。
必ず新しいインクカートリッジを使用し、黄色いテープのみをはがした状態で取り付けてください。青いラベルまではがした場合には、黄色いテープをはがしたとき以上にカートリッジ内に空気が入ってしまうことになります。その場合、インクカートリッジ装着直後はインクが出ますが、時間が経つにつれてインクカートリッジ内のインクの粘度が増し、印刷時に目詰まりを起こす原因となります。
この状態に陥ってからインクカートリッジを交換してクリーニングを行っても目詰まりを解消することができなくなりますので、ご注意ください。

チェック

黒印刷しかしていないのに、いつの間にかカラーインクが減っている

黒印刷しかしない場合でも、以下の動作時にカラーインクが消費されます。
また、カラーインクしか使用しない場合でも、同様の理由で黒インクが消費されます。

- **ヘッドクリーニングをするとき**
  黒インクのみ使用していても、ヘッドクリーニング時は黒・カラーのインクを同時に使用するため、カラーインクも消費されます。

- **セルフクリーニング時**
  セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能です。印刷を開始するときなどに定期的に行われます。（すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。）

クリーニング時に黒とカラーインクを同時に使用する理由
プリントヘッドのノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたり、正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に、正常にインクが出ないということでは、プリンタの性能を発揮できない結果になります。
そのため、目詰まり防止策として、どちらか一方のノズルだけをクリーニングするのではなく、黒・カラー両方のノズルをクリーニングして、双方のノズルを常に良好な状態にしておく仕組みになっています。

チェック

意味不明の文字や記号が印刷される（文字化けする）

印刷を実行すると意味不明な文字や記号が印刷される。また、意味不明な文字や記号を少しずつ印刷しながら、大量の用紙を排紙する。
こういった現象は、コンピュータから本機に送られてくるデータが初めから壊れていたり、送られてくる途中で壊れてしまうことが原因として考えられます。
以下のチェック項目を確認してください。

プリンタケーブルが外れかかっていませんか？

コンピュータと本機に、プリンタケーブルがしっかり差し込まれていることを確認してください。外れかかっていると、印刷や動作がおかしくなる場合があります。

本機とコンピュータの間に、プリンタ切替機やバッファなどを使用していませんか？

一台のプリンタを複数のコンピュータで共有する場合などに使われるプリンタ切替機や、プリンタバッファなどを使用していると、本機とコンピュータの情報データのやり取りがうまくいかず、文字化けなどが発生する場合があります。
本機とコンピュータを直接接続して、正常に印刷できるかご確認ください。

チェック

印刷後の用紙に、重なった際の跡が残る

印刷後の用紙を重なった状態で放置していませんか？
印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥（※）させてください。そうすれば、跡はなくなります。重なっている状態で放置すると、１枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなりますのでご注意ください。
※１枚ずつ広げておよそ一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、15 分程度放置した後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねて乾燥させてください。

チェック

印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

Macintosh 本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷に時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。
この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどメモリの空き容量を増やして Macintosh が使用できるメモリ領域を確保してください。
システムの空きメモリ容量とは、［このコンピュータについて ...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的に Macintosh の仮想メモリを使用してください。（［システムが使用するメモリ］+［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください。）ご使用の環境にもよりますが、より快適にご使用になれる場合があります。

チェック

セレクタ画面にプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバは漢字 Talk7.5 以降に添付されている Quick Draw　GX には対応しておりませんので、Quick Draw GX がインストールされている Macintosh のセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバは表示されません。この場合、Quick Draw GX を使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。
以下の手順で Quick Draw GX を使用停止にしてください。

1. 「caps lock」キーを解除しておきます。
2. スペースバーを押したままにして Macintosh を起動します。（機能拡張マネージャが開きます。）
3. Quick Draw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします。
（チェック印のない状態になります。）
4. 機能拡張マネージャを閉じます。

チェック

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、以下のページを参照して、プリンタドライバを入手してください。
「最新プリンタドライバ類の入手方法」

チェック

Mac OS 8.5.1 で高解像度（800dpi 以上など）の画像取り込みをすると、フリーズ等の不具合が発生する

Mac OS を 8.5.1 から 8.6 にアップデートしてください。不具合を回避できます。アップデートするときは「Mac OS 8.6 アップデート」を使ってください。
Mac OS 8.6 へのアップデート方法については、アップルコンピュータ社のホームページ (http://www.apple.co.jp) をご覧ください。

チェック

コンピュータ、マウスがまったく動かなくなってしまったら？

以下の方法でコンピュータを再起動してください。ただし、保存していないデータは失われます。
通常、プリンタドライバが原因でコンピュータやマウスが動かなくなってしまうことはありません。このようなことが頻繁に起こる場合には、原因の 1 つとして、コンピュータのシステムや OS の環境によることが考えられます。OS やコンピュータにインストールされているユーティリティなどの取扱説明書を参照して確認を行ってください。
「Command」キー、「control」キー、「Power On」キーの 3 つのキーを同時に押してください。

※ USB 接続のキーボードを使用している Macintosh の場合、上記の方法でコンピュータを再起動することができない場合があります。この場合、コンピュータのリセットボタンを押し、Macintosh を再起動してください。

チェック

漏洩電流について

本機は、社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。
しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。
このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。
本機からアースを取る場合には、カラリオインフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください。

お問い合わせの多い Q&A

お問い合わせの多い項目をピックアップしました。

チェック

最新のドライバを入手するにはどうしたら良いですか？

機能改善のために、プリンタドライバがバージョンアップすることがあります。通常は、本機に同梱されているドライバで問題なくご使用いただけますが、より快適に印刷を行っていただくため、最新のプリンタドライバをご使用いただくことをお勧めします。

「最新プリンタドライバ類の入手方法」

チェック

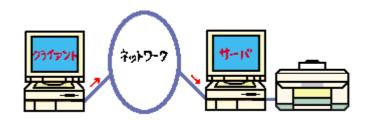
プリンタドライバの削除・再インストール方法

通常は、本書に記載されている削除方法に従って、プリンタドライバを削除してください。

「プリンタドライバの削除方法」

削除を実行したら、「スタートアップガイド」の手順に従ってプリンタドライバなどのインストールを実行してください。

チェック

本機をネットワーク上で使用するための方法

ネットワーク環境下において、本機をネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。イラストで示したように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタをネットワーク上で共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。プリンタを直接接続し、ほかのユーザーに共有させるコンピュータをプリントサーバと呼び、そのプリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。
詳しくは以下のページをご覧ください。
「ネットワークでプリンタを共有する方法」

チェック

印刷時に複数の用紙やハガキが重なったまま給紙されてしまうのですが、どうすれば良いのでしょうか？
本機の給紙がうまくいかない場合の対処方法は？

用紙がうまく給紙できない場合には、用紙が正しくセットされているか、セットした用紙の枚数が多すぎないかなど、いくつかのチェック項目があります。以下のページを参照して、チェック項目をご確認ください。
「紙送りが正しくできない（定形紙・ハガキ・封筒）」

操作パネルのエラー表示一覧

本機にエラー（正常でない状態）が発生したときは、エラーランプが点灯し、操作パネルの液晶ディスプレイにエラー内容が表示されます。

エラーメッセージ	内容	解決方法
カラー、クロインクカートリッジ ナシ	カラーと黒、両方のインクカートリッジが取り付けられていません。	[コピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、カラーと黒のインクカートリッジを取り付けてください。
クロインクカートリッジ ナシ	黒インクカートリッジが取り付けられていません。	[コピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、黒インクカートリッジを取り付けてください。
カラーインクカートリッジ ナシ	カラーインクカートリッジが取り付けられていません。	[コピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、カラーインクカートリッジを取り付けてください。
カラー、クロインク ナシ	カラーと黒、両方のインクがなくなりました。	[コピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、新しいカラーと黒のインクカートリッジを取り付けてください。
クロインク ナシ	黒のインクがなくなりました。	[コピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、新しい黒インクカートリッジを取り付けてください。
カラーインク ナシ	カラーのインクがなくなりました。	[コピー] ボタンを押すとプリントヘッドがインクカートリッジ交換位置に移動しますので、新しいカラーインクカートリッジを取り付けてください。
クロインク スクナクナリマシタ	黒のインクが残り少なくなりました。	新しい黒インクカートリッジをご用意ください。
カラーインク スクナクナリマシタ	カラーのインクが残り少なくなりました。	新しいカラーインクカートリッジをご用意ください。
インクカートリッジエラー	インクカートリッジに問題が発生しました。	新しいインクカートリッジに交換してください。
ジュンセイノ インクカートリッジデハアリマセン。	取り付けられたインクカートリッジが、本機に対応した純正品ではありません。	[コピー] ボタンを押すとコピーを実行することができます。[クリア] ボタンを押すとコピーが実行され、次回コピー時にはこのメッセージは表示されなくなります。ただし、どちらの場合にも印刷品質は保証されません。
プリンタ ヨウシ ヅマリ	用紙詰まりです。	[コピー] ボタンを押します。うまく給紙されない場合には、詰まっている用紙を手で取り除きます。
プリンタ ヨウシ ナシ	用紙がセットされていません。	オートシートフィーダに用紙をセットして、[コピー] ボタンを押してください。
スキャナユニットオープン	スキャナユニットが開いています。	スキャナユニットをしっかり閉じてください。
スキャナエラー	スキャナ部で次のようなエラーが発生しています。 • キャリッジ固定レバーがロックされている • 蛍光ランプの交換が必要 • スキャナ部の故障	電源を一旦オフにしてキャリッジ固定レバーが解除されているか確認してください。 キャリッジがロックされている場合には、ロックを解除し、再度電源をオンにしてください。 キャリッジ固定レバーが解除されているにも関わらずエラーになる場合には、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

プリンタエラー	プリンタ部でエラーが発生しています。	電源を一旦オフにして、再度電源をオンにしてください。 それでもエラーになる場合には、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

ポイント

処置した後もエラー表示が続く場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

インクカートリッジ交換方法

インクカートリッジの交換方法

黒 / カラーどちらか片方のインクがなくなると、エラーランプが点灯し、印刷ができなくなります。
黒 1 色のモノクロ印刷を行う場合でも、カラーインクがなくなっていると本機が動作しません。
通常は、コンピュータの画面上に「黒（またはカラー）インクがなくなりました。」というメッセージが表示されますので、［手順の説明］ボタンをクリックしてインクカートリッジを交換するか、下記の手順で交換してください。

注 意

インクカートリッジ取り扱い上の注意事項をご確認ください。
「インクカートリッジ交換時の注意事項」

ポイント

コンピュータの画面上にメッセージが表示されない場合
黒 / カラーどちらのインクがなくなっているかをランプで確認してから、下記の手順でインクカートリッジを交換してくだい。
「操作パネルのエラー表示一覧」

1. **新しいインクカートリッジを用意します。**

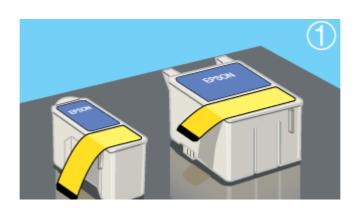
   インクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	IC1BK12
カラーインクカートリッジ	IC3CL12

2. **操作パネルにエラーメッセージが表示されている場合は、コピーボタンを押します。**

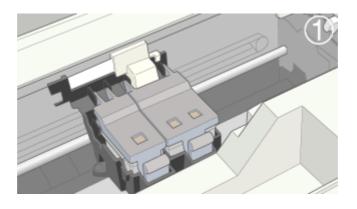
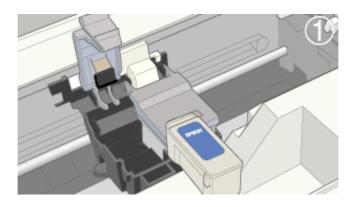
   プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置まで移動し、電源ランプが点滅します。

3. **メンテナンスボタンを押して、スキャナユニットを開けます。**

4. **新しいインクカートリッジを袋から取り出し、EPSON マークの印刷されたラベルをはがさないようにして、黄色いテープのみをはがします。**

（以降、カラーインクカートリッジを交換する例です。黒インクカートリッジもほぼ同じ手順で交換できます。）

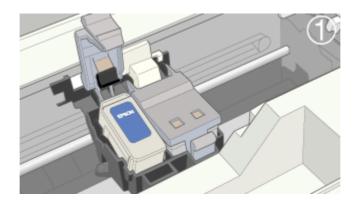
注 意

- **黄色いテープは必ずはがしてください。はがさないままセットすると印刷できません。また、そのインクカートリッジは使用できなくなります。**
- **EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。**
- **インクカートリッジ底面の透明フィルムは、はがさないでください。**
- **インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。**

5. **固定カバーを引き上げ、古いインクカートリッジを取り出します。**

6. **インクカートリッジの EPSON マークを固定カバー側に向け、固定カバーのツメの上にインクカートリッジのツメを載せるようにして置きます。**

注 意

インクカートリッジは、無理に押し込まないようにしてください。

7. **インクカートリッジが確実にセットされるように、固定カバーを手前に倒し、しっかりと固定します。**

   セットには多少力が必要です。固定カバーの上面をしっかり押し込んでください。

8.　スキャナユニットを閉じ、コピーボタンを押します。

プリントヘッドが右に移動し、インクの充てんが始まります。

9.　電源ランプの点滅が点灯に変わったら充てんは終了です。（インクの充てんには約 30 秒かかります。）

以上でインクカートリッジの交換は終了です。

! 注意

- 充てん中（電源ランプの点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷ができなくなるおそれがあります。
- 取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので、周囲を汚さないように注意してください。

ポイント

使用済みのインクカートリッジは、ポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
また弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

インクカートリッジ交換時の注意事項

インクカートリッジを交換する前に、以下の注意事項をお読みください。

インクカートリッジの種類

使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジの種類	型番
黒インクカートリッジ	IC1BK12
カラーインクカートリッジ	IC3CL12

注 意

- 本機に添付の Windows/Macintosh 用プリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。
- 純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

インクカートリッジ取り扱い上の注意事項

インクカートリッジを交換する前に以下の注意事項をご確認ください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは、取り付ける直前に開封してください。開封した状態で長時間放置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。また、開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。（未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。）
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは分解しないでください。
- 本機で使用するインクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用が可能です。ただし、再装着の際にはプリンタの信頼性を確保するため、インクが消費されます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にほこりが付かないように注意して、本機と同じ環境下で保管してください。なお、インク供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジのインク供給孔部には触らないでください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温で放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると、印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

- EPSON マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。EPSON マークの印刷されたラベルをはがしたインクカートリッジを使用すると、インクの粘度が増し、プリントヘッドが目詰まりして印刷できなくなる場合があります。

注 意

- **インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに石けんで洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異常がある場合は、すぐに医師にご相談ください。**
- **インクは飲まないでください。また、インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。**

保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない所に保管してください。また、インクは飲まないでください。

交換時のご注意

- インクカートリッジへのインクの補充はしないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- 本機の電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行われず正常な印刷ができなくなります。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外したまま、本機を放置しないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- 交換作業中は本機の電源をオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、黒・カラー両方ともセットしてください。どちらか片方だけセットされた状態では、本機は動作しません。
- 充てん中（電源ランプが点滅中）は、電源をオフにしないでください。充てんが完全に行われずに、印刷ができなくなる場合があります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付着している場合がありますので注意してください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、リサイクルに出すか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

インク消費について

各インクカートリッジは、印刷時以外にも次の場合に消費されます。

- 印刷を開始するときなどに定期的に実施されるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時
- インクカートリッジ装着時

インクカートリッジのリサイクルについて

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

EPSON

お勧めの機能

フチなし全面印刷（定形紙）

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても上下左右に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができませんが、フチなし全面印刷機能を使用すると、フチ（余白）のない印刷が可能になります。

ポイント

- 用紙の上下端では、印刷品質を保持するために、印刷速度が極端に遅くなります。
- 四辺フチなし印刷を行う場合、プリンタドライバの［レイアウト］画面の機能は使用できません。

フチなし全面印刷の推奨用紙

フチなし全面印刷を行う場合は、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。

- フォト・プリント紙 2
- ハガキサイズの専用紙 / 官製ハガキ

注意

- 上記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- スーパーファイン専用光沢フィルム・専用 OHP シート・アイロンプリントペーパーには、フチなし全面印刷はできません。

アプリケーションソフトを使ってフチなし全面印刷

印刷データの作成

フチなし全面印刷をするデータは、用紙いっぱいに作成してください。余白設定のできるアプリケーションソフトをご使用の場合は、余白を「0mm」にしてください。
データサイズの変更については、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

用紙サイズ	印刷データのサイズ
A4（210 × 297mm）	210 × 297mm
ハガキ（100 × 148mm）	100 × 148mm

フチなし全面印刷は、印刷データを用紙サイズよりわずかに拡大して印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に、試し印刷することをお勧めします。

印刷時の設定

1. プリンタドライバの［用紙設定］画面を開きます。

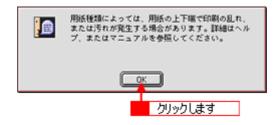
   多くのアプリケーションソフトでは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［プリンタの設定］などの項目をクリックします。

ポイント

本機のプリンタドライバが表示されない場合は、セレクタで本機のプリンタドライバが選択されていません。［アップル］メニューから［セレクタ］を開いて、本機のプリンタドライバを選択してください。

2. ［用紙サイズ］のポップアップメニューから、「A4」または「ハガキ」を選択します。

3. ［給紙装置］のポップアップメニューから［オートシートフィーダ］を選択して、［四辺フチなし］をチェックします。

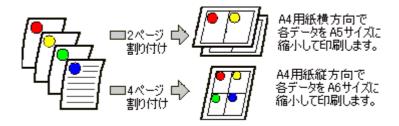
4. **画面の内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。**

5. **[OK] ボタンをクリックして、[用紙設定] 画面を閉じます。**

6. **[印刷] 画面を開き、各項目を設定して印刷を実行します。**

複数ページを 1 枚に割付印刷

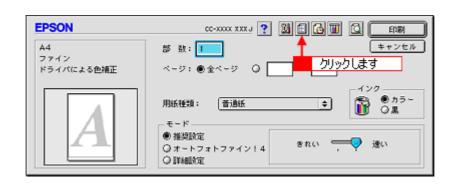
1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを割り付けて印刷することができます。

ポイント

- A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

- 拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

- この機能は、［用紙設定］画面の［給紙装置］が、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)］になっている場合のみに有効です。

1. **印刷の実行前に［印刷］画面の ボタンをクリックします。**

［レイアウト］画面が表示されます。

2. **［割り付け印刷］をチェックし、割り付けのラジオボタンをクリックします。その後、各項目を設定します。**

1	ページ数	1 枚に割り付けるページを選択します。
2	順序	割り付ける順番を選択します。
3	枠を印刷	割り付けたページに枠線を印刷する場合に選択します。

3. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

ポイント

印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷

「A4 サイズで作った印刷データを、別のサイズの用紙に印刷したい」、そんなときはフィットページ機能を使用して印刷してください。拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。

ポイント

この機能は、［用紙設定］画面の［給紙装置］が、［オートシートフィーダー（四辺フチなし「チェック無」)］になっている場合のみ有効です。

1. **印刷の実行前に［印刷］画面の ボタンをクリックします。**

［レイアウト］画面が表示されます。

2. **［フィットページ］をチェックします。**

［出力用紙サイズ］のポップアップメニューが有効になります。

3. **［出力用紙サイズ］のポップアップメニューから、プリンタにセットした用紙のサイズを選択します。**

［用紙設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝印刷データのサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

［用紙設定］画面では、拡大 / 縮小率を自分で設定できます。

4. ［OK］ボタンをクリックして［印刷］画面に戻り、印刷を実行します。

プリンタ部の状態を画面で確認

本機が印刷できる状態か、インク残量はどのくらいか、本機がエラー状態になっていないかなどを、コンピュータの画面で確認することができます。
以下の手順で、確認画面を表示させてください。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］または［プリント］をクリックします。

   ［印刷］画面が表示されます。

2. ボタンをクリックします。

   ［ユーティリティ］画面が表示されます。

3. ［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。

   EPSON プリンタウィンドウが表示されます。

4. **プリンタ部の状態を確認します。**

正常時

エラー時

エラー状態になっている場合は、表示されているメッセージに従ってエラーを解除してください。

各画面と項目の説明

用紙設定画面

［用紙設定］画面では、印刷する用紙のサイズを設定します。また、印刷の方向や印刷の部数などを設定することもできます。

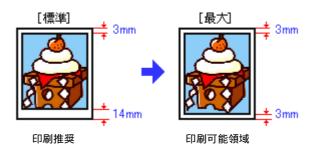
1	用紙サイズ	印刷データの用紙サイズをポップアップメニューの中から選択します。

ポイント

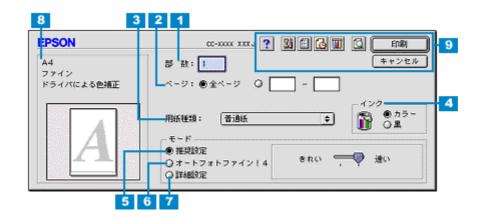
印刷データの用紙サイズが、本機にセットした用紙サイズよりも大きい場合は、必ず本機にセットした用紙に合うように縮小して印刷してください。縮小せずに印刷すると本機の内部がインクで汚れるおそれがあります。
「セットした用紙サイズに拡大 / 縮小印刷」

2	給紙装置	給紙装置を選択します。（本機の選択肢は、［オートシートフィーダ］のみですので、選択する必要はありません。）	
3	四辺フチなし	フチなし全面印刷をする場合に選択します。 用紙の種類やサイズによっては、フチなし全面印刷ができません。詳細は以下のページでご確認ください。 「フチなし全面印刷（定形紙）」	
4	印刷方向	印刷方向を選択します。［横］ボタンをクリックすると印刷データが 90 度回転されます。	
5	180 度回転印刷	印刷イメージを 180 度回転させて印刷する場合に選択します。［給紙装置］で［四辺フチなし］を選択した場合は設定できません。	
6	拡大 / 縮小率	任意の倍率を指定して印刷する場合に選択します。25%～400%の間で倍率を指定できます。チェックを付けてから、任意の倍率を指定してください。 特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大 / 縮小の設定範囲が変わることがあります。	
7	印刷可能領域	印刷する領域（位置）を選択します。	
		標準	印刷推奨領域に印刷する場合に選択します。
		最大	印刷可能領域に印刷する場合に選択します。
		センタリング	用紙上下の余白が均等になるように印刷する場合に選択します。

ポイント

本機の印刷推奨領域は、用紙の上左右 3mm、下 14mm を除いた部分です。しかし、[最大] を選択することで 14mm の余白を 3mm にして印刷することができます。ただし、広がった印刷領域（用紙下端 3 ～ 14mm）では、印刷品質が低下する場合があります。

8	各種ボタン	[OK]	変更した設定を有効にして設定を終了するボタンです。
		[キャンセル]	変更した設定を無効にして設定を終了するボタンです。
		[印刷設定]	[印刷] 画面と同様の画面を開くボタンです。印刷実行時にも設定できますので、ここで設定する必要はありません。
		[カスタム用紙]	このボタンをクリックすると、[用紙サイズ登録] 画面が表示され、用紙サイズを登録できます。 「定形外の用紙サイズに印刷」
			ヘルプ情報を表示するボタンです。
			[ユーティリティ] 画面を表示するボタンです。

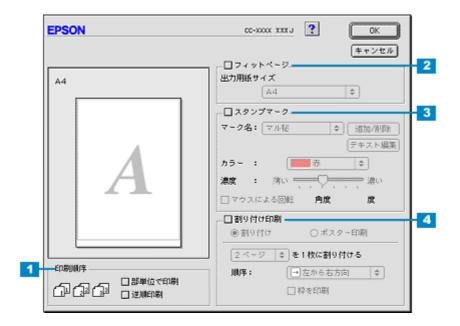
印刷画面

［印刷］画面では、印刷の品質にかかわる設定をします。また、レイアウトやユーティリティ、バックグラウンドプリントに関する設定画面を開くこともできます。

1	部数	複数部印刷する場合に、印刷の部数（コピー数）を入力します。	
2	ページ	印刷ページを指定します。［全ページ］を選択すると、文書の全ページが印刷されます。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。	
3	用紙種類	印刷する用紙の種類をポップアップメニューから選択します。	
4	インク	インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。	
5	推奨設定	自動的に最適な設定で印刷したい場合に選択します。用紙種類によっては［きれい / 速い］を選択できないものもあります。	
		きれい	印刷品質を重視して印刷する場合に選択します。
		速い	印刷速度を重視して印刷する場合に選択します。

No.	項目			
6	オートフォトファイン !4			
		ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD データなどを、自動的に補正して印刷する場合に選択します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正を加え、高画質化して印刷することができます。また、[詳細設定] 画面ではさらに詳細な設定をすることができます。		
		ポップアップメニュー	印刷する際の画像の色調を [標準] [人物] [風景] [ソフトフォーカス] [セピア] の中から選択することができます。	
			標準	EPSON 標準の色調で印刷するモードです。
			人物	人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
			風景	風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
			ソフトフォーカス	画像が柔らかいタッチになるように補正を加えて印刷するモードです。
			セピア	セピア調で印刷するモードです。
		デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択します。デジタルカメラのデータに対して最適な補正を加えて印刷します。	
7	詳細設定			
		[詳細設定] を選択すると [設定変更] ボタンとポップアップメニューが有効になります。ポップアップメニューからは用途に合わせたプリセットメニューを選択することができます。[設定変更] ボタンをクリックすると [詳細設定] 画面が表示されます。		
		プリセットメニュー	次のリストの中から、用途に合わせたプリセットメニューを選択することができます。 [用紙種類] により、選択できるメニューが異なります。	
			高精細	最高の印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。
			エコノミー	試し印刷に向いた印刷モードです。印刷速度が速くなります。
			ColorSync	ColorSync を使用して画面上の表示にもっとも近い色で印刷するモードです。
		[設定変更] ボタン	クリックすると、[詳細設定] が表示されます。 「詳細設定画面」	
8	現在の設定値	プリンタドライバで現在設定されている値や効果が表示されます。		

9	各種ボタン	[印刷]	設定した内容で印刷を開始するボタンです。
		[キャンセル]	設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。
			[印刷] ボタンの表示を［プレビュー］ボタンに切り替えます。[プレビュー] ボタンをクリックすると印刷イメージを表示するプレビュー画面を開きます。 「プレビュー画面」
			クリックすると、[プレビュー] ボタンが［ファイル保存］ボタンに切り替わります。[ファイル保存] ボタンをクリックすると印刷データをファイルとして保存することができます。保存したファイルは、ダブルクリックするだけでアプリケーションソフトを起動することなく印刷することができます。
			クリックすると、[印刷] ボタンに戻ります。
			クリックすると、EPSON プリンタウィンドウが表示されます。インクの残量を確認することができます。 「インク残量モニタ画面」
			クリックすると、バックグラウンドプリントなどを設定する画面が表示されます。 「印刷中に別の作業をする方法（バックグラウンドプリント）」
			スタンプマーク印刷や割り付け印刷を設定するための［レイアウト］画面を開くボタンです。 「レイアウト画面」
			「EPSON プリンタウィンドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するための画面を表示するボタンです。 「ユーティリティ画面」
			ヘルプ情報を表示するボタンです。

レイアウト画面

［レイアウト］画面では、印刷データを拡大 / 縮小したり、スタンプマークを印刷したりすることができます。

ポイント

［レイアウト］画面での設定は、［用紙設定］画面の［給紙装置］が、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)］になっている場合のみ有効です。

1	印刷順序	同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を設定します。	
		部単位で印刷	1 部ずつ印刷する場合に選択します。
		逆順印刷	最終ページから印刷する場合に選択します。
2	フィットページ	本機にセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷する場合に選択します。チェックを付けてから、出力用紙のポップアップメニューで本機にセットした用紙サイズを選択してください。	

ポイント

- 印刷倍率を手動で設定するときは、［用紙設定］画面で設定してください。
- 印刷データの印刷領域がプリンタの印刷可能領域を超える、または同等の場合、レイアウトが変わることがあります。

3	スタンプマーク	チェックすると、印刷データに「 重要 」などのイメージを重ね合せて印刷することができます。	
		マーク名	印刷したいマークをポップアップメニューから選択します。
		カラー	選択したマークの印刷色をポップアップメニューから選択します。ただし、新規に登録したマークの色は設定できません。
		濃度	印刷する際の、マークの濃さを調整できます。
		マウスによる回転	[追加 / 削除] ボタンをクリックして任意の単語（[テキスト]）を登録した後、マーク名に登録した文章を選択すると有効になります。入力欄に数値を入力するとマークの角度を調整することができます。また、[マウスによる回転] にチェックを付けると、プレビュー部のスタンプマークをドラックすることで回転させることができます。
		[追加 / 削除]	クリックすると、新規に画像や任意の単語をスタンプマークとして登録することができます。 「オリジナルスタンプマークを重ねて印刷」
		[テキスト編集]	[追加 / 削除] ボタンをクリックして任意の単語を登録した後、マーク名に登録した単語を選択すると有効になります。クリックすると、登録した単語の編集ができます。

ポイント

画面上に表示されているスタンプマークにカーソルを移動し、カーソルが　　マークに変わる所でドラッグするとスタンプマークの移動と拡大 / 縮小ができます。

- ：スタンプマークを移動できます。
- ：スタンプマークを拡大 / 縮小できます。

4	割り付け	チェックすると、2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを縮小して、1 枚にまとめて印刷できます。	
		ページ数	1 枚に割り付けるページ数を選択します。
		順序	割り付ける順序を設定します。
		枠を印刷	割り付けたページに枠線を印刷する場合に選択します。
	ポスター印刷	チェックすると、大きなポスターを作ることができます。1 ページ分のデータが分割されて自動的に拡大印刷されます。4 分割したデータを A4 用紙 4 枚に印刷してつなぎ合わせると、およそ A2 サイズの印刷結果を作ることができます。	
		ページ数	1 ページのデータを何枚の用紙に分割するか設定します。
		貼り合わせガイド印刷	チェックすると、印刷結果をつなげやすくするために部分的に重複して印刷されます。また貼り合わせる際に便利なガイド線も印刷されます。
		ガイドライン印刷	つなぎ合わせるためには、印刷結果の余白部分は不要です。チェックすると不要な余白部分を切り取るための線が印刷されます。
		印刷パネル選択	分割したページの内の一部分だけを印刷したい場合に印刷する個所を選択することができます。

ポイント

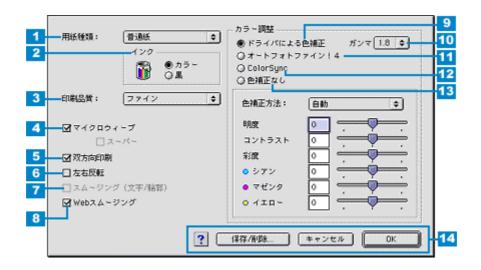
- フィットページ機能と同時に使用することで印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。
- 印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合があります。

ユーティリティ画面

［ユーティリティ］画面では、本機をメンテナンスするための各種機能を実行することができます。各機能を使用する前に本機の電源をオンにしてください。

1	EPSON プリンタウィンドウ	インク残量などをモニタする「EPSON プリンタウィンドウ」が起動する場合にクリックします。 「インク残量モニタ画面」
2	ノズルチェック	プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認する場合にクリックします。 「ノズルチェック」
3	ヘッドクリーニング	プリントヘッドのノズルをクリーニングする場合にクリックします。 「ヘッドクリーニング」
4	ギャップ調整	双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがぼけたような印刷結果になる場合にクリックします。 「ギャップ調整」
5	環境設定	エラー表示などに関する設定を行う場合や、印刷データを一時的に保存しておくフォルダを選択する場合にクリックします。 「環境設定画面」

詳細設定画面

［詳細設定］画面では、印刷の品質にかかわる詳細な設定をすることができます。

ポイント

「用紙種類」「印刷品質」などの設定の組み合わせで、選択できる項目が変わります。

1	用紙種類	印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。	
2	インク	インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。	
3	印刷品質	印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。	
		ドラフト	試し印刷に向いているモードです。インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。
		ファイン	日常使用に最適なモードです。
		スーパーファイン	高品質な印刷結果が得られるモードです。印刷時間は多少かかります。
		フォト	スーパーファインより美しい写真品質が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
4	マイクロウィーブ	チェックすると、行ごとのムラを少なくして印刷することができます。	
		スーパー	チェックすると、行ごとのムラを少なくして印刷することができます。ただし、印刷時間が長くなります。 ［印刷品質］で［フォト］を選択した場合のみ設定できます。
5	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが左から右に戻るときにも印刷します。 印刷速度を重視したい場合はチェックしてください。 印刷品質を重視したい場合はチェックしないでください。	
6	左右反転	チェックすると、左右を反転させて印刷することができます。 アイロンプリントペーパーに印刷する場合は、チェックされていることを確認してください。	
7	スムージング（文字 / 輪郭）	チェックすると、テキストや線画の輪郭を、滑らかにして印刷することができます。ただし印刷時間は多少長くなります。	
8	Web スムージング	チェックすると、Web 上の低解像度のロゴ、イラスト、画像の輪郭を、滑らかにして印刷することができます。	

No.	項目	設定	説明
9	ドライバによる色補正		
	色補正方法：自動 明度 0 コントラスト 0 彩度 0 シアン 0 マゼンタ 0 イエロー 0		
	色補正方法	次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えることができます。	
		自動	文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をして印刷するモードです。通常はこの設定でご使用ください。
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように色処理して印刷するモードです。
		あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くして印刷するモードです。
	各スライドバーについて	明度	画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗くプラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
		コントラスト	画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
		彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。「インク」で［黒］を選択した場合は調整できません。
		シアン / マゼンタ / イエロー	それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
10	ガンマ	ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。	
		1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像が印刷されます。
		1.8	ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像が印刷されます。通常はこの設定で印刷してください。
		2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

	<－>	0	<+>
シアン	赤みを強くします		青紫（シアン）を強くします
マゼンタ	緑色を強くします		赤紫（マゼンタ）を強くします
イエロー	青色を強くします		黄色（イエロー）を強くします

<table>
<tr><td rowspan="5">11</td><td rowspan="5">オートフォトファイン !4（カラー印刷の場合のみ）</td><td colspan="2">
</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や PhotoCD のデータなどを印刷する場合に選択すると、自動的に補正されて印刷されます。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータにも最適な補正が加えられ、高画質で印刷されます。</td></tr>
<tr><td>色調</td><td>印刷する際の色調の補正方法を［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。チェックを付けるとポップアップメニューが有効になります。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。</td></tr>
<tr><td>効果</td><td>印刷する際に画像に特殊効果を加えます。チェックを付けるとポップアップメニューが有効になり、［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。</td></tr>
<tr><td>デジタルカメラ用補正</td><td>デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択すると、最適な補正が加えられて印刷されます。</td></tr>
</table>

ポイント

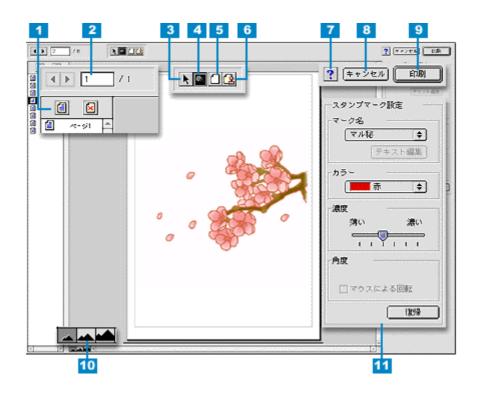
- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は 1677 万色（32bit）の色情報を持った画像データに対して、もっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてください。
- エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

<table>
<tr><td rowspan="9">12</td><td rowspan="9">ColorSync</td><td colspan="2">プロファイル：EPSON 標準
マッチング方法：自然な色あい</td></tr>
<tr><td colspan="2">ColorSync によるカラーマッチングを行う場合に選択します。
「画面表示と色合いを合わせて印刷」
［プロファイル］のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。通常は、［EPSON 標準］を選択してください。</td></tr>
<tr><td>EPSON 標準</td><td>本機からの印刷用に最適化されたプロファイルです。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>通常は選択することができません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">［マッチング方法］のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。</td></tr>
<tr><td>自然な色あい</td><td>より自然な発色状態になるように処理をして印刷します。写真などの印刷に適しています。</td></tr>
<tr><td>あざやかな色あい</td><td>画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理をして印刷します。グラフや図表などの印刷に適しています。</td></tr>
<tr><td>特定色マッチ</td><td>特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色が、正しく印刷されるような色処理を行います。</td></tr>
</table>

13	色補正なし	ドライバでは色補正を行いません。ColorSync 用のプロファイルを作成する際の基準色を印刷する場合や、アプリケーションソフト上で色合わせの設定をして印刷する場合に選択します。通常は選択しないでください。	
14	各種ボタン	［ヘルプ］ボタン	クリックすると、［詳細設定］画面の項目を説明したファイルが表示されます。
		［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［詳細設定］画面で設定した値を保存しておくことができます。保存した設定値は［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出すことができます。 最大 10 件登録できます。
		［OK］ボタン	クリックすると、変更した値を有効にして［印刷］画面に戻ります。
		［キャンセル］ボタン	クリックすると、変更した値を無効にして［印刷］画面に戻ります。

［ColorSync］の設定は、カラー印刷の場合のみ選択できます。

プレビュー画面

印刷の実行前に印刷イメージを確認することができます。［印刷］画面の をクリックしてから［プレビュー］ボタンをクリックしてください。

1		印刷するページ、しないページを切り替えるボタンです。対象のページをクリックして選択してから ボタンをクリックして印刷する・しないを設定します。
2		表示するページを切り替えるボタンです。三角のボタンをクリックするか、入力欄に直接入力します。
3		スタンプマークを移動したり回転したりするボタンです。
4		表示している画像を拡大 / 縮小するボタンです。 拡大する場合は、ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させマウスをクリックします。縮小したい場合は、［option］キーを押しながらクリックします。
5		印刷データの余白境界線（グレーのライン）の表示を消すボタンです。もう一度クリックすると表示されます。余白境界線は表示されていても実際には印刷されません。クリックすると表示は消えます。
6		スタンプマークを印刷データに印刷するためのメニューを開くボタンです。
7		ヘルプ情報を表示するボタンです。
8	［キャンセル］	印刷を中止して、［プレビュー］画面と［印刷］画面を閉じるボタンです。
9	［印刷］	印刷を実行するボタンです。

<table>
<tr><td rowspan="4">10</td><td rowspan="4"></td><td colspan="2">表示サイズを切り替えるボタンです。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリックすると、印刷データ 1 ページ単位の全体が表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリックすると、印刷結果と同等のサイズが表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリックすると、印刷データが拡大されて表示されます。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>スタンプマーク印刷メニュー</td><td colspan="2">スタンプマークを印刷するためのメニューです。各設定項目については、以下のページを参照してください。［復帰］ボタンをクリックするとスタンプマークの設定が解除されます。
「レイアウト画面」</td></tr>
</table>

印刷状況確認画面（EPSON Monitor3）

EPSON Monitor3 は、バックグラウンドプリントのほかに、現在印刷している書類やこれから印刷する書類を確認したり、印刷を中止することができます。EPSON Monitor3 は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択すると、表示されます。印刷していないときは、機能拡張フォルダにある［EPSON Monitor3］アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

バックグラウンドプリントの設定方法は、以下のページを参照してください。
「印刷中に別の作業をする方法（バックグラウンドプリント）」

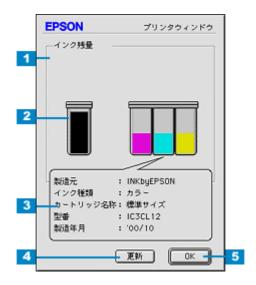
1	ボタン	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にするボタンです。
2	ボタン	保留状態を解除するボタンです。印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択してボタンをクリックしてください。
3	ボタン	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除するボタンです。
4	［プリントキューの停止］	印刷の停止と解除（開始）を選択します。［プリンタキューの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します。（印刷データは、Macintosh を終了してもすべて保持されます。）この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。
5	ボタン	プリントヘッドのノズルをクリーニングするボタンです。印刷中は実行できません。
6	ボタン	インク残量モニタを表示するボタンです。
7	状態表示部	印刷中の書類の名称や進行状況などが表示されます。
8	スプールファイルリスト	印刷待ちの書類が表示されます。
9	項目情報を隠す/表示	チェックすると、項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えることができます。

<table>
<tr><td rowspan="5">10</td><td rowspan="5">項目情報</td><td colspan="2">状態表示部またはスプールファイルリストから選択した書類の名称やプリンタドライバの設定状況などが表示されます。「印刷時刻指定」では、［至急］［通常］［保留］［印刷時刻指定］を選択でき、印刷の順番を指定することができます。</td></tr>
<tr><td>至急</td><td>プリントキュー内のほかの印刷データより優先して印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>通常</td><td>プリントキューに記憶された順番で印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>印刷時刻指定</td><td>印刷を実行する日時を指定することができます。</td></tr>
<tr><td>保留</td><td>印刷データをプリントキューに記憶した状態のままにする場合に選択します。</td></tr>
</table>

ポイント

バックグラウンドプリントを［切］に設定してある場合は、以下の画面が表示されます。印刷の進行状況とインクの残量のみ表示されます。

インク残量モニタ画面

インク残量モニタは、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面や［印刷］画面、または［EPSON Monitor3］の各画面から表示させることができます。

1	印刷可能枚数の表示	インク残量が 50%以下になった場合に、最後に印刷したページの印刷可能枚数の目安が表示されます。
2	インク残量	インクカートリッジ（カラー・黒）内のインク残量の目安が表示されます。カラーインク残量は、一番少ないインクに合わせて全色同じレベルで表示されます。
3	インクカートリッジ情報	画面上のカラー・黒どちらかのインクカートリッジをクリックすると、セットされているインクカートリッジの型番や製造年月日などの情報が表示されます。印刷実行時などには表示されません。
4	［更新］	プリンタの最新の情報を取得する場合に、クリックします。
5	［OK］	EPSON プリンタウィンドウを終了する場合に、クリックします。

環境設定画面

［環境設定］画面では、エラー通知の方法や印刷データを一時的に保存しておくフォルダなどの設定が行えます。

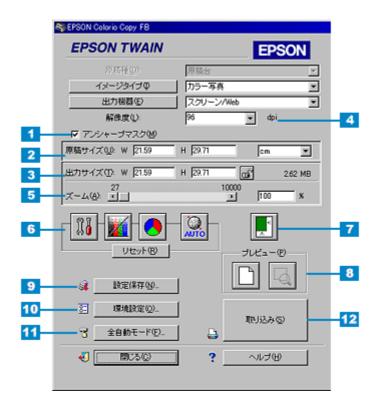
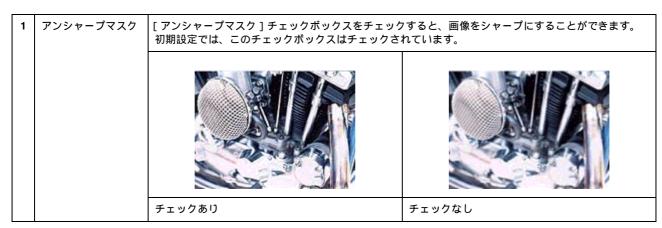
［環境設定］画面の開き方
［ユーティリティ］画面にある［環境設定］ボタンをクリックします。

1	エラー通知	プリンタ部で発生したエラーの通知方法を選択します。
2	警告通知	警告の通知方法を選択します。
3	スプールファイル保存フォルダ	印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は［選択］ボタンをクリックします。
4	コピー印刷ファイル保存フォルダ	同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、［選択］ボタンをクリックしてください。
5	印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタに送信する	チェックすると、印刷データをハードディスクに一旦保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅い Macintosh でご使用いただくと、印字中に一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印字品質の低下を防ぐことができます。
6	印刷前にエラーを確認する	印刷を実行する前に、プリンタ部でエラーが発生していないかどうかを確認する場合は、チェックします。
7	印刷前にインクニアエンドを確認する	印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合は、チェックします。
8	初期状態に戻す	設定値を初期の状態に戻す場合にチェックします。
	［OK］	環境設定を保存して終了する場合にチェックします。

各画面と項目の説明（TWAIN ドライバ関連）

基本設定

基本設定では、EPSON TWAIN の基本的な設定ならびにプレビュー画面の表示、取り込み範囲の指定や、取り込みを行うことができます。

1	アンシャープマスク	［アンシャープマスク］チェックボックスをチェックすると、画像をシャープにすることができます。 初期設定では、このチェックボックスはチェックされています。	
		チェックあり	チェックなし

ポイント

- 雑誌、カタログなどの印刷物の取り込みで、暗い斑点模様や虹のような模様が発生した場合は、チェックを外してください。これらの模様（モアレ）を目立たなくできます。
- イメージタイプを［イラスト］［文字 / 線画］［文字（背景除去）［Copy & FAX］に設定している場合、この項目はグレー表示されて無効になります。

<table>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">原稿サイズ</td><td colspan="2">取り込み画像のサイズが幅（W）と高さ（H）で表示されます。プレビュー画面で取り込み範囲を指定すると、ここに取り込み範囲のサイズが連動して表示されます。
ここに任意の数値を入力することも可能です。</td></tr>
<tr><td>単位</td><td>サイズの単位は、ピクセル・インチ・cm のいずれかを選ぶことができます。［出力機器］をスクリーンにしたときはピクセル、スクリーン以外にしたときは cm を選んでください。
単位を変えると、原稿サイズおよび出力サイズの数値が連動して変化します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">出力サイズ</td><td colspan="2">通常は、プレビュー画面で取り込み範囲を指定すると、ここに出力サイズが連動して表示されます。ズームの設定が 100% のときは、原稿サイズと同じ数値が表示されます。
原稿サイズの単位を変えると、この数値も連動して変化します。</td></tr>
<tr><td>ロックボタン</td><td>このボタンをクリックして出力サイズをロックすると、出力サイズ固定のままで、取り込み範囲を拡大 / 縮小できます。このとき、縦横比は維持されるとともに、ズームの設定が連動して変化します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">解像度</td><td colspan="2">解像度の設定を一時的に変更します。取り込み後の画像ファイルの解像度が、ここに表示されている数値になるように取り込みます。通常、ここに表示されている数値は、［出力機器］の設定で自動的に決まります。しかし一時的に解像度を変えて画像を取り込みたい場合に、ここで解像度を変更することができます。
解像度を何千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限等により、取り込み可能サイズに制限が生じます。そのため、以下のケースではエラーメッセージが表示され、取り込みができない場合があります。
• 取り込む範囲が大きすぎる場合。
この場合は、解像度を下げるか、取り込む範囲を小さくしてください。
• 取り込む範囲が本機の原点（プレビュー画面の左上）から離れている場合。
この場合は、解像度を下げるか、原稿を原点近くに置いてください。
• 取り込む範囲の横幅が広すぎる場合。
この場合は、解像度を下げるか、取り込む範囲の横幅を狭めてください。</td></tr>
<tr><td>保存サイズ</td><td>ここには、出力サイズなどに従って画像を取り込み、圧縮せずに保存した場合の容量の目安が表示されます。
保存形式によっては保存されるファイルのサイズがこの表示と異なります。（JPEG 形式で圧縮した場合など。）</td></tr>
</table>

ポイント

- リストの中に最適な解像度がない場合は、50 〜 4800dpi の範囲で、任意の数値を 1dpi 刻みで入力（上書き）することができます。
（解像度を上げると、出力サイズの［ズーム］の値が制限されます。）
- この設定は、［出力機器］の設定を変更すると変わってしまいます。設定した解像度を保存したい場合は、［出力機器］ボタンをクリックし、出力機器を新規登録してください。

<table>
<tr><td>5</td><td>ズーム</td><td>スライドバーまたは［矢印］ボタンにより、拡大率 / 縮小率を 1%刻みで設定できます。なお、解像度を上げると、ズームの設定が 100%以上にできない場合があります。</td></tr>
</table>

6	調整ボタン		イメージ制御ボタン クリックすると［イメージ制御］ダイアログを表示します。 「イメージ制御」
			濃度補正ボタン クリックすると［濃度補正］ダイアログを表示します。 「濃度補正」
			カラー調整ボタン クリックすると［カラー調整］ダイアログを表示します。 「カラー調整」
			自動露出ボタン プレビュー画面中の、取り込み範囲内の露出（明暗）を自動調整します。自動露出を実行すると、［イメージ制御］のハイライト（露出も連動）/ シャドウ / ガンマが自動的に調整されます。これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。
			実行前 / 実行後
			自動露出が苦手なケース 原稿に白や黒の部分がない場合は、［イメージ制御］のハイライト / シャドウ / ガンマなどで明暗を調整してください。自動露出では、取り込み範囲内の最も明るい部分を白に近く、暗い部分を黒に近くします。そのため、原稿に白い部分がない場合は全体が明るくなりすぎたり、黒い部分がない場合は全体が暗くなりすぎたりして適切な画像にならない場合があります。
			本来の画像 / 自動露出で明るくなりすぎた画像
		リセット	全ての調整結果をリセットし、無調整の状態に戻します。

ポイント

- 初期設定では、プレビューまたはズームプレビュー後および、取り込み範囲の作成 / 移動 / サイズ変更時に自動露出調整が行われます。そのため、基本的に［自動露出］ボタンによる調整は不要です。［自動露出］ボタンは、［環境設定］ダイアログの［カラー］画面の設定に応じて次のように使用してください。

  ［環境設定］ダイアログの［カラー］設定が［ドライバによる色補正］（初期設定）の場合
  ［イメージ制御］ダイアログなどで画質を調整した後、［リセット］ボタンにより調整前の状態に戻して露出調整がリセットされたときに、［自動露出］ボタンを使用して調整し直してください。

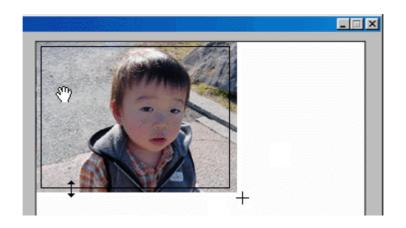
  ［環境設定］ダイアログの［カラー］画面の設定が［ICM］（NT を除く Windows）または［ColorSync］（Macintosh）の場合
  ICM または ColorSync による色補正に、自動露出調整を加えたいときや、［イメージ制御］ダイアログなどで画質を調整した後、［リセット］ボタンにより調整前の状態に戻して露出調整がリセットされたときに、［自動露出］ボタンを使用して調整し直してください。

- プレビュー後に自動露出調整を行うかどうかは、［環境設定］ダイアログで設定できますが、通常は設定を変えないことをお勧めします。
- イメージタイプを［文字（背景除去）］［文字 / 線画］に設定している場合、このボタンはグレー表示され、調整できません。

<table>
<tr><td rowspan="4">7</td><td rowspan="4">自動範囲選択
（反射原稿の場合）</td><td rowspan="4"></td><td>自動範囲選択ボタン
このボタンをクリックすると、原稿の配置を認識して、取り込み範囲を自動選択できます。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td>原稿台に複数の画像がある場合は、取り込みたい画像のだいたいの位置をマウスでドラッグして選択してから、［自動範囲選択］ボタンをクリックします。
そうすることにより目的の範囲をより簡単に選択することができます。</td></tr>
<tr><td></td></tr>
</table>

8	プレビュー	プレビューボタン 本機の原稿台の全範囲をプレビューし、プレビュー画像を表示します。 プレビュー画像は、イメージタイプの設定によって色数などが変わります。 ズームプレビューボタン 取り込み範囲を再プレビューし、ズーム表示します。細かい部分を確認したいときに便利です。
9	設定保存	クリックすると［設定保存］ダイアログを表示します。 取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前をつけて保存する場合に使用します。 また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定で一括取り込みすることができます。 「設定保存」
10	環境設定	クリックすると［環境設定］ダイアログを表示します。 EPSON TWAIN の動作環境などを設定する場合に使用します。 「環境設定」
11	全自動モード	原稿台にセットした原稿のタイプを自動認識してタイプに合った設定で取り込む「全自動モード」に切り替わります。 「全自動モード」
12	取り込み	取り込みを実行します。

取り込み範囲の指定

プレビューした後は、取り込み範囲またはズームプレビューする範囲をプレビュー画像で指定します。

＋	カーソルが＋のときに、取り込む範囲をドラッグして指定します。
↕	カーソルを取り込み範囲の線上に移動すると矢印の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより拡大 / 縮小できます。（縦横比を維持するには Shift キーを押しながらドラッグします。）
（手の形）	カーソルを取り込み範囲の中に移動すると手の形になります。 このとき、取り込み範囲をドラッグにより移動できます。（垂直・水平に移動するには Shift キーを押しながらドラッグします。）

ポイント

初期設定では、上記の操作を行うと、取り込み範囲の露出（明暗）が自動調整されます。

イメージタイプ

［イメージタイプ］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

イメージタイプ別の特長

イメージタイプ別の特長は、次の通りです。

イメージタイプ名	特長
カラー写真	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。
カラー書類	1677 万色のカラーで取り込みます。カラーの雑誌やカタログなどの取り込みで、次のような現象が起こる場合に選んでください。 • 裏写りまたはモアレパターンが発生した場合 • 文字がくっきりしない場合 • 背景の白地に何らかの色がかぶっている場合 なお、カラー書類を選択するとモアレ除去処理を行いますので、取り込みに少し時間がかかります。
白黒写真	256 階調で、白黒写真のように取り込みます。白黒写真の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。
白黒書類	256 階調で、白黒に取り込みます。 白黒の雑誌やカタログなどの取り込みで、次のような現象が起こる場合に選んでください。 • 裏写りまたはモアレパターンが発生した場合 • 文字がくっきりしない場合 • 背景の白地がグレーがかっている場合 なお、白黒書類を選択するとモアレ除去処理を行いますので、取り込みに少し時間がかかります。
イラスト	1677 万色のカラーで取り込みます。グラフ、ロゴ、地図などの取り込みに適しています。
文字 / 線画	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒 2 値（白か黒）のデータで取り込みます。
文字（背景除去）	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒 2 値（白か黒）のデータで取り込みます。背景色は除去して文字のみ抽出します。
COPY & FAX	文字と画像が混在している原稿を取り込む場合に選択します。文字は白黒 2 値（白か黒）、画像部分は疑似中間調処理をして取り込みます。

定義済みのイメージタイプ

イメージタイプは、以下の設定があらかじめ定義されています。通常は既存のイメージタイプ名を選択するだけで、最適な設定ができます。

イメージタイプ名	表現色	品質	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	ドロップアウト	モノクロオプション	中間調
カラー写真	24bit カラー	高品位	Off	Off	写真	−	−	−
カラー書類	24bit カラー	高品位	On	Off	書類	−	−	−
白黒写真	8bit グレー	高品位	Off	−	写真	なし	−	−
白黒書類	8bit グレー	高品位	On	−	書類	なし	−	−
イラスト	24bit カラー	高品位	Off	On	書類	−	−	−
文字／線画	モノクロ	ドラフト	−	−	−	なし	なし	なし
文字（背景除去）	モノクロ	高品位	−	−	−	−	テキストエンハンスメントテクノロジ	−
COPY & FAX	モノクロ	ドラフト	−	−	書類	−	オートエリアセグメンテーション	中間調 A（硬調）

ポイント

- ［イメージタイプ］で［イラスト］［文字 / 線画］［文字（背景除去）］［COPY&FAX］を選択した場合は、［アンシャープマスク］を設定できません。
- 次の場合は、［イメージタイプ］の［イラスト］を選択しないでください。
  - ・カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合
  - ・グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合

各項目の説明

1	表現色	取り込む色数（カラー、モノクロ）を、以下の中から選択します。	
		24bit カラー（1,677 万色）	8bit グレー（256 階調）
		モノクロ（線画の場合）	モノクロ（COPY&FAX の場合）
2	品質	取り込みの品質を設定します。高品位とドラフトを選択できます。	
		高品位	ドラフト
		画質優先で画像を取り込みます。	速度優先で画像を取り込みます。

ポイント

イメージタイプ名を［文字／線画］に設定して文字原稿を取り込むときは、高品位の設定のまま取り込んでください。ドラフトに設定すると、文字の認識率が下がります。

3	モアレ除去	印刷物（雑誌、カタログなど）の取り込みで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。 モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。	
		On	Off

ポイント

- モアレ発生を防ぐには、この機能を利用する前に、まず［アンシャープマスク］のチェックを外すことをお勧めします。理由は次の通りです。
  ［アンシャープマスク］のチェックを外すだけでも、モアレが目立たなくなります。
  ［モアレ除去］はソフトウェアで処理するため、チェックすると取り込みに時間がかかります。特に、モアレ発生の原理上、300dpi 以上の高解像度での取り込みでは、取り込みに時間がかかるだけで効果はあまりありません。この機能は、150dpi での取り込みで最も効果があります。
  「基本設定」
- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示して確認してください。（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため。）

4	カラースムージング	カラー原稿を、特定の色に減色して（割り当てて）取り込みます。近似色は 1 つの色に割り当てられるため、色数の少ないグラフ、ロゴ、地図などの取り込みで色ムラを発生させません。ただし、カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合や、グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合は、この機能を使用しないでください。	
5	自動露出オプション	原稿タイプを選択すると、選択したタイプに適した露出の調整が自動的に行われます。	
6	ドロップアウト	通常は設定を変更する必要はありません。 表現色がモノクロ、グレーの場合に、ドロップアウトカラー（取り込まない色）を設定できます。なし・赤・緑・青から選択します。	
		元の画像	
		なし	赤
		緑	青
		画像によっては、緑または青がきれいに消えない場合があります。その場合は、［イメージ制御］ダイアログの［しきい値］を調整してください。	

<table>
<tr><td rowspan="3">7</td><td rowspan="3">モノクロオプション</td><td colspan="2">イメージタイプを、［文字／線画］［文字（背景除去)］［COPY&FAX］のいずれかに設定した場合に、TET（背景除去機能）と AAS（自動領域分離機能）を使用するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>テキストエンハンスメントテクノロジ（TET）</td><td>オートエリアセグメンテーション（AAS）</td></tr>
<tr><td>表現色がモノクロのときに、画像の濃淡を判断するしきい値（白黒の境）を自動的に調整する機能です。この機能を使用すると、文字の背景に色が付いている場合でも、文字のみを抽出して取り込むことが可能です。なお、TET を有効にすると、イメージ制御・カラー調整・濃度補正・自動露出調整は無効になります。</td><td>表現色がモノクロのときに、文字と画像が混在している原稿でも、文字部分はモノクロで、画像部分は中間調処理をして取り込むことができます。FAX やコピー用の画像に適しています。</td></tr>
</table>

8	中間調	通常は設定を変更する必要はありません。 表現色がモノクロの場合（文字（背景除去）除く）に、中間調を擬似的に表現できます。	
		元の画像	
		なし	中間調 A（硬調）
		中間調 B（軟調）	中間調 C（網点）
		ディザ A（ベイヤー）	ディザ B（渦巻）
		ディザ C（4 × 4 網点）	ディザ D（8 × 4 網点）

9	保存ボタン	設定内容を保存・登録します。 1）変更したいイメージタイプ名をリストから選びます。 新たなイメージタイプ名として登録する場合は、「イメージタイプ名」テキストボックスに、新規名称を入力（上書き）します。 ※入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 2）各項目を設定します。 3）設定が終了したら、[保存］ボタンをクリックします。 必ず、[保存］ボタンをクリックして登録してください。[OK］ボタンでは、設定した内容は登録されません。 4）[OK］ボタンをクリックします。登録が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、[キャンセル］ボタンをクリックしてください。登録は実行されません。
10	削除ボタン	イメージタイプ名を削除します。 1）削除したいイメージタイプ名をリストから選びます。 2）[削除］ボタンをクリックします。 3）確認画面が表示されるので、よければ［はい］ボタンをクリックします。 4）[OK］ボタンをクリックします。削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、[キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。

出力機器

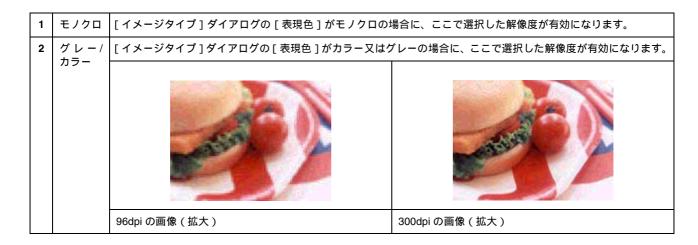
［出力機器］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。出力機器は、解像度の設定に名前を付けたものです。

定義済みの出力機器

出力機器は、いくつかの設定があらかじめ定義されています。通常は既存の出力機器名を選択するだけで、出力機器に最適な解像度に設定されます。

出力機器名	解像度		説明
	モノクロ	グレー / カラー	
スクリーン / Web	Windows：96dpi Macintosh：72dpi		壁紙などのディスプレイ表示用や、ホームページ用画像の取り込みにお使いください。
FAX	200dpi		FAX 送信用画像の取り込みにお使いください。
OCR	400dpi		文字原稿の取り込み（OCR）にお使いください。
プリンタ（ファイン）	360dpi	150dpi	EPSON 製インクジェットプリンタでファイン印刷する場合にお使いください。
プリンタ（フォト）	720dpi	300dpi	EPSON製インクジェットプリンタでフォト / スーパーファイン印刷する場合にお使いください。
レーザープリンタ	600dpi	200dpi	レーザープリンタで印刷する場合にお使いください。

各項目の説明

1	モノクロ	［イメージタイプ］ダイアログの［表現色］がモノクロの場合に、ここで選択した解像度が有効になります。	
2	グレー / カラー	［イメージタイプ］ダイアログの［表現色］がカラー又はグレーの場合に、ここで選択した解像度が有効になります。	
		96dpi の画像（拡大）	300dpi の画像（拡大）

ポイント

- この解像度とは、スキャナからの取り込み解像度（入力解像度）ではなく、取り込み後の画像ファイルの解像度（出力解像度）です。（取り込み解像度は、この解像度の設定・出力サイズの設定・取り込み範囲の設定によって自動的に決まります。）
  入力解像度を出力解像度と一致させたい場合は、ズームの設定を 100%にしてください。
- リストの中に最適な解像度がない場合は、50 ～ 4800dpi の範囲で、任意の数値を 1dpi 刻みで入力（上書き）することができます。
  （解像度を上げると、出力サイズの［ズーム］の値が制限されます。）
- 出版用途で、画像をハーフトーンスクリーン処理して出力する場合は、［グレー / カラー］項目の解像度を次のように設定してください。
  解像度＝スクリーン線数× 2 ×拡大率

カラー写真 / 白黒写真をプリンタで印刷する場合の解像度

出力機器の初期設定では、次の解像度に設定されます。

プリンタ（ファイン）	150dpi	ファイン印刷に適した解像度
プリンタ（フォト）	300dpi	フォト／スーパーファイン印刷に適した解像度

通常は初期設定のままで取り込むことをお勧めします。しかしハードディスク空き容量が少なくて解像度を下げたい場合や、最高の印刷品質を得るために解像度を上げたい場合は、下表の範囲で変更してください。

印刷モード	解像度			
	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi
ファイン印刷				
スーパーファイン印刷				
フォト印刷				

最適な印刷結果が得られる解像度の範囲です。

表の範囲より高い数値に設定しても、印刷品質は向上しません。画像の取り込み、保存、読み込み、印刷などに時間がかかるだけです。

白黒の線画をプリンタで印刷する場合の解像度

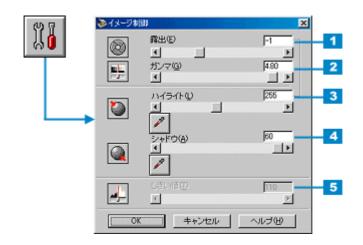
白黒の線画を取り込んで、本機で印刷する場合、解像度は出力機器の初期設定のままでお使いください。線のギザギザが目立たない解像度に設定されています。

何らかの理由で解像度を変更する場合は、印刷解像度の整数分の 1 倍に設定してください。（360dpi、240dpi など。）線のギザギザが目立たなくなります。

3	保存ボタン	設定内容を保存・登録します。 1）変更したい出力機器名をリストから選びます。新たな出力機器名を追加する場合は、［出力機器名］テキストボックスに、新規名称を入力（上書き）します。 ※入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 2）解像度を設定します。 3）設定が終了したら、［保存］ボタンをクリックします。 必ず、［保存］ボタンをクリックして登録してください。［OK］ボタンでは、設定した内容は登録されません。 4）［OK］ボタンをクリックします。登録が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。登録は実行されません。

4	削除ボタン	出力機器名を削除します。 1）削除したい出力機器名をリストから選びます。 2）［削除］ボタンをクリックします。出力機器名がリストから削除されます。 3）確認画面が表示されるので、よければ［はい］ボタンをクリックします。 4）［OK］ボタンをクリックします。削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。 誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。

イメージ制御

［イメージ制御］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。
ここでは、プレビュー画像で効果を確認しながら、ハイライトやシャドウなど、取り込む画像の明暗を調整できます。
ここでの調整によって、原稿のハイライトレベル / シャドウレベルを適切な範囲に納めることができます。

ポイント

- 初期設定では、プレビューまたはズームプレビュー後および、取り込み範囲の作成 / 移動 / サイズ変更時に自動露出調整が行われます。イメージ制御は、自動露出調整によって意図した結果が得られない場合の、追加調整としてご利用ください。
- イメージタイプを［文字（背景除去)］に設定している場合、このボタンはグレー表示され、調整できません。
- 調整を中止するには、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1	露出	露出とは、画像の明暗（露光量）のことです。 コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は -10 ～ 20 です。		
		設定－	設定 0	設定＋
		露出はハイライトと連動しており、露出の設定を変えると、ハイライトの値が自動的に設定されます。 なお、部分的なレベル値を指定しながら調整することも可能です。この場合は、ハイライト、シャドウ、濃度補正などを使ってください。		

<table>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="4">ガンマ</td><td colspan="3">ガンマとは、ハイライトとシャドウの中間部分の濃度のことです。
画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分（ミッドトーン）の明るさを調整できます。中間部分が薄い（明るい）画像や、濃い（暗い）画像に対して有効です。
スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 0.50 〜 5.00 です。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定 0.70</td><td>設定 1.00</td><td>設定 1.30</td></tr>
<tr><td colspan="3">自動露出調整によりガンマも自動調整されますが、このときのガンマの標準値には、［環境設定］ダイアログボックスの［カラー］画面の［ディスプレイガンマ］で設定した値が加味されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">3</td><td rowspan="6">ハイライト</td><td colspan="3">ハイライトとは、画像の最も明るい部分のことです。
画像のハイライトレベル（最も明るい部分の値）を調整する機能です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 61 〜 490 です。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定 100</td><td>設定 150</td><td>設定 200</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハイライトは露出と連動しており、ハイライトの設定を変えると、露出の値が自動的に設定されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">便利な［ハイライト］ボタン</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">［ハイライト］ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトアイコンに変わり、プレビューウィンドウに移動します。プレビュー画像の一番明るい部分をクリックすると、その領域をハイライトとして、画像全体の明暗を調整できます。

出力値（濃度）は 245（やや濃度のある白）近傍になります。出力値は、［濃度補正］ダイアログで変更可能です。</td></tr>
</table>

4	シャドウ	シャドウとは、画像の最も暗い部分のことです。 画像のシャドウレベル（最も暗い部分の値）を調整する機能です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 0 ～ 60 です。		
		設定 0	設定 10	設定 20
		便利な［シャドウ］ボタン		
			［シャドウ］ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトアイコンに変わり、プレビューウィンドウに移動します。プレビュー画像の一番暗い部分をクリックすると、その領域をシャドウとして、画像全体の明暗を調整できます。 出力値（濃度）は 8（濃いグレー）近傍になります。出力値は、［濃度補正］ダイアログで変更可能です。	
5	しきい値	しきい値とは、画像を白か黒のモノクロ（2 値）データで取り込むときの、白黒の境を決めるものです。［イメージタイプ］ダイアログで、表現色＝モノクロ、モノクロオプション＝なしに設定した場合に有効です。 この場合、明るさは 0 ～ 255 で表されますが、通常 110 のしきい値を変えることにより、黒として取り込む範囲が変わります。文字原稿や図面などの取り込みで、文字や線がかすれる場合に有効です。スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。		
		設定－	設定 110	設定＋

文字原稿の取り込みで認識率が良くないときは

［イメージタイプ］ダイアログの［モノクロオプション］を［なし］に設定した上で、文字がかすれる場合はしきい値の数値を大きい方に、文字がつぶれる（太る）場合はしきい値の数値を小さい方に調整してください。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら最適な調整値を見つけてください。

「文字原稿の認識率を上げて取り込もう」

カラー調整

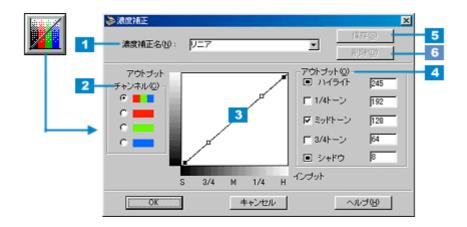
［カラー調整］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。
ここでは、プレビュー画像で効果を確認しながら、色を調整できます。

ポイント

- グレーバランス補正は、自動露出調整によって意図した結果が得られない場合の、追加調整としてご利用ください。
- ［イメージタイプ］の設定が［カラー写真］［カラー書類］［イラスト］以外の場合、［カラー調整］ボタンはグレー表示され、調整できません。

<table>
<tr><td rowspan="9">1</td><td rowspan="9">グレーバランス補正</td><td colspan="3">グレーバランスとは、選択した色が無彩色（白黒、グレー）となるように、画像全体の色かぶりを取り除くことができる機能で、次のような場合に有効です。
• 原稿の中に、本来は無彩色（白黒）となる箇所がある場合
• 原稿の中に、照明光そのもの、もしくはそれに近い色がある場合
スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は 0 ～ 100 です。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定 0</td><td>設定 50</td><td>設定 100</td></tr>
<tr><td colspan="3">次の使用例を参考に活用してください。
• 新聞紙上のフルカラー写真を取り込む場合：
スポイトアイコンで新聞紙の地の部分を選択し、スライドバーで 100 に設定する
• ストロボを使わずに、室内で撮影した写真を取り込む場合：
スポイトアイコンで白壁・グレーの服・照明光などを選択し、スライドバーで微調整 する
• 人物の写真を取り込む場合：
スポイトアイコンで白目、歯などを選択し、スライドバーで微調整する</td></tr>
<tr><td colspan="3">便利な［色調］ボタン</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">［色調］ボタンをクリックすると、マウスポインタがスポイトアイコンに変わり、プレビューウィンドウに移動します。プレビュー画像中の、本来は白黒のグレーとなる部分をクリックしてスライドバーを調整すると、その領域が白黒のグレーになるように、全体の色を調整できます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">補正カラーボックス</td></tr>
<tr><td colspan="3">スポイトアイコンで選択した色が、補正カラーボックス（左）に示されます。
スライダーを左右に動かすか、数値を入力すると、さらに微調整できます。調整値は 0 ～ 100 です。（数値によっては、画像の明暗が多少変化することがあります。）
0 は、グレーバランス機能を無効にします。ただし、スポイトした色の情報は保持していますので、再調整可能です。
100 は、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となるように、画像全体の色かぶりを取り除きます。
調整された色は、補正カラーボックス（右）に表示されます。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">彩度</td><td colspan="3">彩度とは、色のあざやかさ（純度）のことです。
プラスに設定すると色みが強くなります。マイナスに設定すると色みがなくなり（無彩色化していき）、グレーに近くなっていきます。
スライダーを左右に動かすか、数値を入力して調整します。調整値は -100 ～ 100 です。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定 -100</td><td>設定 0</td><td>設定 100</td></tr>
</table>

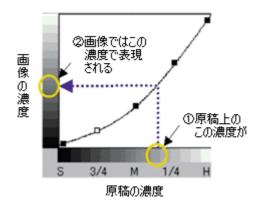
濃度補正

［濃度補正］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

濃度補正のメリット

濃度はトーンともいいます。本機で取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能です。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができます。

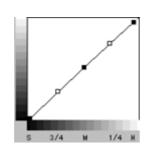
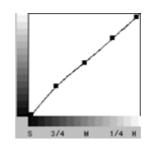
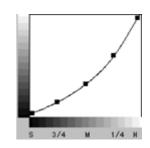
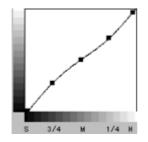
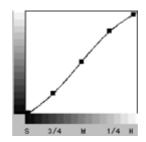
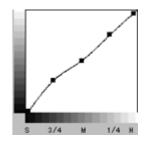
また、画像の色を構成する要素である RGB（R ＝赤、G ＝緑、B ＝青）のうち特定の色だけを指定して、その濃度を調整することもできます。

トーン曲線

濃度補正では、トーン曲線を使って濃度を補正します。グラフの x（横）軸は原稿の明るさ（入力値）を示し、y（縦）軸は取り込み後の画像の明るさ（出力値）を示します。スキャナで画像を取り込む際に、原稿の濃度データをトーン曲線に合わせて補正し、画像に反映します。

ポイント

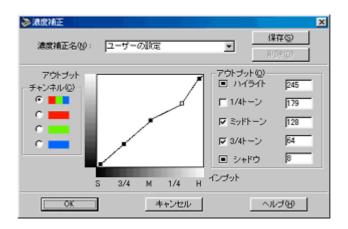
- 濃度補正は、プレビューや取り込み範囲の操作によって行われる自動露出調整および、イメージ制御によって画像のハイライト / シャドウを適切な範囲に納めた上での、微妙な部分の追加補正としてご利用ください。最初から濃度補正を行うことはお勧めしません。
- イメージタイプを［文字／線画］［文字（背景除去）］に設定している場合、このボタンはグレー表示され、補正できません。

各項目の説明

<table>
<tr><td rowspan="5">1</td><td rowspan="5">濃度補正メニュー</td><td colspan="3">ここには、定義済みおよび保存済みの濃度補正名が表示されます。これらを元に、画像にあわせて微調整してください。定義済みのメニューは次の 6 つです。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>リニア：
濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、リニアのままで取り込んでください。なお、リニアでは、シャドウ= 8、ハイライト= 245 に設定されており、シャドウを黒ベタ（0）にせず、ハイライトを白（255）にとばさず取り込みます。</td><td>より浅い感じに：
露出アンダーなポジフィルムなどを、より浅い（明るい）感じに補正します。（露出アンダーとは、露出不足=暗いことをいいます。）</td><td>より重い感じに：
露出オーバーなポジフィルムなどを、より重い（暗い）感じに補正します。（露出オーバーとは、露出過多=明るいことをいいます。）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>フラットに：
コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。</td><td>コントラストに：
コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリをつけます。</td><td>シャドウ部を出す：
シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷したときに、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>チャンネル</td><td colspan="3">濃度補正するチャンネル（色）を、RGB 全体・R（赤）のみ・G（緑）のみ・B（青）のみの中から選択します。
画像全体の濃度を補正する場合は RGB 全体のまま、各色のみ補正する場合は各色を選択します。</td></tr>
</table>

3	トーン曲線エディタ	トーン曲線上の 5 点をドラッグし、トーン曲線を自由に補正できます。 グラフの x（横）軸は原稿の明るさ（入力値）を示し、y（縦）軸は取り込み後の画像の明るさ（出力値）を示します。 初期設定では、シャドウ（グラフ左下）の出力値は 8、ハイライト（グラフ右上）の出力値は 245 になっていますので、シャドウを黒ベタ（0）にせず、ハイライトを白（255）にとばさず、取り込みます。 補正中に、補正前の状態に戻したくなった場合は、(1) 濃度補正メニューで［リニア］を選んでください。
4	アウトプット	トーン曲線を補正すると、各レベルの値が連動して表示されます。ここに数値を入力して、トーン曲線を補正することもできます。入力できる数値は 0 ～ 255 です。 濃度を変更しないレベルがある場合は、アウトプットで固定するレベルをチェックします。

ポイント

1/4 トーン、ミッドトーン、3/4 トーンの左にあるチェックボックスをチェックすると、チェックしたレベルの濃度に影響を与えずに、他のレベルの濃度を補正できます。

下図は 3/4 トーンをチェックして固定し、1/4 トーンのレベルを下げた例。この場合、暗い部分に大きな影響を与えずに、明るい部分が少し暗くなります。

5	保存ボタン	このボタンをクリックすると、作成したトーン曲線を登録できます。登録したトーン曲線は、あとから呼び出して濃度補正に利用することができます。 1）トーン曲線を作成します。 2）曲線が決定したら、［濃度補正メニュー］テキストボックスに、登録する名称を入力（上書き）します。 入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 3）［保存］ボタンをクリックします。 4）［OK］ボタンをクリックすると、登録を実行します。誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。登録は実行されません。
6	削除ボタン	このボタンをクリックすると、作成・登録したトーン曲線を削除できます。 1）濃度補正メニューから、削除したい名称を選択し、［削除］ボタンをクリックします。 2）確認画面が表示されるので、よければ［はい］ボタンをクリックします。 3）［OK］ボタンをクリックすると、削除を実行します。誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。

ポイント

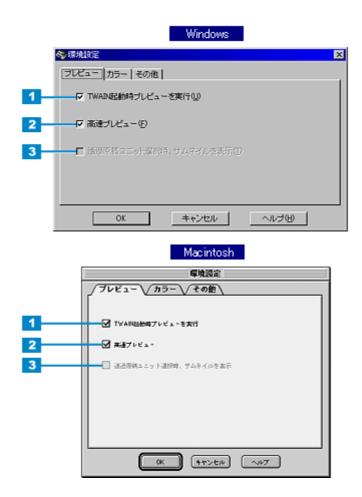
［濃度補正］の特定の色を指定して濃度を補正する機能を利用すると、画像を補正するだけではなく、画像に特定の効果を付けることもできます。

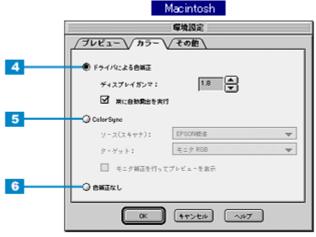
調整前

調整後

環境設定

［環境設定］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。 ここでは、EPSON TWAIN の動作環境などを設定できます。

プレビュー

1	TWAIN 起動時プレビューを実行	初期設定ではこのチェックボックスがチェックされており、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動したときに、自動的にプレビューを行います。
2	高速プレビュー	初期設定ではこのチェックボックスがチェックされており、速度優先でプレビューします。チェックを外すと、画質優先でプレビューします。 画質優先でプレビューすると次のメリットがあります。 • プレビュー画像が高品位になるため、画質調整の精度を上げることができます。 • ハイライト / シャドウ / グレーバランスのスポイトアイコンを使用したときに、レベル値または色を正確に得ることができます。
3	透過原稿ユニット選択時、サムネイルを表示	本機では透過原稿の取り込みができないため、この設定はできません。

カラー

4	ドライバによる色補正	このラジオボタンをクリックすると、画像の明暗や色あいは、自動露出、イメージ制御、カラー調整、濃度補正などの設定に従って補正されます。	
		ディスプレイガンマ	ガンマとは、取り込んだ画像の濃度データを出力機器の特性に合わせて補正する機能です。この値は、画像を最終的に出力する機器のガンマ値に合わせて設定してください。初期値は 1.8 です。上下の矢印ボタンを押すと 1.0 ～ 3.0 の範囲で、0.1 刻みで変更できます。 自動露出調整時に設定される［イメージ制御］ダイアログのガンマの標準値には、ディスプレイガンマの設定値が加味されます。 • 取り込んだ画像を印刷する場合は、プリンタドライバのガンマ値に合わせて設定します。 • Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイル作成時に設定したガンマ値に合わせます。
		常に自動露出を実行	初期設定ではこのチェックボックスがチェックされており、次の時に画像の露出（明暗）を自動調整します。通常はチェックしたままでお使いください。 • プレビューおよびズームプレビュー実行時 • 取り込み範囲の作成、移動、サイズ変更時

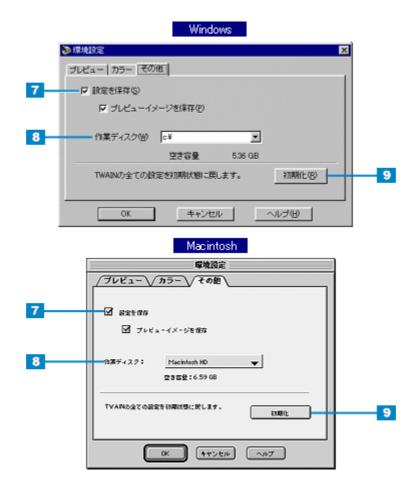
<table>
<tr>
<td rowspan="6">5</td>
<td rowspan="6">ICM（Windows）/ ColorSync（Macintosh）</td>
<td colspan="3">このラジオボタンをクリックすると、プレビュー画像や最終画像の補正に、ICM（Windows）/ ColorSync（Macintosh）が使用されます。
これらは、原稿、モニタ表示、印刷物の色を近づけるためのカラーマネジメントシステムのことです。原稿、モニタ表示、印刷物の色を近づけたい場合に選択してください。
ただし、カラーマネジメントシステムによる色補正には、モニタ表示ではアプリケーションの対応が、印刷ではプリンタドライバの対応が必要です。アプリケーションやプリンタドライバが ICM（Windows）/ ColorSync（Macintosh）に対応していない場合は使用しないでください。
「画面表示と色合いを合わせて印刷」

ICM/ColorSync を選択した場合は、ソースとターゲットそれぞれの ICC プロファイルを選択してください。
ICC プロファイルとは、スキャナ・モニタ・プリンタなどのデバイスのカラースペース（表現できる色の範囲・特性）が記述されているファイルのことで、アプリケーション間の標準として ICC（International Color Consortium）で定義されています。ICC プロファイルを使用することで、異なるプラットフォームや出力機器、ICC 準拠のアプリケーションで、カラーをより正確に再現できます。
ソース（スキャナ）プロファイルとは、画像の出力元であるスキャナの ICC プロファイルのことです。ターゲットプロファイルとは、画像の出力先であるモニタやプリンタの ICC プロファイルのことです。

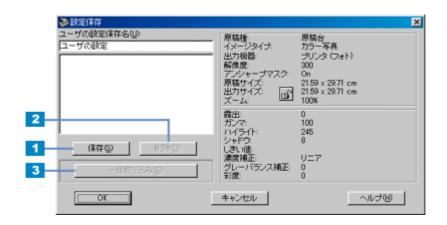
ICM/ColorSync を選択する場合は、以下の点にご注意ください。
• ICM/ColorSync を選択した場合、プレビュー時や取り込み枠操作時の自動露出調整は行われません。露出調整を加える場合は、［自動露出］ボタンをクリックしてください。なお、［自動露出］ボタンによって変化するのはハイライトのみです。シャドウは 8 に、ガンマは 1.0 に設定されます。
• ICM/ColorSync では複雑な色変換が行われます。（自動露出、イメージ制御、カラー調整、濃度補正などの設定に従って補正された画像を、さらに ICM/ColorSync を用いて色変換します。）そのため、コンピュータの処理能力によっては、取り込みや印刷に時間がかかる場合があります。</td>
</tr>
<tr>
<td>ソース（スキャナ）</td>
<td colspan="2">通常は初期値（EPSON 標準）のままでお使いください。お使いのスキャナおよび原稿種（反射原稿や透過原稿）に最適な ICC プロファイルが選択され、最適な色補正が行われます。
市販のプロファイラを用いてプロファイルを作成・保存している場合は、ここにプロファイル名が表示されますので、ソースプロファイルとして利用できます。</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="4">ターゲット</td>
<td colspan="2">通常は初期値（Windows は sRGB、Macintosh はモニタ RGB）のままでお使いください。この ICC プロファイルは、多くのアプリケーションやプリンタの初期設定としてよく使われています。
ターゲットのリストボックスは、ICC プロファイルの種類別に線で区切られています。次のような種類が、上から順番に表示されています。
• モニタ RGB/ 標準的なカラースペースである “ sRGB “
• Adobe Photoshop 5.0 以上の RGB カラースペース
• そのほかのモニタおよびプリンタのプロファイル</td>
</tr>
<tr>
<td>モニタ RGB</td>
<td>Windows の場合、［コントロールパネル］－［画面］－［設定］画面－［詳細］ボタン－［色の管理］画面で、現在選択されているモニタのプロファイルです。
Macintosh の場合、［コントロールパネル］－［ColorSync］－［プロファイル］画面で、現在選択されているモニタのプロファイルです。</td>
</tr>
<tr>
<td>Adobe PhotoShop 5.0以降の RGB カラースペース</td>
<td>Adobe Photoshop 5.0 以降をお使いの場合に限り、Photoshop で設定しているスペースと同じものを選択してください。このほかのアプリケーションをお使いの場合は選択しないでください。なお、これらの RGB カラースペースはモニタで表示できる色域よりも広域なため、Adobe Photoshop 5.0 以降をお使いの場合でも、モニタ上のすべての色域を再現することはできません。RGB カラースペースの詳細は、Adobe Photoshop のヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>その他のモニタおよびプリンタのプロファイル</td>
<td>システムにインストールされているモニタおよびプリンタのプロファイルです。Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、ここに表示されます。取り込んだ画像を印刷する場合、ここで印刷に使用するプリンタのプロファイルを選んでおくと、原稿と印刷物の色を近づけることができます。ただし、モニタとの色を近づけることはできません。</td>
</tr>
</table>

		モニタ補正を行ってプレビューを表示	EPSON TWAIN Pro を Adobe Photoshop 5.0 以降から呼び出してお使いの場合は、このチェックボックスをチェックしておくことをお勧めします。ここをチェックしておくと、Adobe Photoshop 5.0 以降で表示される画像の明暗や色あいを、プレビュー画面上でより正確に再現することができます。 なお、Photoshop 6.0 および、Illustrator 9.0 をお使いの場合は、必ずチェックしてください。 • この機能は、プレビュー画面に対して働くものです。取り込み後の画像には影響ありません。 • このほかのアプリケーション（RGB 画像を表示する時に、モニタの RGB カラースペースに変換して表示する機能を持たないアプリケーション）をお使いの場合は、ここをチェックしないでください。ここがチェックされていると、プレビュー画面の明暗や色あいが、取り込み後の画面と異なってしまいます。
6	色補正なし	通常は選択しないでください。 このラジオボタンをクリックすると、画像の明暗や色あいを一切補正せずに取り込みます。自動露出、イメージ制御、カラー調整、濃度補正などの機能は無効になります。 市販のプロファイラを使用して、ソース（スキャナ）の ICC プロファイルを作成する場合に選んでください。	

「カラーイメージングシステムについて」

その他

<table>
<tr><td>7</td><td rowspan="2">設定を保存</td><td colspan="2">初期設定ではこのチェックボックスがチェックされており、EPSON TWAIN を閉じたときに、プレビューイメージ（含むサムネイル）や各種設定を保存します。コンピュータの電源をオフにしても設定は保持され、次に EPSON TWAIN を起動したときに読み込まれます。</td></tr>
<tr><td></td><td>プレビューイメージを保存</td><td>このチェックボックスをチェックすると、EPSON TWAIN を閉じた時に、プレビューイメージを保存します。コンピュータの電源をオフにしてもプレビューイメージは保持され、次に EPSON TWAIN を起動した時に表示されます。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>作業ディスク</td><td colspan="2">画像処理用の一時ファイルなどの保存先を指定します。初期設定では起動ディスクに設定されています。保存先のドライブのみ設定可能で、フォルダを指定することはできません。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>初期化ボタン</td><td colspan="2">EPSON TWAIN のすべての設定を初期化します。クリックすると確認の画面が表示され、［はい］ボタンをクリックするとすべての設定を初期化し、EPSON TWAIN を終了します。</td></tr>
</table>

設定保存

［設定保存］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。
ここでは、取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前を付けて保存することができます。
また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定での一括取り込みが可能です。

1	保存ボタン	取り込みの設定を保存する際にクリックします。登録方法は、以下の手順を参考にしてください。 1）原稿をプレビューし、取り込み範囲の設定・イメージタイプや出力機器の設定・画質調整などを行います。 2）［設定保存］ボタンをクリックします。 3）［ユーザの設定保存名］テキストボックスに、保存する名称を入力（上書き）します。 入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。 4）［保存］ボタンをクリックして保存します。 5）［OK］ボタンをクリックすると、保存を実行します。誤って保存した場合や、保存を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。保存は実行されません。 保存した設定で取り込むときは、取り込みに利用したい設定各称を選択し、［OK］ボタンをクリックして、EPSON TWAIN の［取り込み］ボタンをクリックします。
2	削除ボタン	不要となった取り込みの設定を削除する際にクリックします。削除方法は以下の手順を参考にしてください。 1）［設定保存］ダイアログで、削除したい名称をクリックして選択します。 2）［削除］ボタンをクリックします。 3）確認画面が表示されるので、よければ［OK］ボタンをクリックします。 4）［OK］ボタンをクリックすると、削除を実行します。誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。
3	一括取り込みボタン	保存した複数の取り込み設定で一括で取り込む場合にクリックします。一括取り込みを行うには、TWAIN 対応アプリケーションが複数取り込みに対応している必要があります。TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書でご確認ください。 1）［設定保存］ダイアログで、取り込みに利用したい設定名称を、［Shift］または［Ctrl］キーを押しながらクリックして選択します。 2）［一括取り込み］ボタンをクリックして取り込みます。

設定保存のメリット

設定保存は、次のメリットがあります。

- **例えば写真を 2 倍に拡大して 300dpi で取り込む設定（イメージタイプ・出力機器・ズームの設定および取り込み範囲の位置など）を保存し、常に同じ位置に写真をセットすれば、イメージタイプ・出力機器・ズーム・取り込み範囲などをそのつど設定する必要がありません。**

例えば、写真を 2 倍に拡大して 300dpi で取り込む設定を保存できます。

- **同じ原稿を、画質調整の設定を変えて、一回の操作でまとめて取り込むことが可能です。**

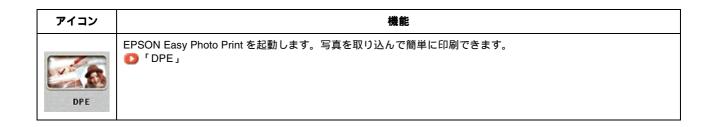
メイン画面

スキャナビボタンを押すと EPSON SMART PANEL のメイン画面が表示されます。EPSON SMART PANEL では、目的のアプリケーションを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションに転送して使用することができます。

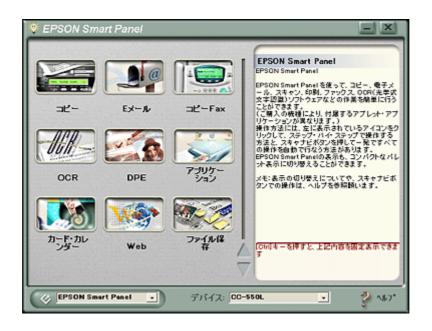
EPSON SMART PANEL でできること

EPSON SMART PANEL は、本機をより快適に活用できるアプリケーションです。EPSON SMART PANEL を使うと、コピー、E メール、OCR（光学文字認識）、印刷、DPE などの機能が使え、素早く簡単な操作で最適な結果を得ることができます。

アイコン	機能
コピー	コピーユーティリティを起動します。スキャナ、コンピュータ、プリンタを連携して取り込んだ画像をコピーできます。 「コピー」
コピーFax	ファックスユーティリティを起動します。画面に従って操作するだけで、FAX 送信から受信までをコンピュータ上で行うことができます。 「コピー Fax」
Eメール	E メールソフトを起動します。画面に従って操作するだけで、画像をメールに添付して送ることができます。 「E メール」
OCR	OCR ソフト（読ん de!! ココ）を起動します。文字原稿を取り込んで、原稿上の文字形状を文字と認識してテキストデータに変換できます。 「OCR」
アプリケーション	画像取り込み後、選択したアプリケーションを起動します。取り込んだ画像を、起動したアプリケーションで自由に使用できます。 「アプリケーション」
カード・カレンダー	PhotoImpression を起動します。取り込んだ画像を使って、カードやカレンダーを作成できます。 「カード、カレンダー」
Web	画像取り込み後、Web にアップロードします。 「Web」
ファイル保存	取り込んだ画像を任意の形式に変換して、画像やテキストを指定したフォルダに保存します。 「ファイル保存」

アイコン	機能
DPE	EPSON Easy Photo Print を起動します。写真を取り込んで簡単に印刷できます。 「DPE」

起動するアプリケーションを設定する

スキャナビボタンを押したときに起動する機能を設定します。あらかじめ設定しておくと、スキャナビボタンを押すだけで、目的のアプリケーションに画像が転送されます。

1. **スキャナビボタンを押した時に起動するアプリケーションを設定します。**

ポイント

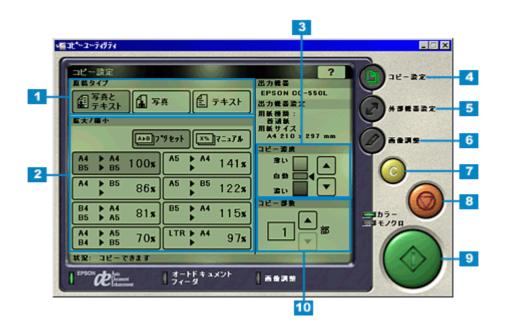
- **［スキャナビボタン］アイコン**
  画面左下の［スキャナビボタン］アイコンを使って、機能を選択することもできます。［スキャナビボタン］アイコンをクリックすると、スキャナビボタンで起動する機能が順番に切り替わり、設定されている機能のアイコンにスキャナビボタンのマークが付きます。

- 詳しくは、EPSON SMART PANEL のヘルプをご覧ください。

コピー

［コピー］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。
コピーユーティリティの詳細は、［?］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要をご説明します。

1	原稿タイプ	コピーを行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。
3	コピー濃度	コピーの濃度を設定します。
4	コピー設定ボタン	クリックするとコピー設定画面（上記の画面）が表示されます。起動時はこの画面が表示されます。
5	外部機器設定ボタン	クリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面で、入力機器と出力機器の設定をします。

6	画像調整ボタン	クリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面で、モノトーン効果の設定やカラー調整ができます。
7	クリアボタン	設定を初期値に戻します。
8	ストップボタン	実行中のコピーを中止します。
9	コピーボタン	設定した内容でコピーを実行します。
10	コピー部数	コピーの部数を設定します。

コピー Fax

［コピー Fax］ボタンをクリックすると、以下のようなコピーダイアログが表示されます。このダイアログでコピーを実行すると、Fax ダイアログが表示されます。Fax ダイアログで、Fax の設定をして送信します。

コピー

1	原稿タイプ	コピーを行う原稿の種類を「写真とテキスト」「写真」「テキスト」の中から選択します。
2	拡大 / 縮小	原稿に対する拡大 / 縮小率を設定します。
3	コピー濃度	コピーの濃度を設定します。
4	コピー設定ボタン	クリックするとコピー設定画面（上記の画面）が表示されます。起動時はこの画面が表示されます。
5	外部機器設定ボタン	クリックすると以下の外部機器設定画面が表示されます。この画面で、入力機器と出力機器の設定をします。

<table>
<tr><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">画像調整ボタン</td><td>クリックすると以下の画像調整画面が表示されます。この画面で、モノトーン効果の設定やカラー調整ができます。</td></tr>
<tr><td>
</td></tr>
<tr><td>7</td><td>クリアボタン</td><td>設定を初期値に戻します。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>ストップボタン</td><td>実行中のコピーを中止します。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>コピーボタン</td><td>設定した内容でコピーを実行し、お使いの FAX アプリケーションが表示されます。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>コピー部数</td><td>コピーの部数を設定します。</td></tr>
</table>

E メール

［E メール］ボタンをクリックすると、画像取り込み後、以下のダイアログが表示されます。
E メールの詳細は、EPSON SMART PANEL の取扱説明書（HTML）または［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要をご説明します。

イメージ設定

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。 インデックス画面の各サムネイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	新規スキャンボタン	このボタンをクリックすると、原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	確認終了ボタン	このボタンををクリックすると、次のステップ（メール送信）へ進みます。

メール送信

1	電子メールシステムリスト	電子メール送信可能なアプリケーションを検索し、リストを表示します。
2	設定ボタン	このボタンをクリックすると、電子メールシステムリストの並び順を変更したり、電子メールアプリケーションにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定することができます。
3	リフレッシュリストボタン	このボタンをクリックすると、再度電子メール送信可能なアプリケーションを検索し、リストを表示し直します。
4	起動ボタン	このボタンををクリックすると、取り込んだ画像は自動的に新規メールに添付され、選択した電子メールアプリケーションから送信できます。

OCR

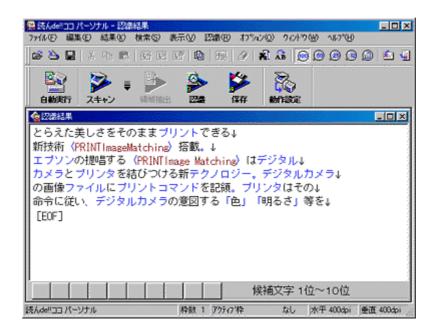
［OCR］ボタンをクリックすると、読ん de!! ココが起動します。
読ん de!! ココの詳細は、読ん de!! ココの取扱説明書（HTML）またはヘルプを参照してください。

文字認識の流れ

以下に取り込んだ画像を文字認識させる簡単な流れをご説明します。詳細な手順は、読ん de!! ココの取扱説明書（HTML）またはヘルプを参照してください。

1. 文字認識させる部分を選択します。

2. ［認識］メニューをクリックし、［認識実行］をクリックします。

3. 認識結果の微調整をします。必要に応じて保存します。

以上で文字認識の簡単な設定は終了です。

アプリケーション

［アプリケーション］ボタンをクリックすると、画像取り込み後、以下のダイアログが表示されます。
アプリケーションの詳細は、［ヘルプ］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり番号を伴うデフォルトファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	新規スキャンボタン	このボタンをクリックすると、原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	確認終了ボタン	このボタンををクリックすると、確認した画像データで次のステップ（アプリケーション起動）へ進みます。

アプリケーション起動

1	アプリケーションリスト	画像編集可能なアプリケーションを検索し、リストを表示します。
2	設定ボタン	このボタンをクリックすると、アプリケーションを登録したり、選択したアプリケーションにファイルを送る際に使用されるファイル形式を設定したり、登録したアプリケーションの削除をすることができます。また、アプリケーションリスト（インデックス）に登録されているアプリケーションの順序を変更することができます。
3	リフレッシュリストボタン	このボタンをクリックすると、再度画像編集可能なアプリケーションを検索し、リストを表示し直します。
4	起動ボタン	このボタンををクリックすると、選択したアプリケーションが起動し、取り込んだ画像を編集できるようになります。

カード、カレンダー

［カード、カレンダー］ボタンをクリックすると、画像取り込み後、以下のダイアログが表示されます。
カード、カレンダーの詳細は、［ヘルプ］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

イメージ設定

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、番号を伴うデフォルトファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。

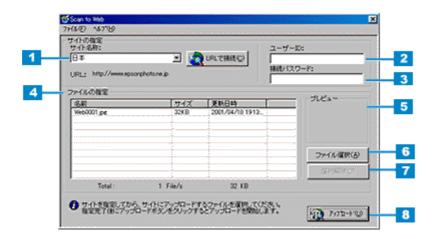
2	起動ボタン	このボタンをクリックすると、以下の PhotoImpression を起動し、取り込んだ画像が編集可能になります。

Web

［Web］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。Web の詳細は、EPSON SMART PANEL の取扱説明書（HTML）または［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要をご説明します。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字では始まり番号を伴うデフォルトファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	新規スキャンボタン	このボタンをクリックすると、原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	確認終了	このボタンをクリックすると、選択したファイルで次のステップ（Scan to Web）へ進みます。

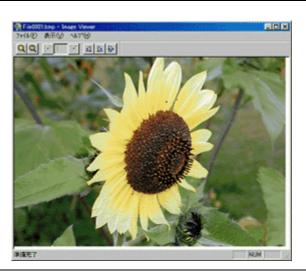
アップロード

1	サイト名称（または URL）	原稿をアップロードするサイトを、登録済みのサイトから選択します。 登録済みのサイトを利用しないときは、サイトの URL を直接入力します。
2	ユーザー ID	サイトに接続するときのユーザー ID を入力します。
3	接続パスワード	サイトに接続するときのパスワードを入力します。
4	ファイルの指定	サイトにアップロードするファイルを表示します。ファイル名、ファイルサイズ、更新日時がそれぞれ表示されます。
5	縮小画像	リスト上で選択されているファイルの縮小イメージ（サムネイルイメージ）を表示します。 複数ファイルが選択されているときは、最上位のファイルを表示します。
6	ファイル選択	このボタンをクリックすると、リスト上のファイルを選択します。
7	選択解除	このボタンをクリックすると、リスト上のファイル選択を解除できます。
8	アップロード	このボタンをクリックすると、選択したファイルをサイトにアップロードします。

ポイント

- ［アップロード］ボタンをクリックすると、アップロード先のサイト（URL）と［キャンセル］ボタンが表示されます。
- アップロードが完了すると、アップロードを実行する前の画面に自動的にも戻ります。

ファイル保存

［ファイル保存］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。ファイル保存では、取り込んだ画像を任意のファイル形式に変換して、テキストや画像をフォルダに保存することができます。ここでは、機能の概要をご説明します。

確認

1	画像インデックス	取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。取り込んだ各画像には、頭文字で始まり番号を伴うデフォルトファイル名が付けられます。 インデックス画面の各サムネイルファイルをダブルクリックすると、取り込んだ画像が以下の「イメージビューア」で表示されます。
2	新規スキャンボタン	このボタンをクリックすると、原稿台にセットされている原稿を取り込みます。
3	確認終了ボタン	このボタンをクリックすると、確認した画像データで次のステップ（ファイルの保存）へ進みます。

ファイルの保存

1	ファイルパス	ファイルの保存先を表示します。［参照］ボタンをクリックして、保存先を選択しなおすこともできます。
2	ファイル形式	保存する際のファイル形式を選択します。
3	オプション	JPG 形式でファイルを保存する場合、画像の圧縮率を設定できます。
4	保存	ファイルを指定通りに保存します。

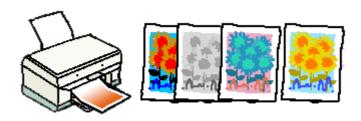
DPE

［DPE］ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。
DPE の詳細は、［？］ボタンをクリックしてヘルプを参照してください。ここでは機能の概要をご説明します。

1	入出力先	写真の取り込みを行う TWAIN ドライバと印刷を行うプリンタドライバを選択します。 本機の場合 TWAIN ドライバは「EPSON Colorio Copy FB」を選択してください。プリンタドライバは「EPSON CC-XXXX」を選択してください。	
		スキャナ	EPSON SMART PANEL で設定されている TWAIN が選択されます。
		プリンタ	［プリンタ］ボタンをクリックするとプリンタドライバ一覧を表示します。
2	プレビュー	設定した内容に応じた印刷イメージをプレビュー画面に表示します。	
3	詳細設定	DPE で取り込んで印刷する際の、以下の項目を設定します。	
		原稿	取り込み原稿の種類を選択します。
		用紙	印刷する用紙の種類を選択します。
		写真サイズ	印刷するサイズを選択します。
		写真枚数	印刷する枚数を指定します。
4	印刷ボタン	写真を取り込み、印刷を実行します。	

プリンタドライバ関連情報

写真をきれいに印刷（オートフォトファイン !4）

写真をきれいに印刷したい場合は、オートフォトファイン !4 機能を使って印刷してみましょう。
オートフォトファイン !4 は、元のデータに手を加えることなく、自動的に高画質化して印刷できる機能です。

1.　［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

［印刷］画面が表示されます。

2.　モード設定から［オートフォトファイン !4］を選択して、ポップアップメニューから印刷データにかける効果を選択します。

［デジタルカメラ用補正］のチェックボックスは、デジタルカメラで撮影した画像を印刷する際に選択してください。ただし、エプソン製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

標準	EPSON 標準の色調にして印刷するモードです。

人物	人物が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
風景	風景が写っている画像に対して最適な補正を加えて印刷するモードです。
ソフトフォーカス	画像が柔らかいタッチになるような補正を加えて印刷するモードです。
セピア	セピア調にして印刷するモードです。

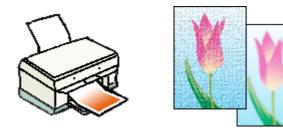
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像を印刷する場合に選択します。デジタルカメラのデータに対して最高な補正が加えられて印刷されます。

ポイント

［詳細設定］画面ではオートフォトファイン !4 の効果をさらに詳細に設定することができます。
「詳細設定画面」

3. ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

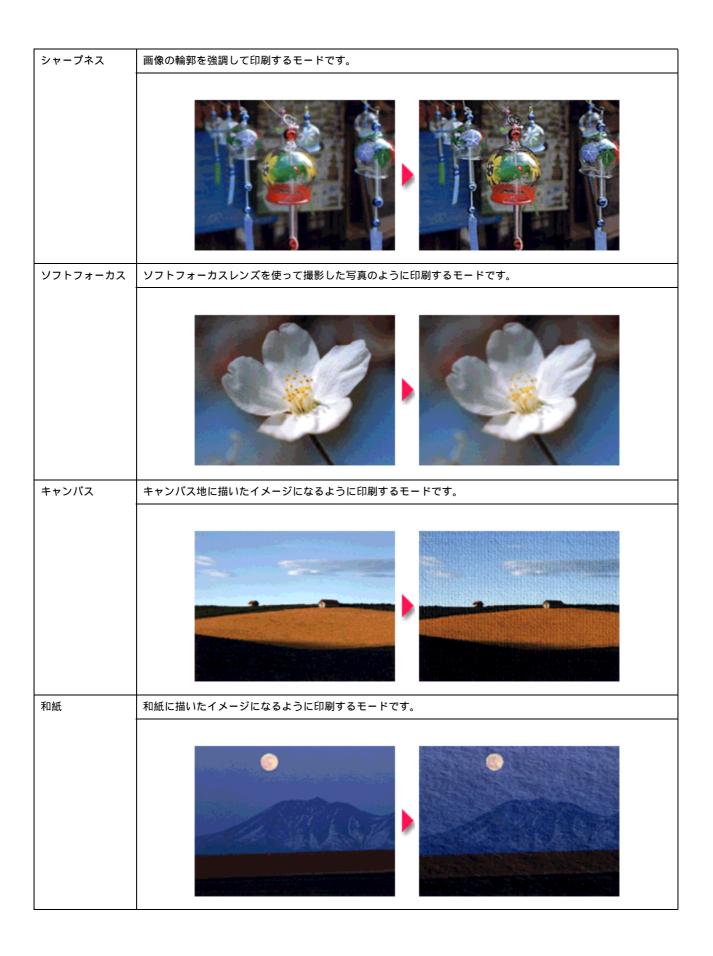
写真に特殊効果を加えて印刷（オートフォトファイン !4）

写真に特殊効果を加えて印刷したい場合は、オートフォトファイン !4 機能を使って印刷してみましょう！
オートフォトファイン !4 では、元のデータに手を加えることなく、「ソフトフォーカス」や「和紙」などの特殊効果を加えて印刷することができます。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または「印刷」）を選択します。

   ［印刷］画面が表示されます。

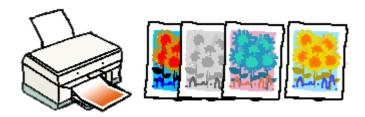
2. モードから［詳細設定］を選択して、［設定変更］ボタンをクリックします。

3. ［オートフォトファイン！ 4］のラジオボタンをクリックして選択し、効果のリストボックスから、印刷データにかける効果を選択します。

シャープネス	画像の輪郭を強調して印刷するモードです。
ソフトフォーカス	ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真のように印刷するモードです。
キャンバス	キャンバス地に描いたイメージになるように印刷するモードです。
和紙	和紙に描いたイメージになるように印刷するモードです。

効果の強さを調節するには、リストボックス下のスライドバーを使用してください。

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

色を微調整して印刷

印刷物の色合いや明度などを微調整して印刷することができます。

1. **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

   ［印刷］画面が表示されます。

2. **［詳細設定］をクリックして、［設定変更］ボタンをクリックします。**

3. **［ドライバによる色補正］のラジオボタンをクリックして、1 から 5 の各項目を調整します。**

1	色補正方法	次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。		
		自動	文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をします。通常は、この設定でご使用ください。	
		自然な色あい	より自然な発色状態になるように色処理します。	
		あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。	
2	明度	画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。		
		設定－	設定 0	設定＋
3	コントラスト	画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。		
		設定－	設定 0	設定＋

4	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）をバーで調整できます。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。「インク」で［黒］を選択した場合は調整できません。		
		設定－	設定 0	設定＋
5		それぞれの強さだけをバーで調整できます。標準を 0 として－ 25 ～＋ 25% の間で調整できます。［インク］で［黒］を選択した場合は、調整できません。		
	シアン	設定－	設定 0	設定＋
	マゼンタ	設定－	設定 0	設定＋
	イエロー	設定－	設定 0	設定＋

4.　［OK］ボタンをクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

ポイント

［詳細設定］画面の［保存 / 削除］ボタンをクリックすることにより、ここでの設定は、保存しておくことができます。
保存した設定値は、［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出すことができます。

定形外の用紙サイズに印刷

例えば CD-ROM のブックレットサイズの用紙に印刷しようと思ったことはありませんか？このように、プリンタドライバにあらかじめ用意されていないサイズの用紙に印刷する場合は、まず以下の手順で用紙サイズを登録する必要があります。

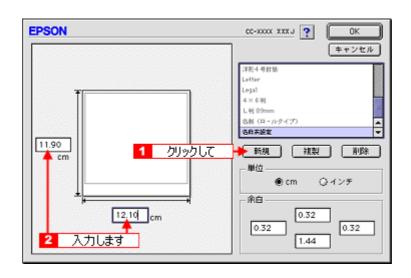
1. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］など）を選択します。

   ［用紙設定］画面が表示されます。

2. ［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

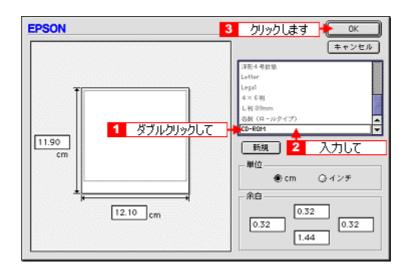
   用紙サイズを指定するボックスが表示されます。

3. ［新規］ボタンをクリックしてから用紙のサイズを入力します。

   以前に登録した内容を変更するときは、右のリストの用紙サイズ名をクリックします。

ポイント

- すでに登録されている用紙サイズを複製したい場合は、右側のリストから用紙サイズを選択して［複製］ボタンをクリックしてください。
- 用紙サイズ名を指定してから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズを削除することができます。
- ここでは、余白の設定もできます。余白の入力欄に直接入力するか左側のプレビュー部でグレーのラインをドラッグしたまま移動して設定します。

4. **リスト内の［名称未設定］と表示されている部分をダブルクリックして、登録したい名称を入力します。**

[OK］ボタンをクリックして画面を閉じると登録は終了です。登録した用紙サイズは、［用紙サイズ］のポップアップメニューから選択することができます。

ポイント

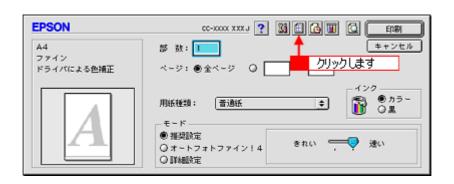
- 本機で印刷できないサイズの用紙を登録して印刷を実行すると、自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）されます。［出力用紙］のサイズを変更したい場合には、印刷の実行時に［レイアウト］画面の［フィットページ］のポップアップメニューから選択してください。
- 指定できるサイズの範囲は、次の通りです。
  用紙幅 : 8.89 〜 55.88cm（3.5 〜 22.00 インチ）
  用紙長 : 8.89 〜 111.76cm（3.5 〜 44.00 インチ）
- 登録できる用紙サイズは 100 種類までです。
- 用紙サイズ名の入力可能文字数は、全角 15 文字、半角 31 文字です。

マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷データに「秘」などのマークや単語を重ね合わせて印刷することができます。

ポイント
この機能は、［用紙設定］画面の［給紙装置］が、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)］になっている場合のみ有効です。

1. **印刷の実行前に［印刷］画面の ボタンをクリックします。**

［レイアウト］画面が表示されます。

2. **［スタンプマーク］にチェックを付けて、ポップアップメニューから重ね合わせるマークを選択します。**

ポイント

画面上に表示されているスタンプマークにカーソルを移動し、カーソルが マークに変わる所でドラッグするとスタンプマークの移動と拡大 / 縮小が実行できます。
：スタンプマークを移動できます。
：スタンプマークを拡大 / 縮小できます。

3. ポップアップメニューからスタンプマークを選択すると、色や濃度などの設定をすることができます。

1	マーク名	印刷するスタンプマークをポップアップメニューから選択します。
2	カラー	マークの印刷カラーをポップアップメニューから選択します。ただし、新規に登録したオリジナルマークの色指定はできません。
3	濃度	印刷する際のマークの濃さを調整できます。
4	マウスによる回転	[追加 / 削除] ボタンをクリックして任意の単語（[テキスト]）を登録した後、マーク名に登録した文章を選択すると有効になります。[マウスによる回転] にチェックを付けると、プレビュー部のスタンプマークをドラックすることで回転させることができます。
5	[追加 / 削除]	クリックすると、新規にスタンプマークとして画像や任意の単語を登録することができます。 「オリジナルスタンプマークを重ねて印刷」
6	[テキスト編集]	[追加 / 削除] ボタンをクリックして任意の単語（[テキスト]）を登録した後、マーク名に登録した単語を選択すると有効になります。クリックすると、登録した任意の単語を編集することができます。

4. [OK] ボタンをクリックして [印刷] 画面に戻り、印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークを重ねて印刷

プリセットマークのほかにお好みの画像や任意の単語を登録して（それぞれ 10 個まで）、そのオリジナルマークを重ね合わせて印刷することができます。

ポイント

この機能は［用紙設定］画面の［給紙装置］が、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)］になっている場合のみ有効です。

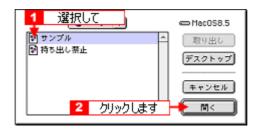
画像の登録方法

1. **アプリケーションソフトでオリジナルデータを作成し、PICT 形式で保存します。**

   ファイル形式には BMP、PICT、TIFF、JPG など多くのファイル形式があります。保存の際に PICT を選択して保存してください。

2. **［レイアウト］画面を開き、［スタンプマーク］にチェックを付けてから、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。**

3. **［ピクチャ追加］ボタンをクリックします**

4. **マークを保存したフォルダを選択し、登録するマークをクリックして、［開く］ボタンをクリックします。**

5. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］画面に戻ります。

これでマーク名のリストにオリジナルマークが加わりました。印刷する際は、［マーク名］のポップアップメニューから選択してください。

この後の印刷手順は、以下のページをご参照ください。
「マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷」

ユーザーマークのリストに表示されているマークの名称をクリックすると、マーク名を変更することができます。

単語の登録方法

1. ［レイアウト］画面を開き、［スタンプマーク］にチェックを付けてから［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3. 登録したいテキストを入力し、使用するフォントや効果を選択して［OK］ボタンをクリックします。

この画面は、［レイアウト］画面の［テキスト編集］ボタンをクリックすることでも開くことができます。

4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］画面に戻ります。

これでマーク名のリストにオリジナルマークが加わりました。印刷する際は、［マーク名］のポップアップメニューから選択してください。

この後の印刷手順は、以下のページをご覧ください。
「マル秘などのスタンプマークを重ねて印刷」

ポイント
ユーザーマークのリストに表示されているマークの名称をクリックすると、マーク名を変更することができます。

拡大 / 縮小して印刷

拡大 / 縮小して印刷したいときは、以下の手順に従ってください。

ポイント

この機能は、[用紙設定] 画面の [給紙装置] が、[オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」)] になっている場合のみ有効です。

1. **[ファイル] メニューから [用紙設定]（または [プリンタ設定] など）を選択します。**

   [用紙設定] 画面が表示されます。

2. **[拡大 / 縮小率] の入力欄に、直接数値を入力して拡大 / 縮小率を設定します。**

   25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

3. **この後は通常印刷する手順と同様です。**

大きなポスターになるように印刷

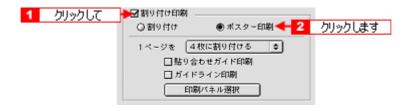
ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大して、本機にセットした用紙に分割して印刷することのできる機能です。印刷結果をつなぎ合わせれば、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。

ポイント

この機能は［用紙設定］画面の［給紙装置］が、［オートシートフィーダ（四辺フチなし「チェック無」）］になっている場合のみ有効です。

1. 印刷の実行前に［印刷］画面の　ボタンをクリックします。

［レイアウト］画面が表示されます。

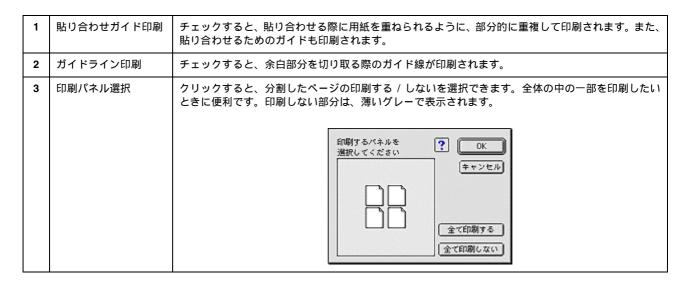
2. ［割り付け印刷］にチェックしてから、［ポスター印刷］のラジオボタンをクリックします。

3. 印刷したデータを何分割で出力するか設定します。

A4 サイズで制作したデータを 4 分割にして、A4 用紙 4 枚に出力すれば、つなぎ合わせたときにほぼ A2 サイズになります。

ポイント

ポスターで 4 ページ設定にすると A4 サイズの用紙が 4 枚必要です。9 ページでは 9 枚、16 ページでは 16 枚の A4 サイズの用紙が必要となります。

4. その他の項目を設定します。

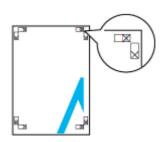
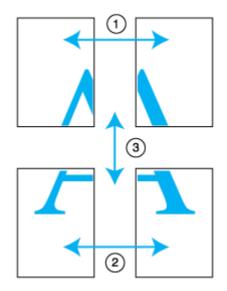
1	貼り合わせガイド印刷	チェックすると、貼り合わせる際に用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷されます。また、貼り合わせるためのガイドも印刷されます。
2	ガイドライン印刷	チェックすると、余白部分を切り取る際のガイド線が印刷されます。
3	印刷パネル選択	クリックすると、分割したページの印刷する / しないを選択できます。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、薄いグレーで表示されます。

ポイント

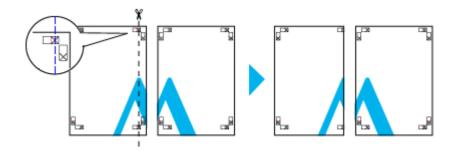
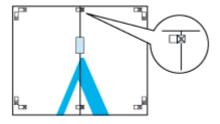
貼り合わせた後の仕上がりサイズについて

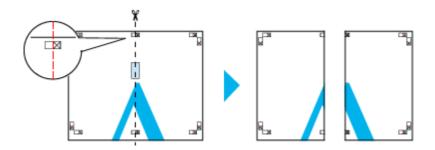
［ガイド印刷なし］の状態と［ガイドライン印刷］を選択した場合の仕上がりサイズは、同じになります。
［貼り合わせガイド印刷］を選択した場合の仕上がりサイズは、上記よりも小さくなります。

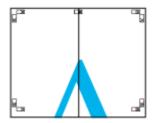
5. ［OK］ボタンをクリックして［印刷］画面に戻り、印刷を実行します。

貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方法

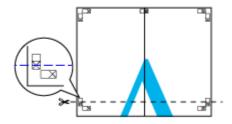
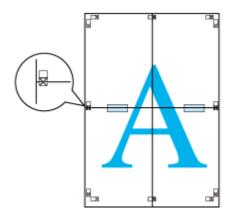
ポスター印刷時に［貼り合わせガイドを印刷］を選択して印刷した場合、下図のような貼り合わせガイドが印刷されます。ここでは、その貼り合わせガイドを使用して用紙を貼り合わせる方法をご説明します。

ポイント
ここでは 4 枚の用紙を貼り合わせる方法についてご説明します。下図の順番で貼り合わせます。

1. 上段の 2 枚の用紙を用意します。
2. 左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。

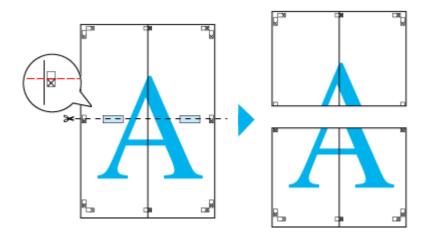
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

3. 切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

4. 2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。

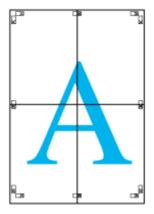
   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

5. **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

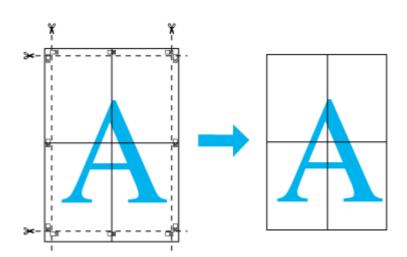
   裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

6. **下段の 2 枚の用紙も、ステップ 2 ～ 5 に従って貼り合わせます。**

7. **上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

8. **切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

9. **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

10. 2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

11. すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。

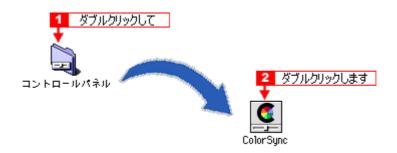
大きなポスターが完成します。

画面表示と色合いを合わせて印刷

スキャナ、ディスプレイ、プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデルごとに異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。
例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは､ディスプレイの表示色に合わせて印刷しているわけではないのでディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の一つが ColorSync と呼ばれるものです。

ポイント
原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトが ColorSync に対応している必要があります。

コンピュータでの設定

ColorSync を使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

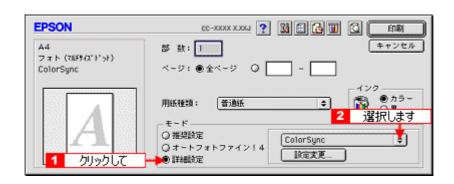
1. **［システム］フォルダ内の［コントロールパネル］をダブルクリックして開き、［ColorSync］アイコンをダブルクリックします**

2. **［システム特性］にご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、ポップアップメニューから選択します。**

   画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

スキャナでの設定

スキャナで取り込んだ画像をほかの機器と色合わせする場合は、画像を取り込む際に EPSON TWAIN の［環境設定］ダイアログで［ColorSync］を選択します。

プリンタドライバでの設定

印刷結果を色合わせするときは、印刷実行の際に［印刷］画面で［詳細設定］を選択し、ポップアップメニューから［ColorSync］を選択して印刷を実行します。

ポイント

- ColorSync を使用して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。
- ColorSync を使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていないか、または、ディスプレイの経年変化（劣化）により色表示にズレが生じていることが考えられます。このような場合は、以下のページを参照して、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。
「ディスプレイについて」
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフト上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J 以降、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフト上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは［ColorSync］を選択せず、カラー調整の［色補正なし］を指定してください。

印刷設定を細かく指定

印刷の品質にかかわる設定は、通常［印刷］画面で設定すれば十分ですが、細かく設定したい場合は、［詳細設定］画面で行います。

1.　［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

［印刷］画面が表示されます。

2.　［詳細設定］をクリックして、［設定変更］ボタンをクリックします。

3.　［詳細設定］画面の各項目を設定します。

ポイント

［用紙種類］、［印刷品質］の組み合わせによって、選択できる項目が変わります。

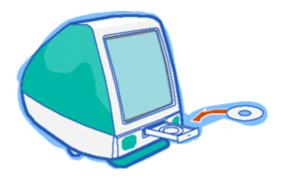
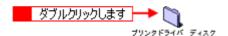
1	印刷品質	印刷品質をリストボックスから選択します。	
		ドラフト	試し印刷に向いているモードです。インク消費量をセーブしながら高速で印刷します。
		ファイン	日常使用に最適なモードです。
		スーパーファイン	高品質な印刷結果が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
		フォト	スーパーファインより美しい写真印刷が得られるモードです。ただし、印刷時間が多少かかります。
2	マイクロウィーブ	チェックすると、行ごとの印刷ムラを少なくして印刷することができます。	
		スーパー	行ごとの印刷ムラをさらに少なくしたい場合に選択します。[印刷品質] で [フォト] を選択した場合のみ設定できます。
3	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが左から右に戻るときにも印刷します。 印刷速度を重視したい場合には、チェックしてください。 印刷品質を重視したい場合には、チェックしないでください。	
4	スムージング	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにして印刷することができます。ただし、印刷時間が多少長くなります。	
5	Web スムージング	チェックすると、Web 上の低解像度のロゴ、イラスト、画像の輪郭を滑らかにして印刷することができます。	

ポイント

- ［保存 / 削除］ボタンをクリックすることにより、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［印刷］画面のポップアップメニューから呼び出すことができます。
- ［詳細設定］画面のその他の項目については、以下のページをご覧ください。
  「詳細設定画面」

プリンタドライバの削除方法

プリンタドライバを削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

1. **Macintosh を起動した後、プリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。**

2. **画面を下の方にスクロールさせ、［プリンタドライバ］フォルダをダブルクリックして開きます。**

3. **［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。**

   インストーラが起動します。

4. **開始画面で［続ける］ボタンをクリックします。**

5. **使用許諾契約の内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。**

6. **ポップアップメニューから［アンインストール］を選択して［アンインストール］ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が実行されます。

ポイント

以下のような画面が表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。

最新プリンタドライバ類の入手方法

プリンタドライバをバージョンアップすることにより、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いいただくことをお勧めします。

注意

最新バージョンのプリンタドライバをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。

「プリンタドライバの削除方法」

ポイント

プリンタドライバ類のバージョンは、数字が大きいほど新しいバージョンになります。数字が同じ場合は、数字の後ろに付いているアルファベットが後のもの（A より B、B より C…）が新しいバージョンになります。

最新プリンタドライバを入手するには、以下の 2 つの方法があります。ご都合の良い方法で入手してください。

インターネットから入手する方法

エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/
ダウンロード方法 / インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

2001年10月1日現在

郵送で入手する方法

インターネットを利用できない方のために、「エプソンディスクサービス」にて CD-ROM での郵送（実費）を承っております。お申し込み方法・料金など、詳しくは「EPSON FAX インフォメーション」の資料でご確認ください。「EPSON FAX インフォメーション」については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

ポイント

Windows で使用する場合は、以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時すでにインストールされているコンピュータ）、または Windows 98/Me/2000 がプレインストールされていて、OS をアップグレードしたコンピュータ。
- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ。

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	i486DX（R）66MHz 以上
主記憶メモリ	16MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium（R）150MHz 以上
主記憶メモリ	32MB 以上
ハードディスク空き容量	50MB 以上
インターフェイス	USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium（R）133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	40MB 以上 （推奨 100MB 以上）
インターフェイス	USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度

Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP 日本語版
CPU	クロック速度 300MHz 以上のプロセッサを搭載した PC を推奨 Intel Pentium/Celeron 系列、AMD K6/Athlon/Duron ファミリ、またはこれらと互換のプロセッサを推奨 *
主記憶メモリ	128MB 以上の RAM を推奨 *
ハードディスク空き容量	40MB 以上 （推奨 100MB 以上）
インターフェイス	USB
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度 *

* Windows XP の動作要件

Macintosh

システムソフトウェア	Mac OS 8.x（8.0 は除く）/Mac OS 9.x （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	A4 サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時 ：11MB 以上の空きメモリ容量 （20MB 以上を推奨） バックグラウンドプリント時 ：11MB 以上の空きメモリ容量 （34MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	16MB 以上の空き容量＋印刷する文書サイズの約 2 倍の空き容量

TWAIN ドライバ・アプリケーション関連情報

出力サイズを指定して取り込もう

例えば写真を取り込んで壁紙として利用したり、ハガキに印刷するような場合は、EPSON TWAIN（マニュアルモード）の出力サイズを指定する機能を利用すると便利です。ここでは、壁紙を作る場合を例に、出力サイズを指定して取り込む方法をご説明します。

1.　本機にカラー写真をセットします。

2.　TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。

ポイント

初期設定では、EPSON TWAIN の起動時に自動プレビューが行われます。もし、[環境設定] ダイアログで [TWAIN 起動時プレビューを実行] のチェックを外している場合は、まず [プレビュー] ボタンをクリックしてプレビューしてください。

3.　イメージタイプや出力機器を目的に合わせて設定します。

出力機器は、用途に応じて次のように設定してください。用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。

画像の用途	出力機器の設定
壁紙用	スクリーン / Web
プリンタでのファイン印刷用	プリンタ（ファイン）
プリンタでのフォト / スーパーファイン印刷用	プリンタ（フォト）

4.　原稿サイズの［単位］をピクセルに設定します。

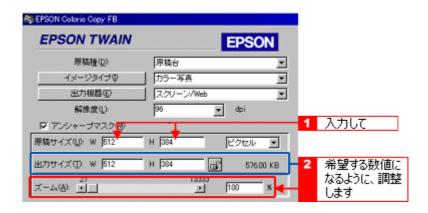
ポイント

サイズの表示単位は、インチ、ピクセル、cm のいずれかを選択することができます。

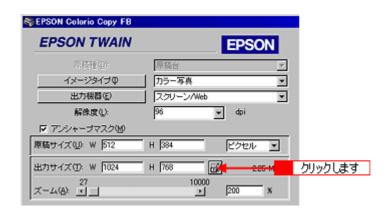
5. **原稿サイズを入力し、ズームを調整して出力サイズを設定します。**

原稿台を超えるサイズは入力できませんので、次のように原稿台に収まる数値を入力し、ズームを調整して出力サイズを設定してください。

出力サイズ	原稿サイズ（W）	原稿サイズ（H）	ズーム
1024 × 768 ピクセル	512	384	200%
800 × 600 ピクセル	400	300	200%
640 × 480 ピクセル	320	240	200%

※入力した数値は、多少変動することがあります。

画面は、デスクトップ領域が 1024 × 768 ピクセルで、取り込んだ画像を画面全体に表示する場合の例です

6. **［ロック］ボタンをクリックして出力サイズをロックします。**

出力サイズが 1024 × 768 ピクセルに近い値で固定されます。この状態のときに、取り込み範囲の縦横比を固定したまま範囲を拡大／縮小できます。

7. **取り込み範囲の枠をドラッグして範囲を拡大／縮小し、取り込む範囲を決めます。**

取り込み範囲の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグにより移動できます。

ポイント

取り込む画像のサイズが決まっている場合は、取り込み範囲の幅（W）と高さ（H）の数値で指定することもできます。

8. ［ズームプレビュー］ボタンをクリックし、必要に応じて範囲を微調整します。

原稿が再プレビューされ選択した範囲が拡大表示されます。露出（画像の明暗）も自動調整されます。

9. ［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。

指定したサイズで画像が取り込まれます。

ポイント

ここで設定した内容を、［設定保存］ボタンをクリックして保存しておくことをお勧めします。設定を保存しておけば、原稿サイズや出力サイズなどの各種設定を再利用することができます。

「設定保存」

10. TWAIN 対応アプリケーションで画像を保存します。

詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

「取り込んだ画像の保存」

ポイント

壁紙用の画像は、BMP 形式（Windows）または PICT 形式（Macintosh）で保存してください。（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙に設定する場合を除く。）

ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙の作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

写真をきれいに取り込もう

取り込んだ画像をフォトレタッチソフトで補正する前に、EPSON TWAIN の画質調整機能を利用して、よりきれいなデータで取り込むのがベストです。
ここでは、画像をきれいに取り込むための、EPSON TWAIN での調整のポイントを紹介しています。

明るさの調整とは

質のよい画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。

画像の明るさの調整では、画像全体の明るさだけではなく、ハイライト、シャドウ、およびガンマをそれぞれ個別に調整できます。1 つの画像の中で、ハイライトレベルの明るい白からシャドウレベルの黒までを適切な範囲に収めます。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）

●ハイライトが弱く、シャドウは適切

●ハイライトは適切、シャドウが弱い

●ハイライトもシャドウも弱い

●ガンマが暗い方向に寄っている

ポイント

- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときのみ有効ですので、まずプレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。

- 初期設定では、プレビューは高速の設定になっています。画質調整の精度を上げるには、[環境設定] ダイアログの [プレビュー] タブで [高速プレビュー] のチェックをはずしてください。プレビュー画像が高品位になります。

- 厳密な調整を行う場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。
  「ディスプレイについて」

1. **TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN （マニュアルモード）を起動します。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

2. **［イメージ制御］ボタンをクリックし、ハイライト / シャドウ / ガンマを調整します。**

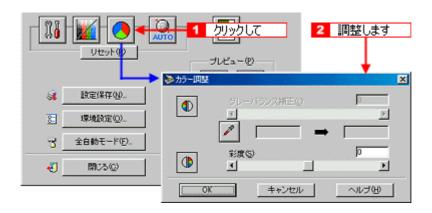
ハイライト	画像のもっとも明るい部分の色を調節します。
シャドウ	画像のもっとも暗い部分の色を調節します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを調節します。

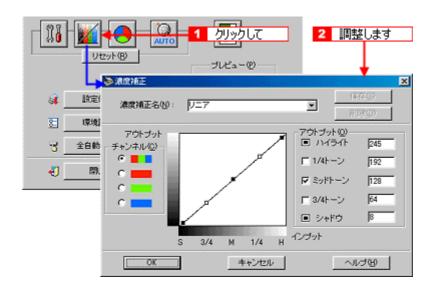
「ハイライトを調整しよう」
「シャドウを調整しよう」
「中間部分（ミッドトーン）を調整しよう」

ポイント

ハイライトを調整すると、露出も連動して設定されます。

3. ［カラー調整］ボタンをクリックし、グレーバランスを調整します。

「グレーバランスを調整しよう」

4. 必要に応じて［濃度補正］ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。

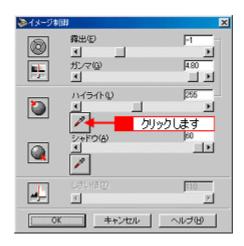
「濃度を調整しよう」

以上で写真をきれいに取り込む設定は終了です。ここまでの調整で、ほぼ最適な画像になっているはずです。

ハイライトを調整しよう

ハイライトは、［イメージ制御］ダイアログにて設定を行います。

1. ［イメージ制御］ボタンをクリックします。

2. ハイライトの［スポイト］アイコンをクリックします。

［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、［esc］キーを押してください。

3. 画像の一番明るい部分をクリックします。

ポイント

出力値（濃度）は 255（白）ではなく 245（やや濃度のある白）になりますので、白としてとびません。（出力値は［濃度補正］ダイアログで編集可能。）

「濃度を調整しよう」

4. スライダーを左右に動かして、明るさを調整します。

調整前

調整後

ポイント

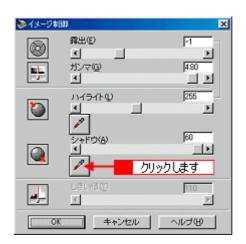
- ハイライトを調整すると、露出も連動して設定されます。
- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。
- ハイライトの範囲は 61 ～ 490 です。

シャドウを調整しよう

シャドウは、［イメージ制御］ダイアログにて設定を行います。

1. ［イメージ制御］ボタンをクリックします。

2. シャドウの［スポイト］アイコンをクリックします。

［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、［esc］キーを押してください。

3. 画像の一番暗い部分をクリックします。

ポイント

出力値（濃度）は 0（黒）ではなく 8（濃いグレー）になりますので、黒ベタにはなりません。（出力値は［濃度補正］ダイアログで編集可能。）

4. **スライダーを左右に動かして、明るさを微調整します。**

「濃度補正」

調整前

調整後

ポイント

- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。
- シャドウの範囲は 0 ～ 60 です。

中間部分（ミッドトーン）を調整しよう

中間部分（ミッドトーン）は、［イメージ制御］ダイアログのガンマにて設定を行います。

ポイント

中間部分が薄い、あるいは濃い場合に、ハイライトレベル、シャドウレベルは固定のまま、中間部分のみ調整をしますので、明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の濃度のみを調整できます。

1. ［イメージ制御］ボタンをクリックします。

2. ガンマのスライドバーで中間部分（ミッドトーン）のレベルを調整します。

ガンマ値：1.30

ガンマ値：1.50

ポイント

- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。

- ガンマの範囲は 0.50 ～ 5.00 です。

グレーバランスを調整しよう

画像に照明などの色がかぶっている場合は、グレーバランスを調整します。グレーバランスの調整値によっては、明暗が多少変化することがあります。

1. ［カラー調整］ボタンをクリックします。

2. グレーバランス補正の［スポイト］アイコンをクリックします。

［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、［esc］キーを押してください。

3. 画像の本来は白黒またはグレー（無彩色）となる部分をクリックします。

4. スライダーを右に動かして、グレーバランスを調整します。

調整前

調整後

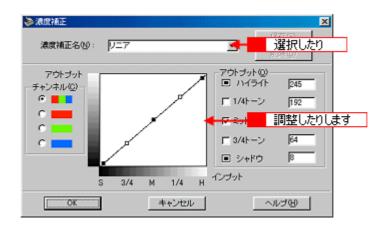
ポイント

- 左側のボックスには、スポイトで選択した色が表示されます。右側のボックスには、調整された色が表示されます。
- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- グレーバランス補正の範囲は 0 〜 100 です。
  数値を上げるほど、画像の「周りの色の影響（色かぶり）」を取り除くことができます。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
  0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

濃度を調整しよう

自動露出やイメージ制御で調整しきれない微妙な部分は、［濃度補正］で補正します。

1. ［濃度調整］ボタンをクリックします。

2. トーン曲線で追加補正したい部分を補正します。

リニア（補正なし）

シャドウ部を出す選択時

ポイント

- 補正前の濃度に戻すには、［濃度補正名］で［リニア］を選択します。
- 露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像に合わせて微調整することをお勧めします。
  これで明暗の調整は終了です。ここまでの調整で、ほぼ最適な画像になっているはずです。次の［色を鮮やかにして取り込もう］以降で色合いの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、たいていの場合、色合いの調整は必要ありません。必要に応じて行ってください。

色を鮮やかにして取り込もう

写真を取り込む場合、原稿である写真自体の色に問題がある場合があります。
ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、色合いを調整して鮮やかに取り込む方法を紹介しています。

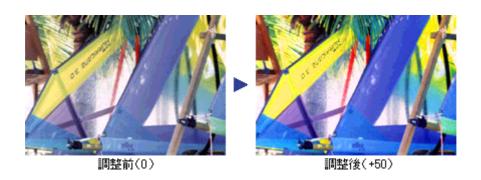
1. TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。

2. ［写真をきれいに取り込もう］を参照して一通り画質の調整を行います。

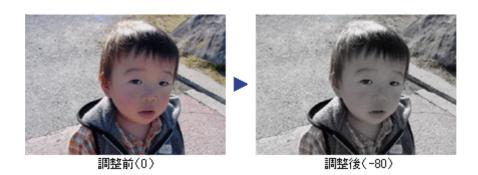
「写真をきれいに取り込もう」

3. ［カラー調整］ボタンをクリックします。

4. 彩度のスライダーを +（プラス）へ移動します。

調整前（0）　調整後（+50）

ポイント

- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 彩度調整の範囲は -100 ～ 100 です。設定を -（マイナス）にすると、色みがなくなり（無色彩化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にして取り込むことができます。

調整前(0)　　調整後(-80)

特定の色の濃度を補正して取り込もう

写真を取り込む場合、原稿である写真自体の色に問題がある場合があります。ここでは、写真中の色が本来の色と異なる場合に、不要な色を取り除いたり特定の色の濃度を補正する方法を紹介しています。

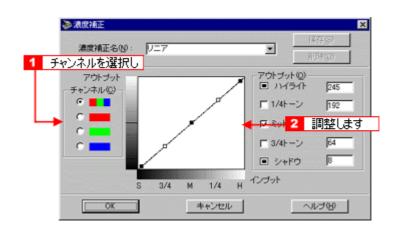
1. TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN （マニュアルモード）を起動します。

2. ［写真をきれいに取り込もう］を参照して一通り画質の調整を行います。

「写真をきれいに取り込もう」

3. ［濃度補正ボタン］をクリックします。

4. 補正したい色（チャンネル）を選択し、トーン曲線を補正します。

補正前　　補正後（青さを補正した例）

ポイント

画像の彩度を下げた後、R（赤）のアウトプット値を上げ、G（緑）とB（青）のアウトプット値を下げると、セピア調のカラー画像にして取り込むことができます。

調整前　　調整後

文字原稿の認識率を上げて取り込もう

文字原稿を取り込み、OCR（光学文字認識）に利用しやすいように取り込む場合は次の設定で取り込むことをお勧めします。

ポイント

付属の読ん de!! ココ（OCR ソフト）からの取り込みでは、EPSON TWAIN を使わず OCR ソフト独自の取り込み画面で取り込むことができます。
詳しくは読ん de!! ココ取扱説明書（HTML ファイル）をご覧ください。

イメージタイプ・出力機器を設定する

イメージタイプを［文字（背景除去）］、出力機器を［OCR］に設定します。これにより、取り込みの各条件は次のように設定されます。

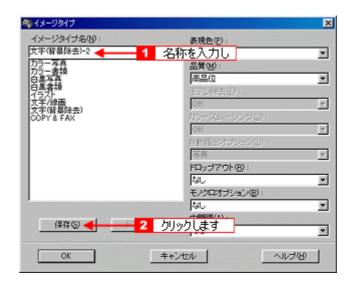
	項目	設定値
イメージタイプ	表現色	モノクロ
	品質	高品位
	モアレ除去	−
	カラースムージング	−
	自動露出オプション	−
	ドロップアウト	−
	モノクロオプション	テキストエンハスメントテクノロジ
	中間調	−
出力機器	モノクロ解像度	400dpi
	グレー／カラー解像度	400dpi

まずは、この設定で取り込んでみてください。この設定で取り込んでも認識率が良くない場合は、次の手順で［しきい値］を調整してください。

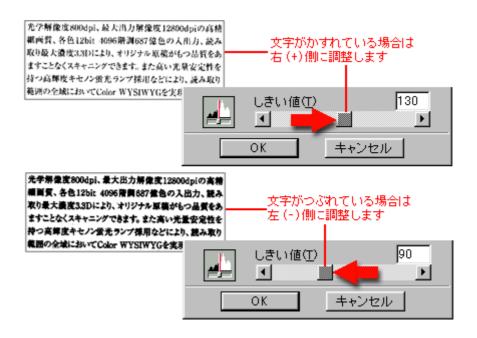
1. イメージタイプを上記の設定にし、［イメージタイプ］ボタンをクリックします。

2.　モノクロオプションで［なし］を選択します。

この設定により、しきい値を調整できるようになります。

3.　イメージタイプ名に何らかの名称を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

4.　［OK］ボタンをクリックします。

5.　［イメージ制御］ボタンをクリックします。

6.　プレビュー画像で効果を確認しながら、［しきい値］を調整します。

しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

ポイント

初期設定では、プレビューは高速の設定になっています。しきい値調整の精度を上げるには、［環境設定］ダイアログの［プレビュー］タブで［高速プレビュー］のチェックをはずしてください。プレビュー画像が高品位になりますので、ズームプレビュー画像で文字がきれいに見えるように、しきい値を調整してください。

それでも認識率が向上しないときは

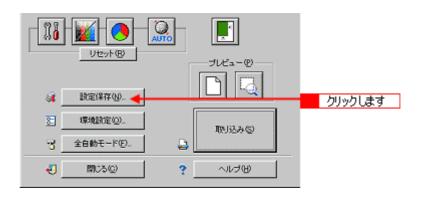
しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

取り込み設定を保存しよう

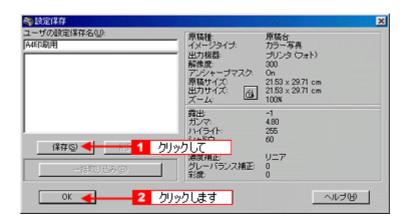
取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前を付けて保存することができます。また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定で一括取り込みすることができます。

取り込み設定を保存する

1. 原稿をプレビューし、取り込み枠の設定・イメージタイプや出力機器の設定・画質調整などを行います。

2. ［設定保存］画面を表示します。

3. 取り込み設定の名称を入力します。

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

4. ［保存］ボタンをクリックし、取り込み設定を保存して［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- 必ず［保存］ボタンをクリックしてから［OK］ボタンをクリックしてください。
- 誤って入力した場合や、入力を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。名称は保存されません。

保存した設定を利用して取り込む

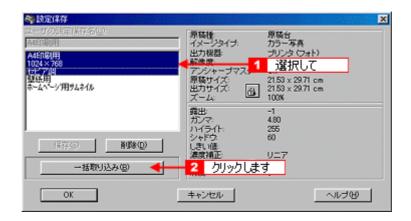
保存した取り込み設定を利用して画像を取り込みます。複数の取り込み設定を同時に利用することもできます。

1 つの設定での取り込み手順

1. 取り込みに利用する設定保存名を選択します。

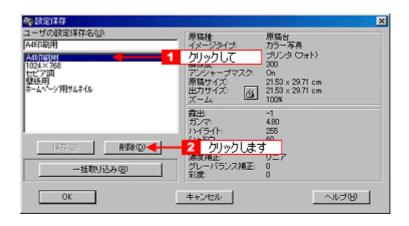
2. ［取り込み］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。

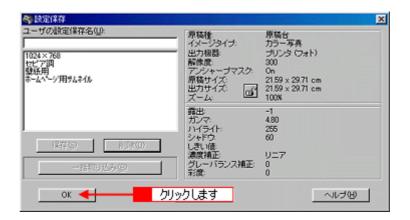
複数の設定での取り込み手順

1. ［Shift］キーを押しながら複数の設定をクリックし、［一括取り込み］ボタンをクリックします。

任意の設定保存名を 1 つずつ選択するには、［Ctrl］キーを使用します。
複数の取り込みには、TWAIN 対応アプリケーションの対応が必要です。TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書でご確認ください。

取り込み設定を削除する

保存した取り込み設定を削除します。

1. 削除したい設定保存名をリストから選択し、［削除］ボタンをクリックします。

2. メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックします。

3. ［OK］ボタンをクリックします。

誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。

全自動モード

全自動モードで画像を取り込むときの出力の解像度をあらかじめ設定しておくことができます。

1. TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。
2. EPSON TWAIN が起動し全自動モードの画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックします。

3. Windows では［>>］ボタン、Macintosh では ▶ ボタンをクリックします。

4. 全自動モードの設定を変更し、［閉じる］ボタンをクリックします。

1	全自動モードで用いる原稿種	全自動モードで取り込む原稿の種類（反射またはフィルム）を限定します。 本機では反射原稿のみ使用できるので、この設定の変更はできません。
2	解像度を指定	出力の解像度を設定します。 チェックボックスをクリックしてから、解像度を選択します。 初期設定では、原稿の出力解像度は 300dpi に設定されています。
3	[<<］ボタン Macintosh では▼ボタン	元の画面に戻ります。

ポイント

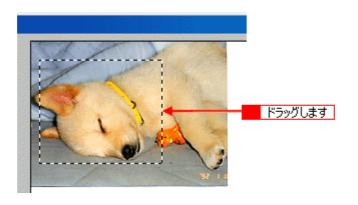
画像を取り込むときは、［取り込み］ボタンをクリックします。

取り込み範囲を調整して取り込もう

原稿の一部分だけ画像として取り込みたい場合は、プレビュー画面で範囲を指定します。

例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像を取り込むことができます。

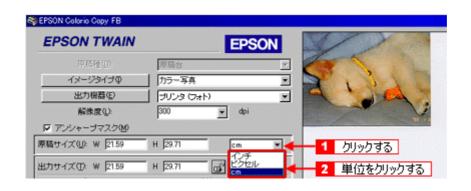
取り込み範囲をマウスで指定する

ドラッグして取り込み範囲を指定します。

ポイント

プレビュー画面にポインタを移動すると、ポインタの形が「+」に変わります。

取り込み範囲を数値で指定する（原稿サイズ）

取り込む画像のサイズが決まっている場合は、取り込み範囲を幅（W）と高さ（H）の数値で指定します。サイズを指定した後、取り込む位置を指定します。

1. 取り込み範囲サイズの表示単位を選択します。

ポイント

サイズの表示単位は、「インチ」「ピクセル」「cm」次の 3 種類です。

2. 取り込み範囲のサイズを入力します。

ポイント

- 取り込み範囲を指定すると、画像のデータ容量が［出力サイズ］の右下に表示されます。
- 取り込み範囲を解除したい場合は、取り込み範囲の枠の中をダブルクリックします。

取り込み範囲を自動的に原稿に合わせる（自動範囲選択）

原稿の大きさぴったりで画像を取り込みたいときに使用する機能です。原稿よりも大きな範囲を指定して、自動範囲選択を行うと、取り込む画像の範囲だけを正確に指定できます。

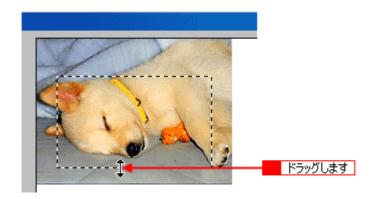
ポイント

原稿カバーの裏側が汚れていると、範囲が正しく検出されない場合があります。

1. 原稿よりも大きな範囲を指定して、自動範囲選択を行います。

取り込み範囲を広げる、狭める

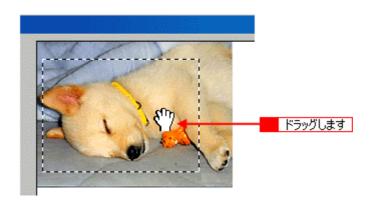
指定した取り込み範囲を広げます。または狭めます。

1. ポインタを線上に合わせてドラッグし、広げたい、狭めたい方向へポインタを移動します。

ポイント

- 取り込み範囲を指定すると、取り込み範囲の幅と高さが［原稿サイズ］に表示されます。また、画像のデータ容量が［出力サイズ］の右下に表示されます。
- 取り込み範囲を解除したい場合は、取り込み範囲の枠の中をダブルクリックします。
- 縦横比を固定して範囲サイズを変更するには、［SHIFT ］キーを押しながらドラッグします。

取り込む位置を変更する

取り込み範囲を、別の位置に変更します。取り込み範囲のサイズは変わりません。

1. 取り込み範囲の中に、ポインタを合わせてドラッグします。

ポイント

取り込み範囲内にポインタを移動すると、ポインタが手の形に変わります。

TWAIN ドライバのシステム条件

EPSON TWAIN を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

ポイント

Windows で使用する場合は、以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時すでにインストールされているコンピュータ）、または Windows 98 がプレインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ。
- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ。

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	i486DX（R）66MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium（R）150MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium（R）133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP 日本語版
CPU	クロック速度 300MHz 以上のプロセッサを搭載した PC を推奨 Intel Pentium/Celeron 系列、AMD K6/Athlon/Duron ファミリ、またはこれらを互換のプロセッサを推奨 *
主記憶メモリ	128MB 以上の RAM を推奨 *
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 × 480）以上の解像度 *

* Windows XP の動作要件

Macintosh

システムソフトウェア	Mac OS 8.5 以上 /Mac OS 9.x （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	64MB 以上を推奨
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります

TWAIN ドライバの削除

EPSON TWAIN を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

- 「Windows 98/Me の場合」
- 「Windows 2000/XP の場合」
- 「Macintosh の場合」

Windows 98/Me の場合

1. **USB ケーブルを取り外します。**

2. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

4. **［EPSON Colorio Copy FB］を選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。**

5. ［はい］ボタンをクリックします。

6. ［次へ］ボタンをクリックします。

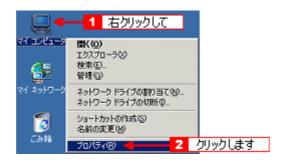
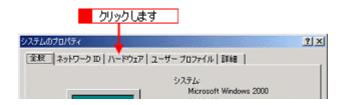
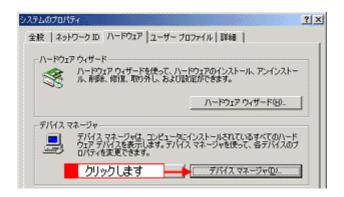
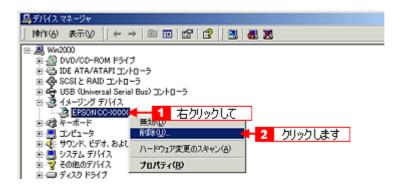
EPSON TWAIN の削除が実行されます。

7. ［完了］ボタンをクリックします。

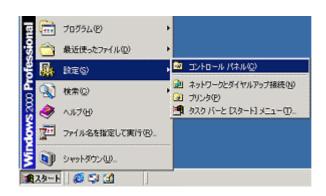
これで削除は終了です。Windows を再起動してください。

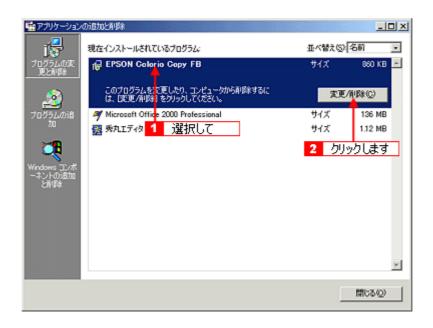
Windows 2000/XP の場合

Windows 2000 の場合、管理権限のあるユーザー（Administrator）でログオンしてから、以下の操作を行ってください。
Windows XP の場合、｢コンピュータの管理者｣アカウントのユーザーでログオンしてから、以下の操作を行ってください。

1. **スキャナの電源がオンになっていること、USB ケーブルが接続されていることを確認してください。**
2. **デスクトップの［マイコンピュータ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］メニューをクリックします。**

3. **［ハードウェア］タブをクリックします。**

4. **［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**

5. 「イメージングデバイス」に表示されている、「CC-xxxx」（お使いの機種名）を右クリックし、「削除」メニューをクリックします。

6. ［OK］ボタンをクリックします。

7. USB ケーブルを取り外します。

8. Windows 2000 の場合は［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。Windows XP の場合は［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

9. Windows 2000 の場合は［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。Windows XP の場合は［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックします。

10. Windows 2000 の場合は［EPSON Colorio Copy FB］を選択して、［変更 / 削除］ボタンをクリックします。Windows XP の場合は［EPSON Colorio Copy FB］を選択して、［変更と削除］ボタンをクリックします。

11. ［OK］ボタンをクリックします。

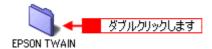
12. ［次へ］ボタンをクリックします。

EPSON TWAIN の削除が実行されます。

13. ［完了］ボタンをクリックします。

これで削除は終了です。Windows を再起動してください。

Macintosh の場合

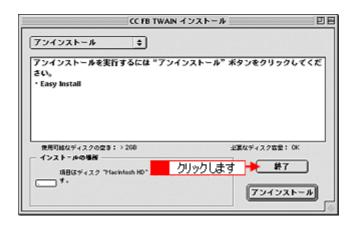
1. USB ケーブルを取り外します。
2. ソフトウェア CD-ROM をセットします。
3. 画面を下の方にスクロールさせ、［EPSON TWAIN］フォルダをダブルクリックします。

4. ［Colorio Copy FB インストール］アイコンをダブルクリックします。

5. **使用許諾契約の内容を確認し、[同意] ボタンをクリックします。**

6. **ポップアップメニューから [アンインストール] を選択して、[アンインストール] ボタンをクリックします。**

EPSON TWAIN の削除が実行されます。

7. **[OK] ボタンをクリックします。**

8. **[終了] ボタンをクリックします。**

これで削除は終了です。Macintosh を再起動してください。

最新 TWAIN ドライバの入手方法

EPSON TWAIN をバージョンアップすることにより、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新の EPSON TWAIN をお使いいただくことをお勧めします。

注意

最新バージョンの EPSON TWAIN をインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。
「TWAIN ドライバの削除」

ポイント

EPSON TWAIN のバージョンは、数字が大きいほど新しいバージョンになります。数字が同じ場合は、数字の後ろに付いているアルファベットが後のもの（A より B、B より C...）が新しいバージョンになります。

最新の EPSON TWAIN を入手するには、以下の 2 つの方法があります。ご都合の良い方法で入手してください。

インターネットから入手する方法

エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy/

ダウンロード方法 / インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

2001年10月1日現在

郵送で入手する方法

インターネットを利用できない方のために、「エプソンディスクサービス」にて CD-ROM での郵送（実費）を承っております。お申し込み方法・料金など、詳しくは、「EPSON FAX インフォメーション」の資料でご確認ください。「EPSON FAX インフォメーション」については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

EPSON SMART PANEL の起動方法

ここでは、EPSON SMART PANEL のインストール後のアプリケーションとマニュアルの起動方法をご説明します。

通常は、EPSON TWAIN と EPSON SMART PANEL が正しくインストールされている場合には、本体のスキャナビボタンを押すだけで EPSON SMART PANEL を起動できます。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］をクリックします。

2. 表示された一覧の中から［EPSON Smart Panel］を選択します。

3. アプリケーションを起動する場合は（1）を、マニュアルを見る場合は（2）をクリックします。

EPSON SMART PANEL からの EPSON TWAIN 起動方法

EPSON SMART PANEL では、起動時にコンピュータに TWAIN 対応機器が接続されているかどうかを自動的に検出します。

本機以外の TWAIN 対応機器が接続されている場合、画面の下に選択ボックスが表示されます（上図参照）ので、表示される一覧から「CC-550L」を選択してください。

EPSON SMART PANEL の削除

EPSON SMART PANEL を削除（アンインストール）するときは、EPSON SMART PANEL とともにインストールされるアプリケーションも削除します。EPSON SMART PANEL とともにインストールされるアプリケーションは以下のとおりです。

- Windows：EPSON コピーユーティリティ、EPSON Easy Photo Print、ScanToWeb
- Macintosh：Copy Utility、Photo Print、ScanToWeb

以下の手順で、EPSON SMART PANEL と上記アプリケーションを削除します。

Windows の場合

EPSON SMART PANEL の削除

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［EPSON Smart Panel］にカーソルを合わせ、［アンインストール EPSON Smart Panel］をクリックします。**

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］－［EPSON Smart Panel］にカーソルを合わせ、［アンインストール Smart Panel］をクリックします。

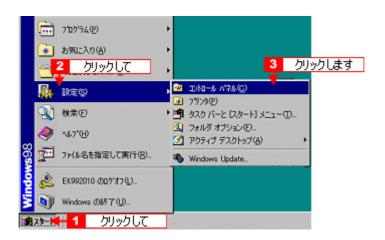
2. **削除が終了すると次の画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックします。**

これで EPSON SMART PANEL の削除は完了です。

EPSON コピーユーティリティ、EPSON Easy Photo Print、ScanToWeb の削除

EPSON コピーユーティリティ、EPSON Easy Photo Print、ScanToWeb は、すべて同じような手順で削除できます。ここでは、EPSON コピーユーティリティの削除をご説明します。EPSON Easy Photo Print と ScanToWeb を削除する場合は、「EPSON コピーユーティリティ」を「EPSON Easy Photo Print」や「ScanToWeb」に置き換えて読んでください。

1. **Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[コントロールパネル] をクリックします。**

   Windows XP の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

2. **[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。**

   Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

3. **[EPSON コピーユーティリティ] をダブルクリックします。**

   Windows 2000 の場合は、[プログラムの変更と削除] を選択して [EPSON コピーユーティリティ] の [変更 / 削除] ボタンをクリックします。
   Windows XP の場合は、[EPSON コピーユーティリティ] を選択して [変更と削除] ボタンをクリックします。

4. **[はい] をクリックします。**

EPSON Easy Photo Print または ScanToWeb の削除の場合は表示される画面が異なりますが、[はい]をクリックします。

5. **[完了]をクリックします。**

EPSON Easy Photo Print の削除の場合は[OK]をクリックします。

これで EPSON コピーユーティリティの削除は完了です。

Macintosh の場合

EPSON SMART PANEL、Photo Print、ScanToWeb の削除

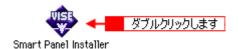
EPSON SMART PANEL、Photo Print、ScanToWeb は、すべて同じような手順で削除できます。ここでは、EPSON SMART PANEL の削除を例にご説明します。

1. **ソフトウェア CD-ROM をセットします。**
2. **画面を下の方にスクロールさせ、[EPSON Smart Panel]フォルダをダブルクリックします。**

Photo Print の削除の場合は、[EPSON Photo Print]フォルダ、ScanToWeb の削除の場合は[EPSON Scan To Web]フォルダをダブルクリックします。

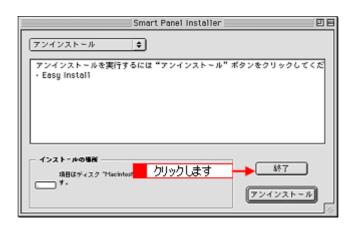
3. **[Japanese]フォルダをダブルクリックします。**

4. **[Smart Panel Installer]アイコンをダブルクリックします。**

Photo Print の削除の場合は、[Photo Print Installer]アイコン、ScanToWeb の削除の場合は[ScanToWeb Installer]アイコンをダブルクリックします。

5. **ポップアップメニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］ボタンをクリックします。**

削除が実行されます。

Photo Print または ScanToWeb の削除の場合、削除が完了すると「ソフトウェアのアンインストールが完了しました」というメッセージが表示されるので、［OK］をクリックします。

6. **［終了］ボタンをクリックします。**

これで削除は完了です。

Copy Utility の削除

1. **［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。**

ポイント

ハードディスクの名前を変更している場合、アイコンの名前が［Macintosh HD］ではない場合があります。

2. **インストール時に指定したフォルダをダブルクリックします。**

3.　［Copy Utility］フォルダをゴミ箱に捨てます。

これで Copy Utility の削除は終了です。

読ん de!! ココの起動方法

ここでは、読ん de!! ココのインストール後のアプリケーションとマニュアルの起動方法をご説明します。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］をクリックします。

2. 表示された一覧の中から［読ん de!! ココ］を選択します。

3. アプリケーションを起動する場合は（1）を、マニュアルを見る場合は（2）をクリックします。

読ん de!! ココからの EPSON TWAIN 起動方法

ここでは、読ん de!! ココから EPSON TWAIN を起動する方法をご説明します。

1. ［ファイル］メニューをクリックして、［スキャナの選択］をクリックします。

2. ［EPSON Colorio Copy FB］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

3. ［ファイル］メニューをクリックして、［スキャナから読み込む］をクリックします。

読ん de!! ココの削除

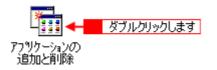
読ん de!! ココを削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

Windows の場合

1. **Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[コントロールパネル]をクリックします。**

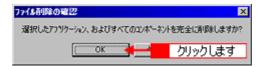
   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

   Windows XP の場合は、［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3. **［読ん de!! ココ パーソナル］をダブルクリックします。**

   Windows 2000 の場合は、［プログラムの変更と削除］を選択して［読ん de!! ココ パーソナル］の［変更 / 削除］ボタンをクリックします。
   Windows XP の場合は、［読ん de!! ココ パーソナル］を選択して［変更と削除］ボタンをクリックします。

4. **［はい］をクリックします。**

5. ［OK］をクリックします。

これで読ん de!! ココの削除は完了です。

Macintosh の場合

1. ソフトウェア CD-ROM をセットします。
2. 画面を下のほうにスクロールさせ、［読ん de!! ココ］フォルダをダブルクリックします。

3. ［読ん de!! ココ インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

4. ［続ける］ボタンをクリックします。

5. **使用許諾契約の内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。**

6. **「お読みください」の内容を確認し、［続ける］ボタンをクリックします。**

7. **ポップアップメニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］ボタンをクリックします。**

8. **［終了］ボタンをクリックします。**

これで読ん de!! ココの削除は完了です。

PhotoImpression の起動方法

ここでは、PhotoImpression のインストール後の起動方法をご説明します。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］をクリックします。

2. 表示された一覧の中から［ArcSoft PhotoImpression］を選択します。

3. 表示された一覧の中から［PhotoImpression x.x］をクリックします。

PhotoImpression からの EPSON TWAIN 起動方法

ここでは、PhotoImpression から EPSON TWAIN を起動する方法をご説明します。

1. ［カメラ / スキャナ］ボタンをクリックします。

2. ［EPSON Colorio Copy FB］を選択します。

3. ［取り込み］ボタンをクリックします。

PhotoImpression の削除

PhotoImpression を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

Windows の場合

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［ArcSoft PhotoImpression］にカーソルを合わせ、［削除］をクリックします。**

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］－［ArcSoft PhotoImpression］にカーソルを合わせ、［削除］をクリックします。

2. **［はい］をクリックします。**

3. **削除が終了すると次の画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックします。**

これで PhotoImpression **の削除は終了です。**

Macintosh の場合

1. **［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。**

ポイント

ハードディスクの名前を変更している場合、アイコンの名前が［Macintosh HD**］ではない場合があります。また、インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。**

2. **［PhotoImpression］フォルダをゴミ箱に捨てます。**

これで PhotoImpression **の削除は終了です。**

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス / サポートをご案内いたします。

エプソン FAX インフォメーション

エプソン製品に関する最新情報を FAX でお知らせします。最新ドライバ情報、Q&A 集など、製品のご使用に関しても有効な情報が 24 時間いつでも取り出せます。FAX 付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけになり、音声案内に従って操作してください。ご希望の資料はメニュー（資料番号００）で資料番号をご確認ください。

FAX 番号	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

カラリオインフォメーションセンター

エプソンプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。
電話番号	

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

エプソン販売 WWW SERVER	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て触れて操作できるショールームです。所在地については「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

エプソンディスクサービス

最新のプリンタドライバなどを有償でご用意いたします。エプソンディスクサービスでは、発送に関するお問い合わせについてのみお答えいたします。技術的な質問に関しましては、インフォメーションセンターへお問い合わせください。

入手方法

1. 「エプソン ＦＡＸ インフォメーション」から「各種最新ドライバのご案内と入手方法について」を入手してください。

2. 郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。

3. エプソン ＦＡＸ インフォメーションにて入手した申込書に必要事項を記入し、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼付して、エプソンディスクサービスに ＦＡＸ（もしくは郵送）にて送付してください。

パソコンスクール

専任のインストラクターが、エプソン製品のさまざまな使用方法を楽しくわかりやすく効果的にお教えいたします。

お問い合わせ先	「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

保守サービス

保守サービスのご相談、お申し込みは次のいずれかで承ります。

お買い求めいただいた販売店	
エプソン修理センター	お問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

修理に出すときは

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。
エプソン修理センターのお問い合わせ先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けした時にお支払いください。
ドア to ドア	• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代）

通信販売のご案内

エプソン製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ : http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号 :0120-251-528（フリーダイヤル） 受け付け時間 :AM9:30 ～ PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAX で	「FAX 情報サービス」をご利用ください。ファクシミリ付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください。必要な情報が 24 時間いつでも取り出せます。 FAX 番号 : 03-4306-1182 「FAX 情報サービスメニュー」の BOX 番号は 001 です。

※ 電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします。（在庫分のみ。）
お届け予定日	本州・四国…翌日　北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取り扱いカード : UC、JCB、VISA、Master、NICOS 支払い回数 : 1 回払い
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。 電話番号 : 0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。　5,000 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のインターネット、電話、FAX にてご確認ください。

その他の情報

印刷後の用紙の保存方法

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

ポイント

- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご参照ください。

乾燥方法

乾燥していない状態でアルバムなどに保存するとにじみが発生することがありますので、印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまずそれぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを一枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。

注 意

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は、以下の説明を参照して速やかに保存・展示を行ってください。

クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存

光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

ガラス付き額縁に入れて展示

空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

ポイント

- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- 光沢フィルム・OHP シート・ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどには入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

注意

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。

解像度とは？

より美しい画像を印刷するためには、本機の性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと本機の解像度についてご説明します。

解像度とは

デジタルカメラなどの画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。
ですから、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いことになります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」［25.4mm あたりのドット数（Dot per Inch）］という単位で、これは、25.4mm（1 インチ）当りにどれだけの点が含まれているかを示しています。

例えば、本機の特長の一つである 1440dpi 印刷とは、25.4mm（1 インチ）の長さ当りに 1440 個のインクの点を並べて打つことにより画像を構成していることを意味します。

画像データの解像度と本機の解像度の関係

本機の持つ 1440dpi 高記録解像度で印刷しても、画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。本機の解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。
基本的には、画像データの解像度を上げれば画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。本機の出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータをご用意ください。

100dpiの画像データ

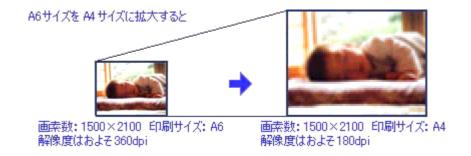
240dpiの画像データ

ポイント

本機の各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合。）
黒インクのみを使用してモノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

印刷モード（品質）	画像データの解像度の目安
	100dpi　200dpi　300dpi　400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●

印刷サイズと解像度の関係

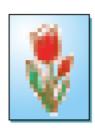
1 つの画像データに含まれる点（ドット）の総数を画素数（ピクセル数）と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り、拡大 / 縮小してもその数は変わりません。
つまり、先ほど説明したように、300dpi の画像データは、そのままのサイズで印刷すれば、十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）も大きくなることで、解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。
逆に、画素数の多いデータを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

下表は、各入力装置で生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量（ファイルサイズ）と、印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。※ランクの場合は、画像データの解像度をアプリケーションソフトなどで調整する必要があります。

入力装置 / 品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	印刷サイズ			
					A6	A5	B5	A4
デジタルカメラ	35 万画素	-	640 × 480	900KB	○	△	△	△
	87 万画素	-	1024 × 768	2.3MB	◎	○	○	△
	130 万画素	-	1290 × 960	3.52MB	◎	◎	○	○
	214 万画素	-	1600 × 1200	5.5MB	◎	◎	○	○
	314 万画素	-	2048 × 1536	9.0MB	※	◎	◎	◎
フィルムスキャナ	1200dpi		1700 × 1100	5.4MB	◎	◎	○	○

フラットヘッドスキャナ	300dpi	4 × 6	1200 × 1800	6.2MB	◎	◎	○	○
		A4	2550 × 3600	26.3MB	※	※	※	◎
	600dpi	4 × 6	2400 × 3600	24.7MB	※	※	◎	◎
		A4	5100 × 7200	105.1MB	※	※	※	※
	1200dpi	4 × 6	4800 × 7200	100MB	※	※	※	※
		A4	10200 × 14000	420MB	※	※	※	※
Photo CD	BASE	-	768 × 512	1.1MB	○	△	△	△
	4BASE	-	1536 × 1024	4.5MB	◎	◎	○	○
	16BASE	-	3072 × 2048	18.0MB	※	※	◎	◎

※ オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高画質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
△推奨外：用紙サイズに対し画素数が少なすぎます。印刷結果の品質は期待できません。

画像の解像度の調整方法

写真などの画像データは、解像度高すぎるとデータ容量が大きくなり、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
ここでは、本機の出力解像度に合わせた適度な解像度のデータを用意するために、解像度の調整方法をご説明します。

ポイント

- 画像ファイルの解像度を変更するためには、画像修正用のアプリケーションソフトが必要です。
- ここで使用している画面は Adobe Photoshop のものです。
- 低解像度の画像の印刷品質は解像度を上げても、ほとんどの場合向上しません。

1. 画像修正用のアプリケーションソフトを起動して、解像度を調節したい画像データを開きます。

2. 画像データの解像度を調整するための画面を表示します。

   設定画面は、［画像解像度］や［画像サイズ］などの項目を選択すると表示されます。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3. **画像データの解像度を調整します。**

［解像度］は、以下の表を参照して印刷したい画質に合わせて設定します。高画質に印刷するためには 240 〜 300dpi（または Pixel/inch）程度に設定するのが良いでしょう。

ポイント

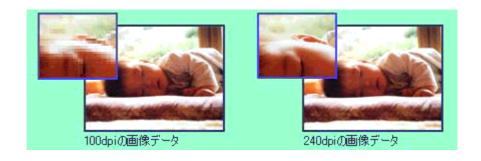
設定によっては、解像度を変更すると、ファイルサイズ（データ容量）も同時に変更されます。画像をきれいにまたは大きく印刷しようとすればするほど、ファイルサイズは大きくなります。ファイルサイズが大きすぎると、ご利用のコンピュータの性能によっては印刷に非常に時間がかかることがあります。

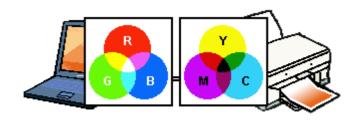
4. **変更した画像を保存します。**

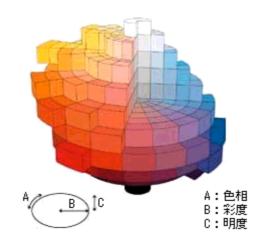
これで、解像度が変更されました。この後は、用途に応じて作業を進めてください。

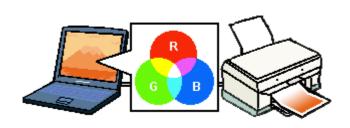
ポイント

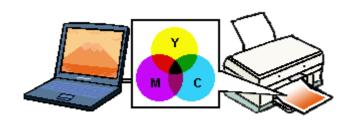
ファイルを別名で保存して、解像度の変更前と変更後を印刷して比べると、解像度についてさらに理解できます。

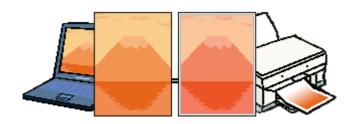
100dpiの画像データ
240dpiの画像データ

色について

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」についてご説明します。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。
彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

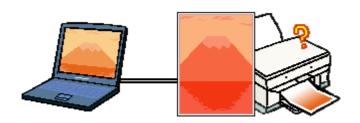
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の光が見えます。
これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。）
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。
この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。
理論的には C・M・Y の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 （BK）インクを使用し、C・M・Y・BK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。
この R・G・B → C・M・Y 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。
このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

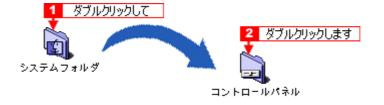
スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （C・M・Y）→ ディスプレイ （R・G・B）→ 印刷（C・M・Y）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものがあります。

ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などをいくつの色数を使って表現するかについて、設定を変更することができます。色数は［256 色］・[16bit（65000）色]・[24bit（1677 万）色］など何段階かに設定することができますが、ディスプレイ上でよりきれいに表現するためには［16bit］・[24bit］などの値に設定する必要があります。
また、ディスプレイの調整をすることで、ディスプレイ上の表示と印刷結果の色合いを近づけることができます。

ディスプレイの表示色の設定

設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたコンピューターメーカーやグラフィックスカードのメーカーへお問い合わせください。

1. **画面上のアイコンのない場所にカーソルを移動させ、右クリックしてから［プロパティ］をクリックします。**

   すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. **[設定]（または［ディスプレイの詳細]）のタブをクリックして、[色]（[カラーパレット]）のリストボックスから[High Color（16bit)］または［True Color（24bit)］などをクリックして選択します。**

   表示される内容は、ディスプレイを使用するためのドライバなどによって異なります。

3. **［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。**

   以上で、設定は終了です。

ポイント

以下の画面が表示された場合は、[新しい色の設定でコンピュータを再起動する]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。
このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、測定機器などが必要になり、また非常に手間がかかります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いを原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。**

   室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。**

3. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

4. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。**

5. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

   これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いを原稿または印刷結果に近付けることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

6. **コントロールパネルに「Adobe ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshop がインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**

   ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。

ポイント

書籍のご案内
「カラーマネージメント !」
カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。
ISBN4-87280-336-1　発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ（1998 年初版発行）

カラーイメージングシステムについて

カラーイメージングシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色− RGB と色の三原色− CMY）、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON TWAIN は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON TWAIN は、ColorSync2.0/2.5 に対応しています。
ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync2.0/2.5 に対応していなければ、ICM または ColorSync2.0/2.5 の機能は利用できません。この場合は、チェックを外してお使いください。

ICM を使用しての、取り込みから印刷までの手順（Windows）

1　［画面のプロパティ］画面でディスプレイ用のカラープロファイルを追加します。

1. デスクトップ上でマウスを右クリックし、［プロパティ］を選びます。
2. ［設定］タブをクリックし、［詳細］ボタンをクリックします。Windows XP の場合は、［詳細設定］ボタンをクリックします。
3. ［色の管理］タブをクリックし、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルを追加します。

ディスプレイ用のカラープロファイルは、ディスプレイのメーカーから提供されるものです。そのため、次の内容についてはディスプレイのメーカーにお問い合わせください。

- お使いのディスプレイ用のカラープロファイルが提供されているかどうか 。
- 提供されていれば、そのプロファイル名。提供されていない場合、ディスプレイ表示の色を原稿や印刷物に近づけることはできません。

2　印刷に使用するアプリケーションの［環境設定］などで ICM を使用するように設定します。詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
なお、印刷に使用するアプリケーションが ICM/sRGB に対応していないと、印刷物の色を原稿やモニタ表示に近づけることはできません。

3　EPSON TWAIN の［環境設定］ダイアログで、「ICM」をチェックします。

4　画像を取り込みます。

5　ICM（sRGB）を利用して取り込んだ画像を印刷するときは、プリンタドライバで ICM（sRGB）を選択（オン）します。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ColorSync を使用しての、取り込みから印刷までの手順（Macintosh）

ColorSync2.0 の場合

1　コントロールパネル内の［ColorSync システム特性］アイコンをダブルクリックします。

2　お使いのディスプレイが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、［特性の設定］ボタンをクリックします。

3　お使いのディスプレイを一覧の中から選択し、［選ぶ］ボタンをクリックします。ディスプレイが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合せください。

4　EPSON TWAIN の［環境設定］ダイアログで、「ColorSync」をチェックします。

5　画像を取り込みます。

6　ColorSync を利用して取り込んだ画像を印刷するときは、プリンタドライバで ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ColorSync2.5 の場合

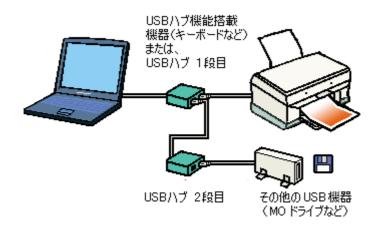
1. **コントロールパネルの［ColorSync］アイコンをダブルクリックします。**
2. **［システム特性］項目で、お使いのディスプレイを選択します。（その他の項目は設定する必要はありません。）ディスプレイが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合せください。**
3. **EPSON TWAIN の［環境設定］ダイアログで、「ColorSync」をチェックします。**
4. **画像を取り込みます。**
5. **ColorSync を利用して取り込んだ画像を印刷するときは、プリンタドライバで ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。**

USB について

複数の USB 機器を接続する方へ

1 台のコンピュータに、スキャナのほかにも USB 機器を接続して使用する場合は、「USB ハブ」を別途ご用意ください。

USB 機器が本機のみの場合

複数の USB 機器を接続する場合

USB 接続では、マウス・スキャナ・プリンタなどの周辺機器を、1 つのインターフェイスで最大 127 台まで接続することができます。
USB ハブがない場合は、使用したい機器をその都度つなぎ変える必要があります。

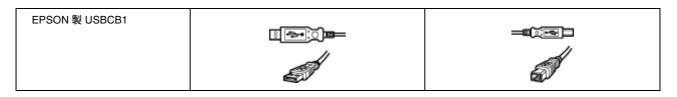
ポイント

USB ハブに接続する場合は、必ず、コンピュータに直接接続している USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作の保証は致しかねます。USB ハブについては、コンピュータをお買い上げの販売店にご相談ください。

USB ケーブルについて

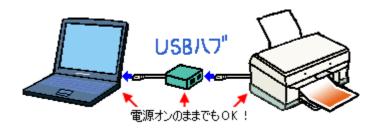
スキャナとの接続には、同梱の USB ケーブルをお使いください。なお、エプソンでは以下のケーブルをご用意しております。（別売）

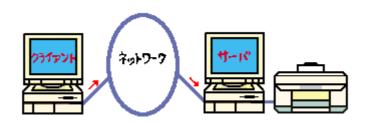
型番	タイプ A コネクタ（コンピュータ側）	タイプ B コネクタ（USB 機器側）

EPSON 製 USBCB1		

USB ケーブルは、コンピュータ側（上位）と USB 機器側（下位）に接続するコネクタの形状が異なります。

USB の基礎知識

- 電源をオン / オフする順序は、USB 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。

- USB 接続では、コンピュータや USB 機器の電源がオンの状態のまま、USB 機器を接続したり、外すことができます。

ネットワークでプリンタを共有する方法

ネットワーク環境が整っている場合は、本機をネットワーク上で共有プリンタとしてお使いいただくことができます。以下のイラストで示すように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタをネットワーク上で共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。ここでは、プリンタを直接接続し、ほかのユーザーに共有させるコンピュータをプリントサーバと呼び、そのプリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。

以下の手順は、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされていることを前提に記述しています。

プリントサーバ側の設定

共有するプリンタにインターフェイスケーブルで直接接続している Macintosh は、以下の設定を実行してください。

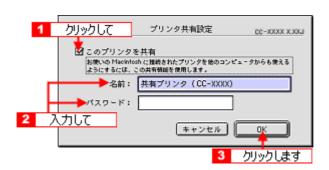
1. 画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。

2. 本機のアイコンをクリックしてから［設定］ボタンをクリックします。

ポイント

- ［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- Apple Talk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。

3. ［このプリンタを共有］チェックして、［OK］ボタンをクリックします。

   共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力するとほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4. 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

クライアント側の設定

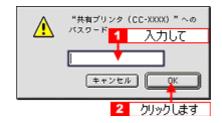
共有されたプリンタを利用する場合は、以下の手順に従ってください。

1.　画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。

2.　本機のアイコンをクリックして、［ポートを選択］の一覧に表示されている共有設定をしたプリンタ（CC-XXXX）をクリックして選択します。

［Apple Talk］ゾーンが複数存在する場合は、目的のプリンタが接続された Macintosh を含む［Apple Talk］ゾーンを選択してください。

ポイント

- ［Apple Talk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。
- 本機の名称が変更されている可能性があります。本機を直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。パスワードが不明な場合は、ご利用のネットワーク管理者にご確認ください。

3. 画面左上の［クローズボックス］をクリックして画面を閉じると、設定は終了です。

ポイント

上の画面で［情報］ボタンをクリックすると、お使いの Macintosh（クライアント側）にはインストールされていて、本機を直接接続している Macintosh（プリントサーバ側）にはインストールされていないフォントや本機で印刷することのできないフォントが表示されます。印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。

印刷中に別の作業をする方法（バックグラウンドプリント）

バックグラウンドプリントを［入］に設定すると印刷中に Macintosh をほかの作業に使用することができます。また、バックグラウンドプリントを［入］に設定すると、画面上に EPSON Monitor3 が表示され、印刷中のデータの情報や、印刷の進行状況、インク残量などの確認のほか、印刷の中止や削除なども実行することができます。

バックグラウンドプリントの設定 1

バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで「バックグラウンドプリント」を［入］にします。

バックグラウンドプリントの設定 2

［印刷］画面からも、バックグラウンドプリントの設定をすることができます。ボタンをクリックして、「バックグラウンドプリント」を［入］にします。

ポイント

バックグラウンドプリントを行うと、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷に時間がかかる場合があります。

スキャナビボタンについて

スキャナビボタンを使うと、画像を取り込んだ後、目的のアプリケーションを直接起動し、取り込んだ画像をそのアプリケーションに転送して使用することができます。

スキャナビボタンを使ってできること

スキャナビボタンを押すと EPSON SMART PANEL を起動します。EPSON SMART PANEL の機能を使用すると、取り込んだ画像をメール送信、カード・カレンダー作成など、さまざまなアプリケーションで利用することができます。

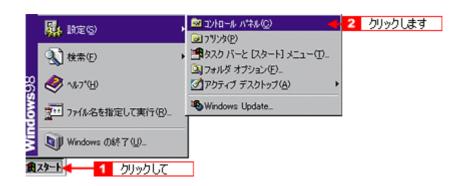
ポイント

スキャナビボタンを使った簡単操作で、画像の取り込みだけでなく、その先のやりたいことも実現できます。
スキャナビボタンを押すだけで EPSON SMART PANEL を起動します。さらに EPSON SMART PANEL の機能を使えば、画像の取り込みもやりたいこともすぐに実現できます。
また、EPSON SMART PANEL のメイン画面で、スキャナビボタンを押したときに起動する EPSON SMART PANEL の機能を設定できます。例えば、DPE に設定した場合、スキャナビボタンを押すと DPE 機能に対応するアプリケーション（EPSON Easy Photo Print）が起動します。

スキャナビボタンを押しても EPSON SMART PANEL が起動しない場合

Windows 98/Me/2000/XP で、ボタンを押しても EPSON SMART PANEL が起動しない場合には、次のように設定します。

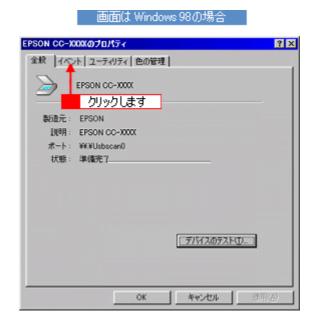
1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

   Windows XP の場合は、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックし、［スキャナとカメラ］をクリックします。

3.　EPSON CC-xxxx を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

Windows XP の場合は、CC-xxxx を選択し、[デバイスのプロパティを表示する] をクリックします。

4.　[イベント] タブをクリックします。

5.　EPSON SMART PANEL を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

画面は Windows98の場合

EPSON GT-xxxxのプロパティ

全般 イベント ユーティリティ 色の管理

EPSON GT-xxxx

スキャナ イベント(E)

スキャナビボタン

次のアプリケーションに送る(S):

EPSON Easy Photo Print
EPSON SMART PANEL
Imaging
Yonde
読んde!!ココ パーソナル

1 クリックして

デバイスのイベントを実行しない(D)

OK

2 クリックします

ポイント

［デバイスのイベントを実行しない］チェックボックスにはチェックしないでください。ここがチェックされていると、スキャナビボタンを押しても動作しません。

スキャナとカメラについて

Windows のコントロールパネルに登録される［スキャナとカメラ］についてご説明します。［スキャナとカメラ］では、接続状態やイベントの設定を行うことができます。

1. ［スタートボタン］をクリックします。［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

   Windows XP の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。

   Windows XP の場合は、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックし、［スキャナとカメラ］をクリックします。
   ［スキャナとカメラのプロパティ］画面が表示されます。

3. ［EPSON CC-xxxx］を選択して、［プロパティ］ボタンをクリックします。

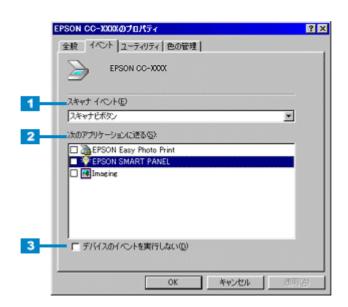
   Windows XP の場合は、CC-xxxx を選択し、［デバイスのプロパティを表示する］をクリックします。
   ［EPSON CC-xxxx のプロパティ］画面が表示されます。

ポイント

［EPSON CC-xxxx #2］と表示されている場合は、USB ポートが正しく認識されていないので、USB ポートを変更してください。

[全般] 画面

1	ポート	本機またはスキャナが接続されているポートを表示します。	
2	状態	接続状態を表示します。	
		準備完了	正しく接続されていて、取り込みが可能です。
		使用不可	接続に問題があるため、取り込みが行えません。 この場合は、[スキャナとして認識されない] を参照して対処してください。 「スキャナが認識されない」
3	デバイスのテストボタン	接続状態のテストを行うことができます。 (Windows 2000 の場合は、[スキャナまたはカメラのテストボタン]。)	

[イベント] 画面

1	スキャナイベント	スキャビボタンなどのイベントを発生させるボタンを選択します。本機の場合、スキャナビボタンのみ選択可能です。

2	次のアプリケーションに送る	イベントに対応したアプリケーションの一覧を表示します。通常は、EPSON SMART PANEL のみ選択して（チェックを付けた状態）ください。
3	デバイスのイベントを実行しない	このチェックボックスをチェックしておくと、スキャナビボタンを押しても動作しません。

［ユーティリティ］画面

1	スキャナの情報	インターフェイスやオプションの情報を表示します。本機の場合、インターフェイスは USB と表示されます。
2	EPSON Colorio Copy FB のデフォルトスキャナとする	本機と、CC-700 など複数のカラリオコピーを接続している場合、このチェックボックスをチェックすると、TWAIN（EPSON Colorio Copy FB）使用時のデフォルトのスキャナとして設定されます。

スキャナとカメラのプロパティ画面の［ログの設定］、および各デバイスのプロパティ画面の［色の管理］画面は使用しません。

ノズルチェック

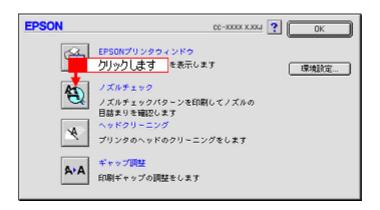
ノズルチェックとは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷結果に白い横スジが入る場合は、ヘッドクリーニングを実行してノズルの目詰まりを除去してください。

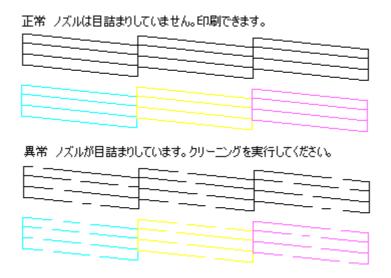
ノズルチェックは、エラーランプの点灯、点滅中は実行できません。まず、エラーを解除してください。
「操作パネルのエラー表示一覧」

コンピュータからの実行方法

1. 本機の電源をオンにし、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚本機にセットします。

2. プリンタドライバの［印刷］画面を開き、ボタンをクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。

3. ［ノズルチェック］ボタンをクリックします。

4. ［実行］ボタンをクリックします。

5. 印刷結果に白い横スジが入っていないかを確認します。

6. 目詰まりしていない（各色横スジが入らずに印刷されている）場合は、［終了］ボタンをクリックします。目詰まりしている（白い横スジが入っている）場合は、［クリーニング］ボタンをクリックしてプリントヘッドをクリーニングします。

［クリーニング］ボタンをクリックするとプリントヘッドのクリーニングが始まります。クリーニングが終了したら、もう一度ノズルチェックを実行して目詰まりが解消されたか確認してください。

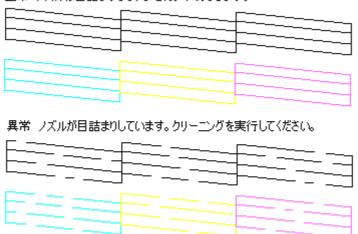
本機からの実行方法

ノズルチェックがコンピュータから実行できない場合は、本機の操作パネルで実行してください。

1. **本機の電源をオンにして、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚本機にセットします。**

2. **メニューボタンを繰り返し押し、液晶ディスプレイに「ノズルチェック」と表示させ、コピーボタンを押します。**

3. **印刷結果を確認します。**

印刷結果に白い横スジが入っている場合は、ヘッドのクリーニングをしてください。

「ヘッドクリーニング」

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドのノズルを清掃する機能です。文字や画像がかすれたり、明らかに印刷データと異なる色で印刷されるなどの症状が出る場合に、次の手順に従ってヘッドクリーニングをしてください。

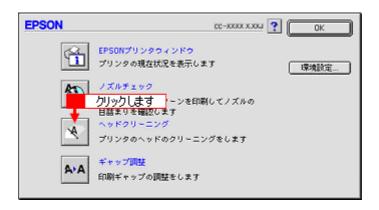
ポイント

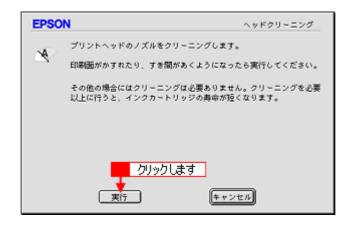
- ヘッドクリーニングは、黒とカラーのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が意図しない色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は必要ありません。
- ヘッドクリーニングは、エラーランプが点滅、または点灯しているときは行えません。この場合、まずエラーを解除してください。
  「操作パネルのエラー表示一覧」

コンピュータからの実行方法

1. 本機の電源をオンにします。

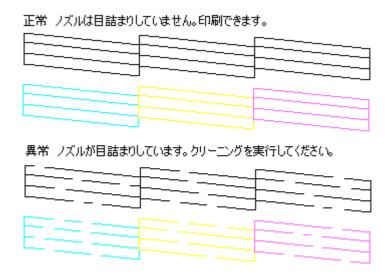
2. プリンタドライバの［印刷］画面を開き、ボタンをクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。

3. ［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。

4.　［実行］ボタンをクリックします。

本機の電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

5.　［確認］ボタンをクリックしてノズルチェックパターンを印刷します。各色横スジが入らずに印刷されていることを確認してください。

ノズルチェックパターンを印刷する場合は、A4 サイズの普通紙を本機にセットしてください。
ノズルチェックパターンを印刷しない場合は、［終了］ボタンをクリックしてください。

ポイント

印刷結果に白い横スジが入っている場合は、もう一度ヘッドクリーニングを実行してください。

本機からの実行方法

ヘッドクリーニングがコンピュータから実行できない場合は、本機の操作パネルで実行してください。

ヘッドクリーニングした後は、必ずノズルチェックを行い、クリーニング結果を確認してください。

1. **本機の電源をオンにします。**

2. **メニューボタンを繰り返し押し、液晶ディスプレイに「ヘッドクリーニング」と表示させ、コピーボタンを押します。**

   本機がヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きその間、電源ランプが点滅します。電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

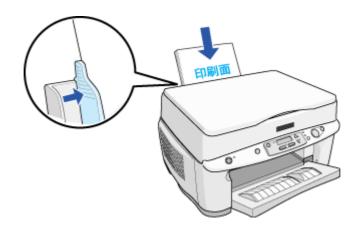
3. **ヘッドクリーニング後は、ノズルチェックパターンを印刷して白い横スジが入っていないか確認してください。**

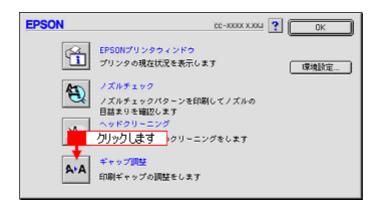
   印刷結果に白い横スジが入っている場合は、再度クリーニングを実行してください。
   「ノズルチェック」

ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。

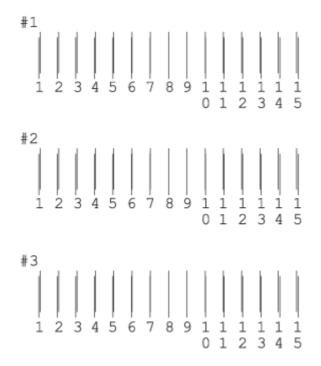
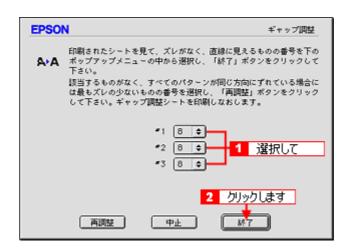
ポイント
双方向印刷をする設定になっている場合は、プリンタドライバの［詳細設定］画面の［双方向印刷］にチェックが付いています。

1. 本機の電源をオンにし、A4 サイズの普通紙を複数枚本機にセットします。

2. プリンタドライバの［印刷］画面を開き、ボタンをクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。

3. ［ギャップ調整］ボタンをクリックします。

4. ［実行］ボタンをクリックします。

5. ［続行］ボタンをクリックします。

ギャップ調整用シートが印刷されます。

6. 印刷されたシートを見て、＃1・＃2・＃3 それぞれズレのない直線に見える番号（1 ～ 15）を探します。

7. **最も直線に見えた番号をリストの中から選択し、［終了］ボタンをクリックします。**

これでギャップ調整は完了です。

ポイント

すべての直線がズレている場合は、最も直線に近い番号を選択して［再調整］ボタンをクリックし、手順 5 へ戻ります。

長期間使用しないときは

本機を長期間使用しないときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。
なお、本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し、目詰まりを起こすことがあります。ノズルの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。

注意

- インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- 本機は傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

ポイント

- 長期間使用していない本機で印刷する場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
- ヘッドクリーニングは続けて実行せずに、必ずノズルチェックパターンの印刷結果を確認してから実行してください。
- 長期間使用していないプリンタの場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 5 回以上繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、本機の電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
「ノズルチェック」
「ヘッドクリーニング」
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先については、「スタートアップガイド」の巻末をご覧ください。

本機のメンテナンス

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法で本機のお手入れをしてください。

外装面のお手入れ

1. **本機から用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **柔らかい布を使って、ほこりや汚れを注意深く払います。**

   本機外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

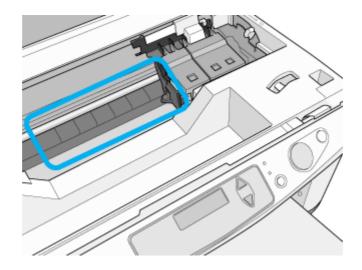
注意

- 内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めた状態でふいてください。内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本機の表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。本機表面を傷付けることがあります。

内部のお手入れ

1. **本機から用紙を取り除きます。**
2. **電源をオフにして、電源ランプが消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **スキャナユニットを開けて、よく絞った布でプリンタ内部をふきます。このとき、インクの吸収部分（スポンジ）、キャリッジ周辺部分およびプリントヘッド周りは絶対にふかないでください。**

注意

- 内部の用紙送り部分をふく場合には、突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。

- プリントヘッド手前の金属部分には、帯状の油（グリス）が塗布されています。使用しているうちに黒くなってきますが、ふき取らずにそのままの状態でお使いください。
- 白いケーブルには、手を触れないでください。

蛍光ランプが切れたときの対応方法

スキャナユニット内部にある蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『スタートアップガイド』の巻末をご覧ください。

自動メンテナンス機能について

本機には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、印刷を開始するときなどに行われます。すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。

注 意

セルフクリーニングが実行されているときに電源をオフにすると、クリーニングが終了してから電源が切れます。電源をオフにした後でも本機が動作しているときはコンセントを抜かないでください。

キャッピング

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

キャッピング位置は本機の右端です。キャッピングされているときはプリントヘッドが見えません。

キャッピングされていないときは、一度電源をオン・オフするとキャッピングされます。

注 意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。本機を使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源オンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で 電源 をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- 本機の電源がオンの状態で、コンセントを抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

プリントヘッドのノズルのお話

インクジェットプリンタのプリントヘッド先端には、ノズルという、インクを吐出するための小さな穴が多数空いています。プリンタは、その穴から小さなインク滴をものすごい速さでたくさん吐出して印刷をしていますが、この部分が長時間空気中に放置されていると、インクが乾き、ノズルが目詰まりして印刷品質が低下してしまいます。また、印刷中の用紙から生じる粉（紙粉）や小さなインクかすなどが原因でノズルが目詰まりすることもあります。

キャッピングで乾燥による目詰まりを防ぐ

油性のペンや万年筆には乾燥を防ぐための「キャップ」がありますが、プリントヘッドにもキャップがあり乾燥を防いでいます。プリントヘッドにキャップをする機能を「キャッピング」といいます。

通常、印刷が終わって数秒経過したときや電源がオフになっているときは、プリントヘッドは右端にあります。この状態のとき、プリントヘッドはキャッピングされています。キャッピングの詳細については、以下の参照先をご覧ください。
「自動メンテナンス機能について」

定期的に使用して乾燥による目詰まりを防ぐ

キャッピングがされていればプリントヘッドの乾燥を防ぐことはできます。しかし、キャッピングされていても、長期間放置していると、いつの間にかプリントヘッドが乾燥して、印刷できなくなってしまいます。
これを防ぐためには、ぜひ、プリンタを定期的に使ってください。定期的に印刷することによって、プリントヘッドは常に最適な状態に保たれます。

ヘッドクリーニングで目詰まりを防ぐ

プリントヘッドの乾燥を防ぐために、キャッピングや定期的な印刷をしていても、ノズルが目詰まりしてしまうことがあります。この原因は、印刷中の用紙から生じる粉（紙粉）や、小さなインクかすなどです。ノズルとインク滴は非常に小さいため、小さなゴミが付着しただけでも、インクが出なくなってしまいます。
これを防ぐために、プリンタは定期的にセルフクリーニング（自動的にプリントヘッドをきれいにする動作）を行っています。セルフクリーニングについては、以下の参照先をご覧ください。
「自動メンテナンス機能について」

それでも目詰まりが発生してしまった場合は、ヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニングを実行することで、ノズルの目詰まりや、付着したゴミが除去されます。ヘッドクリーニングは、プリンタドライバの「ユーティリティ」画面から実行する方法と、本機パネルのボタン操作で実行する方法があります。それぞれの方法の詳細については、以下の参照先をご覧ください。
「ヘッドクリーニング」

ユーザーズガイドの削除方法

ハードディスクの容量不足などで、インストールされているユーザーズガイドを削除する場合は、以下の手順に従ってください。

Windows NT4.0/2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

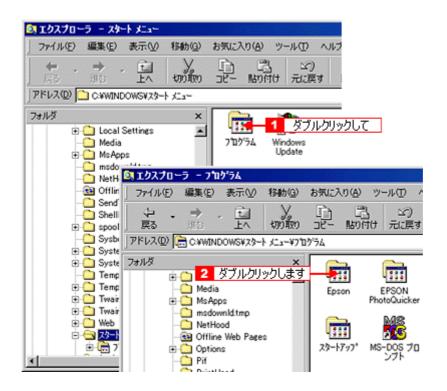
Windows の場合

1. **デスクトップ上の［EPSON CC-550L ユーザーズガイド］アイコンを右クリックして、［削除］をクリックします。**

   EPSON CC-550L ユーザーズガイド］のショートカットアイコンが削除されます。

2. **Windows の［スタート］ボタンを右クリックして、［エクスプローラ］をクリックします。**

   エクスプローラが起動されます。

3. **［プログラム］アイコンをダブルクリックして、［EPSON］アイコンをダブルクリックします。**

4. ［EPSON CC-550L ユーザーズガイド］アイコンを右クリックして、［削除］をクリックします。

5. ［はい］ボタンをクリックします。

［EPSON CC-550L ユーザーズガイド］のショートカットアイコンが削除されます。

6. ご利用の OS がインストールされているドライブの［Program Files］を選択します。

以下の画面は、ご利用の OS が C ドライブにインストールされている場合です。

7.　［Epson］フォルダをダブルクリックします。

8.　［CC550L］フォルダを右クリックして、［削除］をクリックします。

9.　［はい］ボタンをクリックします。

［CC550L］フォルダが削除されます。
以上で、ユーザーズガイドの削除は終了です。

Macintosh の場合

1. ［ハードディスク］のアイコンをダブルクリックします。

ポイント

ハードディスクの名前を変更している場合、アイコンの名前が［Macintosh HD］ではない場合があります。また、インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。

2. ［EPSON CC-xxxx マニュアル］フォルダをゴミ箱に捨てます。（ドラッグアンドドロップします。）デスクトップにショートカットアイコンがある場合には、同じようにゴミ箱に捨てます。

これで削除は終了です。

本機を輸送するときは

本機を輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

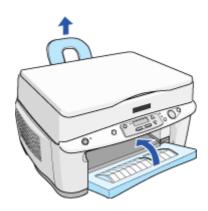
1. **本機から用紙を取り除きます。**

   用紙が本機内に残っている場合は、メニューで「キュウシ / ハイシ」を選択してコピーボタンを押し、排紙します。

2. **本機の電源がオフになっていることを確認します。**
3. **スキャナユニットを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

注意

インクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

4. **キャリッジ固定レバーをロックします。**
5. **排紙サポートを収納し、排紙トレイを閉じ用紙サポートなどの付属品を取り外します。**

6. **電源プラグをコンセントから抜き、USB ケーブルを本機から取り外します。**

7. **梱包材を取り付け、本機を水平にして梱包箱に入れます。**

上記の手順でしっかりと梱包したら、輸送の準備は整いました。

注 意

本機は傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態のまま輸送してください。

ポイント

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
「ヘッドクリーニング」

本機操作パネルの表示

本機操作パネルの表示については、以下のページをご覧ください。
「操作パネルのエラー表示一覧」

本機の仕様

本機の技術的な仕様について記載します。

基本仕様

印字方式	インクジェット
ノズル配列	ブラック：48 ノズル カラー：48 ノズル× 3 色
印字方向	双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
解像度	1440 × 720dpi（最大）※ 1
紙送り方式	ASF 式フリクションフィード
入力データバッファ	64KByte

※ 1 dpi:25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	IC1BK12（黒インクカートリッジ）
	IC3CL12（カラーインクカートリッジ）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から 6ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30 度～ 40 度 （40 度の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：－ 30 度～ 60 度 （60 度の場合 120 時間以内、40 度の場合 1ヵ月以内）
	本体装着時：－ 20 度～ 40 度 （40 度の場合 1ヵ月以内）
外形寸法	黒インクカートリッジ： 幅 20.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm
	カラーインクカートリッジ： 幅 49.1mm ×奥行き 66.85mm ×高さ 38.5mm
寿命	黒インクカートリッジ： 600 ページ（A4、ISO/IEC 10561 Letter Pattern at 360dpi）
	カラーインクカートリッジ： 300 ページ（A4、各色紙面占有率 5%, 360dpi で印刷時） ※この数値はカラーインクカートリッジを交換後、連続印刷した場合の値です。
	各インクカートリッジの寿命は、プリントヘッドのクリーニング回数によって変わります。

注意

- インクは－ 15 度以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 度）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。

- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

用紙仕様

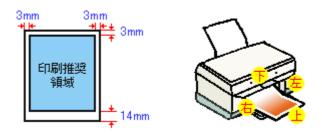
以下のページをご参照ください。
「最適な普通紙 / 専用紙の選択」
「最適なハガキの選択」
「使用できる封筒について」

印刷領域と余白について

定形紙

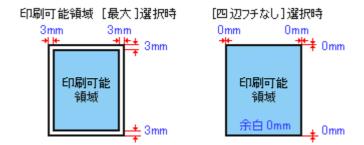
本機は、標準設定で印刷する場合、紙送りの機構上どうしても用紙の上下左右に余白が必要です。通常は上、左、右に各 3mm、下に 14mm の余白が必要ですが、プリンタドライバで設定することにより、四辺フチなし（余白 0mm）または用紙下部の余白を 3mm にすることができます。

印刷推奨領域

本機の印刷推奨領域は下図の通りです。（上 3mm、下 14mm、左 3mm、右 3mm を除く範囲。）通常はこの領域にのみ印刷されます。

ポイント

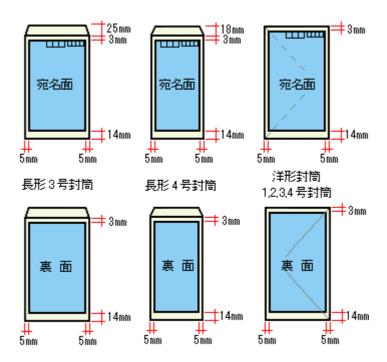
- フォトカード 2 は、「印刷推奨領域」に印刷することを前提にミシン目が入っていますので、印刷推奨領域に印刷することをお勧めします。（印刷可能領域いっぱいに印刷しても、印刷推奨領域外の部分が無駄になります。）
- 用紙幅が 216mm を超える場合は、右側の余白が 3mm 以上になります。

印刷可能領域

本機の印刷可能領域は、以下の通りです。

ポイント

- 印刷データの内容によっては、印刷推奨領域外において印刷品質が低下する場合があります。
- フチなし全面印刷は、印刷データを用紙サイズよりわずかに拡大して印刷します。そのため用紙からはみ出した部分（最大で上 3mm/ 左右 2.5mm/ 下 5mm）は印刷されません。本番の印刷前に試し印刷することをお勧めします。

封筒

封筒へ印刷する場合は、以下の領域に印刷してください。

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りデバイス	カラー CCD ラインセンサ（完全片側読み出し方式）
原稿サイズ	A4、US レターまで
最大有効領域	216 × 297mm
最大有効画素	主走査 5100 画素×副走査 7020 画素（600dpi）
解像度	主走査：600dpi 副走査：1200dpi
出力解像度	50 〜 4800dpi まで（1dpi 刻みで設定可能）
階調	12bit（入力）/1 〜 8bit（出力）
色分解方式	カラー CCD 上のフィルタ分解（R・G・B）
ズーム	50 〜 200%（1%刻み）
読み取り時間	（600dpi、A4、高速読み取りモード。データ転送時間含まず） モノクロ 2 値：2.7msec/line フルカラー：8.1msec/line

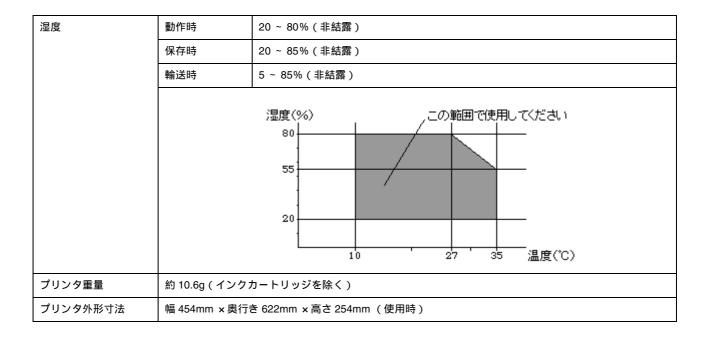
コマンドレベル	ESC/I-B7	
画像処理機能	内部演算処理	各画素各色 12 ビット処理
	ガンマ補正	出力別補正：標準 5 種 CRT 用 2 種（A,B） プリンタ用 3 種（A,B,C） ユーザー定義補正設定可能（１種）
	色補正	出力別補正：標準補正 4 種 ワイヤドットプリンタ サーマルプリンタ インクジェットプリンタ カラーモニタ（CRT） ユーザー定義補正設定可能（１種）
	明度補正	７レベル
	画像処理	2 値出力固定閾値（しきいち）単純 2 値出力 TET 処理 中間調処理出力（2 値、4 値出力 *） 平均誤差最小法中間調 3 種（A,B,C） ディザ 4 種（A,B,C,D） ユーザー定義ディザ 2 種（A,B）* 領域分離処理（AAS） * ハードウェア側の仕様。TWAIN は対応していません。
光源	白色冷陰蛍光ランプ	
原稿	写真、印刷物等の表面が滑らかなもの	

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 〜 110V
定格周波数	50 〜 60Hz
入力周波数範囲	49.5 〜 60.5Hz
定格電流	0.6A
消費電力	連続印刷時平均約 30W（ISO/IEC 10561 レターパターン印字） 待機時約 8W
漏洩電流	0.25mA 以下 [社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合]
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCI クラス B

総合仕様

プリントヘッド寿命	40 億ショット（1 ノズルあたり）	
温度	動作時	10 度〜 35 度
	保存時	− 20 度〜 40 度（40 度の場合 1ヵ月以内）
	輸送時	− 20 度〜 60 度（60 度の場合 120 時間以内、40 度の場合 1ヵ月以内）

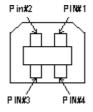
湿度	動作時	20 ～ 80%（非結露）
	保存時	20 ～ 85%（非結露）
	輸送時	5 ～ 85%（非結露）
プリンタ重量	約 10.6g（インクカートリッジを除く）	
プリンタ外形寸法	幅 454mm ×奥行き 622mm ×高さ 254mm （使用時）	

USB インターフェイス仕様

仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 1.1 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version 1.1
転送速度	12Mbps（Full speed Device）
データフォーマット	NRZI
適合コネクタ	USB Series B
許容ケーブル長	2 [m]

入力コネクタにおける信号の配列及び信号の説明

ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	-	ケーブル電源、最大電流 100mA
2	-Data	双方向	データ
3	+Data	双方向	データ、1.5kΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground	-	ケーブルグラウンド

初期化

プリンタ部

プリンタ部は次の 3 つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

初期化の種類	方法
ハードウェア	電源投入時の初期化です。プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。
ソフトウェア	ソフトウェアにより、ESC @（プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。
パネル操作	電源スイッチを切断してから 10 秒以内に再投入したとき、またはプリンタが INIT 信号を受信したときの初期化です。用紙を排出してからプリントヘッドをキャッピングします。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

スキャナ部

スキャナ部は次の 2 つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

初期化の種類	方法
ハードウェア	電源を再投入時の初期化です。 スキャナのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入出力データバッファをクリアします。
ソフトウェア	ソフトウェアにより、ESC @ （プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。 コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。スキャナのメカニズムは初期化しませんが、入出力データバッファはクリアします。

コピー動作

コピー動作の初期化方法です。

初期化の操作	動作中	待機中	コントローラ処理	スキャナ処理	プリンタ処理	再スタート方法
電源オン	有効	有効	コピー設定を初期化	ハードウェア初期化	ハードウェア初期化	-
ストップ	有効	-	コピー中断 設定はそのまま	中止	排紙	コピーボタン
パネル操作	-	有効	設定モード時：設定値初期化 コピーモード時：コピー枚数初期化	-	-	-

商標等

商標について

- Adobe、Adobe Photoshop、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE,Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 95 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) WindowsNT(R) operating system Version4.0 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) XP Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。

また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、WindowsNT4.0、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 95/98/Me］のように、Windows の表記を省略することがあります。

ヘルプ

ここでは、本ユーザーズガイドの使い方を記載しています。

本文中で使用している記号について

注意：
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

製品注意：
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本体が損傷する可能性が想定される内容を示します。

ポイント：
お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

各ボタン、ハイパーリンクについて

｜メイン｜
｜MAIN｜

メイン：
本ユーザーズガイドの最初のページ（メイン画面）を表示します。

｜内容一覧｜

内容一覧：
本ユーザーズガイドのもくじ（内容一覧）のページを表示します。

｜<<｜

前のページへ：
現在表示している画面の前のページにジャンプします。

｜>>｜

次のページへ：
現在表示している画面の次のページにジャンプします。

｜SUB MENU｜

１つ上の一覧表示へ：
現在表示している画面のひとつ上のメニューにジャンプします。

参照：
関連したページへジャンプします。

印刷時のご注意

本ユーザーズガイドを印刷する場合に、いくつかの注意点があります。

- 本ユーザーズガイドは、ブラウザでの表示を前提として制作してあります。
- 本ユーザーズガイドは、フレーム機能を使用して表示しております。印刷の際は、本文の表示されている領域を１度クリックしてから、印刷を実行してください。
- 複数ページに渡って印刷する場合、ページのつなぎ目で画像や文章が印刷されない個所が発生することがあります。
- 本文中の GIF アニメーションや表示用のオブジェクトなど、正しく印刷されない場合があります。（GIF アニメーションは、1 コマのみ印刷）
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザの［ファイル］メニュー内の［ページ設定］にて、左右の余白を 10 ミリ以下に設定してください。

- **ページ上の背景色などが印刷できない場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。**

1) ［表示］メニュー（Internet Explorer 5.0 の場合は［ツール］メニュー）内の［インターネットオプション］をクリックします。
2) ［詳細設定］タブをクリックしてからスクロールバーで設定項目をスクロールさせます。
3) ［印刷］の項目にある［背景の色とイメージを印刷 ...］のチェックボックスにチェックを付けて［OK］ボタンをクリックします。

インターネット FAQ のご案内

本書の「トラブル対処方法」をご覧いただいても、問題が解決しない。ちょっとわからないことがある。
こんな時に、お客様の環境がインターネット接続環境を備えている場合※は、インターネット FAQ をお勧めします。

※プロバイダの契約がすんでいる。メールアドレスを保有している。

インターネット FAQ

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。
ぜひご活用ください。

http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

ナビゲーションサイト

また、カラリオコピープリンタの「ナビゲーションサイト」では、本機またはカラリオコピープリンタに関する情報をまとめて掲載しております。ぜひご活用ください。

ナビゲーションサイト

http://www.i-love-epson.co.jp/guide/pcopy

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

「英数字記号」
「ア」「イ」「エ」「オ」「カ」「キ」「ク」「ケ」「コ」「サ」「シ」「ス」「セ」
「ソ」「タ」「チ」「ツ」「テ」「ト」「ニ」「ネ」「ノ」「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」「ホ」
「マ」「ミ」「メ」「モ」「ユ」「ヨ」「ラ」「リ」「レ」「ロ」「ワ」

英数字記号

180 度回転印刷
プリンタドライバの機能で、印刷イメージを 180 度回転して印刷する。

BIOS（バイオス）
Basic Input Output System の略。コンピュータを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

Bit（ビット）
コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 を表す。binary digit（２進法）の略。

BMP（ビーエムピー）
画像データを保存するファイル形式の 1 つ。Windows 上で一般的に使用されている。

Byte（バイト）
コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8Bit で構成され、1Byte で英数カナ文字 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現することができる。

DMA（ディーエムエー）転送
本機をパラレルインターフェイスに接続している場合に使用可能な、印刷を高速化するためのデータ転送方法。コンピュータが DMA 転送可能な仕様の場合のみ設定可能。

dpi（ディーピーアイ）
Dot Per Inch の略。解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印字または表示できるドット数を示す。

ECP（イーシーピー）
パラレルポートの拡張仕様の 1 つ。Extended Capability Port の略。

EPSON NATURAL PHOTO COLOR（エプソンナチュラルフォトカラー）
ディスプレイ上の色域制限（sRGB）にとらわれずに、自然界の色により近い印刷を行うための EPSON 独自の画像処理技術。

EPSON プリンタウィンドウ !3
インク残量や本機の状態をコンピュータ上でモニタすることのできるユーティリティ。プリンタドライバのインストールに続けてインストールされる。

EPSON USB プリンタデバイスドライバ
Windows 98/Me 環境で本機を USB 接続する場合に必要なソフトウェア。コンピュータに EPSON USB プリンタデバイスドライバをインストールすることで、USB 接続したプリンタがコンピュータに認識される。

ESC/P（イーエスシーピー）
Epson Standard Code for Printer の略。セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

I/O（アイオー）ポート

Input/Output Port の略。コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするための出入り口。コンピュータとプリンタの間でデータをやり取りしたり、本機のステータスをコンピュータが読み取ったりする。

I/O（アイオー）ポートアドレス

I/O ポートを区別するためにつけられた番号のこと。

ICM（アイシーエム）

Windows 98/Me/2000/XP 用のカラーマネージメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、印刷結果の色の合わせ込みを行う。

JIS（ジス）コード

Japan Industrial Standard の略。日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

JPEG（ジェイペグ）

デジタルカメラの写真データの標準的な圧縮形式。圧縮率が高い割に画像の劣化が少ない。

KByte（キロバイト）

データ量の単位。1KByte=1024Byte。

OCR（オーシーアール）

Optical Character Recognition の略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCR ソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Reader になる。

OS（オーエス）

Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows、Mac OS もその中の 1 つ。

PDF（ピーディーエフ）

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、無償配布の Acrobat Reader とソフトウェアによって閲覧できる。

RAM（ラム）

Random Access Memory の略。データなどを読み書きできるメモリ。

readme（リードミー）

ソフトウェアが収録されている CD-ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

ROM（ロム）

Read Only Memory の略。データなどの読み出し専用のメモリ。

sRGB（エスアールジービー）

Microsoft 社 /HP 社が制定した、赤（R）・緑（G）・青（B）の色の規格。

TWAIN（トウェイン）

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。
付属の EPSON TWAIN は、この TWAIN 規格に対応しているので、各種 TWAIN 対応ソフトから画像を直接取り込むことができる。

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

Web スムージング

プリンタドライバの機能の 1 つ。インターネットからダウンロードした低解像度の画像やロゴの輪郭をなめらかに印刷することができる。

Windows（ウィンドウズ）

Microsoft 社が開発した OS で、コンピュータの標準的な OS として利用されている。Windows 98/Me/2000/XP などの種類がある。

ア

アイコン

コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類、フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、さまざまな命令をコンピュータに指示する。

アジャストレバー

印刷する用紙の厚さに応じてプリントヘッドと用紙の間隔を調整するレバー。

圧縮（データ圧縮）

1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。これを「解凍」という。

アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

アンインストール（削除）

インストールした（コンピュータのシステムに組みんだ）ソフトウェアを削除すること。

イ

色補正方法

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷するデータの色バランスを整える方法。

インクカートリッジ

印刷用のインクが入った容器。

インク残量

インクカートリッジ内に残っているインクの量。

インクジェットプリンタ

プリントヘッドのノズル部分（インク吐出孔）からインクを用紙に吹き付けて印刷するプリンタ。

インク充てん

プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

印刷解像度

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm（1 インチ）幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位は dpi（dot per inch）で表す。
インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

印刷可能領域

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。定形紙に対して印刷する領域を選択する。印刷可能領域と印刷推奨領域がある。印刷可能領域を選択すると、用紙下端の余白部分が少なくなり、印刷可能な領域が広がる。ただし、用紙の種類によっては、印刷の汚れや乱れが発生する可能性がある。写真などを印刷する場合には、「四辺フチなし」を選択すると用紙の上下左右の余白をなしで印刷することもできる。

印刷先のポート

プリンタドライバからのデータをコンピュータのどのポートに出力するかを設定する項目。プリンタドライバをインストールする際に、自動的に設定される。

印刷順序

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順序を選択する。

印刷ジョブ

印刷中のデータや、印刷待ちのデータをジョブ（印刷ジョブ）と呼ぶ。

印刷推奨領域

プリンタには、紙送りの機構上、用紙の上端、下端に印刷品質を保証できない部分がある。この部分を除いた領域を印刷推奨領域という。通常は、この領域に印刷を行う。

印刷品質

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷の品質を［ドラフト］［ファイン］［スーパーファイン］［フォト ］などから選択することができる。

印刷部数

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷部数を指定する。

印刷プレビュー

印刷実行前に印刷結果の予想図を見るためのプリンタドライバの機能。

印刷方向

プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷方向を選択する。

インストーラ

CD-ROM やフロッピーディスクで提供されソフトウェアなどをコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに使用できる状態まで自動的に設定するソフトウェア。

インストール

OS やアプリケーションなどの新しいソフトウェアをコンピュータのシステムに組み込むこと。

インターネット

TCP/IP をベースとしたネットワークプロトコルによって、世界中のコンピュータを相互接続したネットワークの総称。

インターフェイス

異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやり取りするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード

標準装備されているインターフェイス以外に、さらにインターフェイスを増やしたい場合に取り付けるカード。本機に装着することはできない。

インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって、使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを接続するコネクタ。

インチ

長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

エ

エッジガイド

セットした用紙が斜めに挿入されないように、用紙の側面にあてて、給紙をガイドするもの。

エラー通知
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。本機で発生したエラーの通知方法を選択する。

エラー表示
本機にエラー（正常でない状態）が発生したときに、画面や音声でお知らせする機能。

オ

オートシートフィーダ
セットされた用紙を自動的に、連続して給紙する装置。

オートフォトファイン !4
エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化して印刷する機能。

オブジェクト
色補正を行う際に対象となるもの。

オリジナルマークの登録
スタンプマークを印刷する際、プリンタドライバのマーク名のリストボックスに、あらかじめ登録されていないオリジナルのマークを追加登録すること。

カ

改行
印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度（resolution）
画面の細やかさを表す指標で、一般に dpi ［25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）］の単位で表す。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが､コンピュータで処理しなければならないデータの容量も多くなり､印刷に時間がかかる。

解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改ページ
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

拡大 / 縮小
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データを拡大 / 縮小して印刷するときに設定する。

画素（pixel）
画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素という。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

カラー調整
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。カラー調整の方法を選択する。

カラーマッチング
原画、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

環境設定
プリンタドライバの設定画面の 1 つ。Windows では印刷速度やプログレスメータ表示、EPSON プリンタポートに関する設定を行う。Macintosh では、エラー表示やプリンタの状態を確認するタイミングなどの設定を行う。

ガンマ（gamma）
画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

キ

基本設定画面
Windows 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる設定をする。

キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐために、本機が自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整
プリントヘッドのズレを調整する機能。双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になる場合は、プリントヘッドのギャップがずれている可能性がある。その場合に調整が必要になる。

キャリッジ
プリンタ部でインクカートリッジをセットしている部分。またはスキャナ部で原稿を照射する蛍光ランプがついている部分。取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションという。

給紙
オートシートフィーダにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。

給紙補助シート
オートシートフィーダにセットした専用紙の最後の 1 枚を正常に給紙するためのシート。このシートが同梱された専用紙を使用する場合、このシートを先にセットしてから専用紙をセットする。専用紙によっては普通紙で代用する場合もある。

共有プリンタ
ネットワーク環境下において、複数のコンピュータから使用可能なように設定されたプリンタ。

ク

クライアント
ネットワーク環境下において、サーバから各種サービスを受ける側となるコンピュータ。

クリーニングシート
一部の専用紙に同梱されているヘッドクリーニング用のシート。本機では紙送りの機構上使用できない。

クリック
マウスのボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

クリップボード
ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

ケ

原色（primary color）
スキャナのカラー取り込みや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤（R)、緑（G)、青（B）の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒（K）もよく使用する。

コ

コントラスト
画像のもっとも明るい部分と暗い部分の差。差があるほどコントラストの値は大きくなる。

コントロールコード
本機の機能を制御するための、コンピュータから本機側へ送られるコード（命令符号）。

サ

サーバ
ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

左右反転
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。印刷データの左右を反転させて印刷する。

シ

システム条件
プリンタドライバを使用するために最小限必要なコンピュータの環境条件。

四辺フチなし
定形紙に印刷する際に、上下左右の余白をなしで印刷する機能。

手動設定画面
Windows 用プリンタドライバの設定画面の 1 つ。印刷品質に関わる詳細な設定をすることができる。

詳細画面
プリンタの設定画面の 1 つ。Windows の機能として表示される画面で印刷先の設定やエラー表示に関する設定などをすることができる。

詳細設定
プリンタドライバの設定項目の 1 つ。選択すると印刷品質に関連する項目を詳細に設定する画面を表示するためのボタンと用途に応じた設定を選択できるメニューが有効になる。

上質普通紙
黒色の発色に特に優れた普通紙。

使用済みカートリッジ回収ポスト
使用済みカートリッジを定期的に回収し再資源化するために回収協力販売店に設置しているカートリッジ回収用のボックス。

ショールーム
EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールーム。

初期化
プリンタを印刷可能状態に戻すこと。

初期充てん
プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値
電源スイッチをオンにしたときに選択される設定。

初期動作

電源をオンにしたときに行われる、本機のウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動くなどして、本機のエラー状態を検査する。

ス

推奨ケーブル

本機を各種コンピュータに接続するための弊社の推奨するケーブル。

推奨設定

プリンタドライバの設定項目で、各種用紙に合わせて最適な設定にしてくれる印刷モード。

スーパーファイン

印刷品質の項目の一つで、720dpi ※の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

ズーム（zoom）

画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるように取り込む機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、読み取る画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

スタンプマーク

印刷するデータにマークを重ねて印刷する機能。オリジナルのマークやテキストも登録することができる。

スプール

プリンタ出力などで、印刷データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の手法。

スプールマネージャ

印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。

スムージング

プリンタドライバの設定項目で、印刷データ内のテキストデータや線画の輪郭を、滑らかに印刷する機能。

セ

接続先（ポート）の設定

印刷データの出力先は、USB インターフェイス、ハードディスクなど複数あるが、それらの接続先（ポート）を設定すること。

設置

本機を置くこと、または置く場所のこと。

専用紙

弊社のプリンタを使用して最適な印刷結果が得られるように作られた用紙。

線数（frequency）

スクリーン線数ともいう。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する。（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。）

網点が約 25.4mm｛1 インチ｝の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi（line per inch）で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。

一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

ソ

双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷することにより、印刷の高速化を実現するための機能。

双方向通信

コンピュータと本機とで、データを双方でやり取りする機能。EPSON プリンタウィンドウ !3 では、この双方向通信機能を使用して、本機の状態などをコンピュータの画面上に表示する。

走査（scan）

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査という。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）という。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

タ

退色

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

タイムアウト

プリンタの接続に関する設定項目で、コンピュータからプリンタに印刷データを送る際の待ち時間、プリンタがデータを受信できなくなったときの送信を繰り返す時間を設定する。

ダウンロード

インターネットなどでサーバ上に保存されている、ファイル（プリンタドライバなど）を自分のコンピュータにコピーすること。

タスクバー

Windows の［スタート］ボタンがあるバーのこと。アプリケーションを起動したときに、ここに登録、表示される。

タブ

プリンタドライバの画面などで、［基本設定］［用紙設定］［レイアウト］［ユーティリティ］などの表示を切り替えるための見出し。クリックすると各画面が表示される。

ダブルクリック

マウスのボタンを " カチッカチッ " と 2 回続けて押すこと。

単純 2 値（plain bi-level）

中間調処理をしないで、1 ビット / 画素（白か黒か）で取り込む処理。線画、文字など階調性を必要としない画像の取り込みに適している。

チ

チェックボックス

プリンタドライバなどに表示される小さな正方形。これをマウスでクリックすることにより、機能を選択できる。

中間調処理（halftoning process）

画像取り込みをする際のデータ化処理の方式。取り込んだ画素を、すでに取り込んだ周囲の画素と比較しながらデータ化する。これにより、明暗のみ（2 値＝ 1 ビット / 画素）のデータにおいても、中間的な階調を擬似的に表現できる。

ツ

通信エラー
コンピュータとプリンタが通信できない場合に出るエラー。正しく印刷データが送れない場合などに発生する。エラーが発生すると画面上にエラーに関するダイアログが表示される。

通信販売
EPSON 製品の消耗品・オプションがお近くの販売店で入手困難な場合に、インターネットや FAX などで注文することができるシステム。

坪量
用紙の厚さを表す単位。（１平方メートル / グラム）

テ

ディザ処理（dithering）
画像の階調を 2 値のデータで表現するための手法の一種。

ディスクサービス
お客様により良い環境でご使用いただく為に、各種システムドライバの最新版を郵送にてご提供（実費）させていただいているサービス。

ディレクトリ
ファイルを管理するための住所のようなもの。ディレクトリは、階層化構造となっている。

デジタルカメラ用補正
プリンタドライバの設定項目で、デジタルカメラで撮影した画像を印刷するのに最も適した設定になるように、ドライバの設定を変更する機能。

デバイス
コンピュータ（CPU）に接続する機器のこと。デバイスを使用するためには、デバイスドライバというソフトウェアが必要となる。

ト

動作確認
本機が正しく動作するか確認するために、本機の内部で持っているノズルチェックパターンを印刷すること。

動作環境
本機やプリンタドライバなどが正しく動作するために必要な環境のこと。

ドライブ
フロッピーディスクや CD-ROM、ハードディスクなどを駆動する装置。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブなどと呼ぶ。

ドラッグ（drag）
マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ドラフト
プリンタドライバの印刷品質の項目で、インク消費量をセーブしながら高速に印刷する。試し印刷に向いている。

ドロップアウトカラー（dropout color）
モノクロ（明暗のみ）で取り込むときに、取り込まない特定の色のこと。赤（R）、緑（G）、青（B）のいずれかを取り込まないように指定可能。

ニ

任意倍率
プリンタドライバの項目で、印刷データをどのくらいの割合で拡大 / 縮小するか入力する。

ニュートンリング（newton ring.）
透過原稿（フィルム）の取り込みで発生する、光学的な現象。シャボン玉の表面に見える虹と同じ原理で、非常に薄い 2 層の膜があるところに発生する。（ニュートンリングは干渉縞ともいい、光の干渉で発生する。）

フィルムを表裏反対（膜面をスキャナのガラス側）にして取り込むと、ガラスとフィルム面の間に感光剤の凹凸が入るため、ニュートンリングが発生しにくくなる。

ネ

ネットワーク
複数のコンピュータ間で直接データをやり取りできるように接続すること。

ノ

ノズルチェック
プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認するために、本機の内部に保存されているパターンを印刷する機能。

濃度補正（tone correction）
濃度はトーンともいう。スキャナで取り込んだ画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く仕上げることができる。

ハ

バージョンアップ
プリンタドライバやアプリケーションソフトなどに新機能などを盛り込んで、更新すること。最新のプリンタドライバなどは、インターネットなどで情報を公開している。

排紙トレイ
プリンタから排出された用紙を受けるところ。

ハイライト
画像の最も明るい部分。

パソコンスクール
専任のインストラクターが EPSON 製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えするサービス。

発色プロセス
ディスプレイやプリンタなどの色を表現の方法。ディスプレイの発色方法は「加法混色」、プリンタの発色方法は、「減法混色」と呼ばれる。

バッファ

処理するためのデータを一時的に蓄えるためのメモリ。

バリ

用紙の切断面におこる毛羽立ち。

ヒ

ピクセル（pixel）

印刷する際に、ユーザーが制御できる画像の最小単位。

ヒストグラム（Histogram）

画像の黒（0）〜白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって。画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。

例えば、Photoshop の［レベル補正］コマンドでは、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

表示解像度

画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル。（またはドット。）ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

フ

ファイン

プリンタドライバの印刷品質の設定項目で、360dpi ※の解像度で印刷する。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常使用に最適な設定。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フィットページ

プリンタドライバの項目で、出力用紙のサイズにあわせて、自動的に印刷データを拡大・縮小する機能。

フォト

プリンタドライバの印刷品質の項目で、スーパーファイン専用紙などで 720dpi ※（マイクロウィーブ・スーパーをチェックの際、1440dpi）の解像度で印刷する。
※ dpi：25.4mm あたりのドット数（Dot Per Inch）

フォトレタッチ

画像処理ソフトウェアで画像データを読み込み、明るさやコントラストの調整など画像の加工を行うこと。

フォルダ

ファイルを分類・整理するための保管場所。

フォント

コンピュータで使われている文字。（書体）

部数

プリンタドライバの設定項目で、印刷物を何枚印刷するか設定する。

プラグアンドプレイ

コンピュータにハードウェア（本機など）を装着するだけで、自動的に動作環境が設定され、すぐに使用できる状態になる機能。

フラップ
封筒などで封を閉じる折り返しの部分。

プリセットメニュー
あらかじめ用意されている印刷目的別の設定メニュー。

プリンタ
コンピュータで処理した文字や画像を紙などに印刷する装置。

プリンタ ID
各プリンタが個々で持っている、プリンタ情報、識別番号。

プリンタケーブル
コンピュータとプリンタをつなぐケーブル。

プリンタドライバ
アプリケーションソフトの命令語を、プリンタで印刷するためにプリンタが理解できるコードに変換する、システムに組み込むソフトウェア。

プリンタドライバのインストール
本機のプリンタ機能が動作するように、システムに組み込むこと。

プリンタドライバの削除
コンピュータに組み込まれているプリンタドライバを消去すること。本機を使用しなくなった場合や、プリンタドライバを最新のものにバージョンアップする際に実行する。

プリンタドライバのバージョンアップ
プリンタドライバに新機能などを盛り込んで、更新すること。

プリンタの共有
ネットワーク上で、1 台のプリンタを複数のコンピュータが使用できるようにすること。

プリンタの接続先の設定
USB インターフェイスなどコンピュータ上のどのインターフェイスから、データを受け取るかコンピュータ上で設定すること。

プリンタの追加
新しくプリンタをコンピュータに接続した場合、[プリンタ] フォルダにプリンタを登録すること。

プリントキュー
印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

プリントサーバ
ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

プリントヘッド
用紙にインクを吹き付ける部分。

プレビュー
印刷する前に印刷全体のイメージを表示すること。

プレビュー画面
印刷する前に印刷全体のイメージを表示する画面。スタンプマークの設定など印刷前に各種設定も実行できる。

プログレスメータ
印刷の進行状態やインク残量などを表示する画面。

フロッピーディスク

コンピュータの記憶媒体（メディア）の 1 つ。

プロパティ

画面上に表示されるフォルダなどの属性。Windows でファイルアイコンやドライブアイコンなどを右クリックしたときに表示されるものをプロパティメニューと呼ぶ。

プロファイル

色補正データが記録されているファイル。

ヘ

ヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルの目詰まりを取り除く機能。目詰まりしたまま印刷を実行すると印刷結果に白いスジが入ったり、データと明らかに異なる色で印刷されるなどの現象が発生する。

変色

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）する。エプソン製専用紙も同様だが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができる。

ホ

ポート

プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

ポイント

マウスカーソルをアイコンなどに移動して、クリックする前の状態のこと。

保護具

本機を輸送時の衝撃から守るための、緩衝材やテープ。

保守サービス

EPSON 製品を万全の状態でお使いいただくためのサービス。

ポスター印刷

プリンタドライバの機能の 1 つ。1 ページのデータを 4/9/16 ページ分に拡大し、分割して印刷する機能。印刷結果をつなぎ合わせると大きなサイズの印刷結果を作ることができる。

ポップアップメニュー

▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

マ

マージン

印刷された用紙の上下左右の余白のこと。

マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する機能。

マイコンピュータ

Windows 95 以降で画面上に表示されるアイコン。ダブルクリックして開くとコンピュータ上に存在するドライブやコンピュータの各種機能を設定するための［コントロール パネル］［プリンタ］などのフォルダを表示する。

マルチサイズドット

ヘッドから吐出するインクの量を大中小と 3 タイプに吹き分けることによって、印刷ムラのない美しい出力を可能にしたエプソン独自の機能。

ミ

右クリック

マウスの右ボタンを " カチッ " と 1 回押すこと。

メ

明度

画像の明るさの度合い。プリンタドライバで調整することができる。

メモリ（memory）

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モ

モード設定

プリンタドライバの項目で、印刷モードを選択することができる。用紙に合わせて最適な設定になるように自動的に印刷する［推奨設定］、自分で選択した設定で印刷する［詳細設定］、自動的に高画質化して印刷する［オートフォトファイン!4］がある。

モアレ（moire）

印刷におけるモアレ：
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する。（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンともいい、網点の配列される角度をスクリーン角度という。）

2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像取り込みにおけるモアレ：
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャナで取り込んだときに、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去を ON にしたり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

モノクロ印刷（黒インク）

印刷データを白と黒の階調のみで表現する。[インク] 設定で [黒] を選択すると、モノクロ印刷を実行することができる。

ユ

ユーザー定義サイズ

プリンタドライバの設定項目で、定形外の用紙サイズ（用紙サイズのリストにない用紙）を登録して印刷することができます。

ユーティリティ画面

印刷品質に係わるメンテナンス機能などを実行するためのプリンタドライバの画面。

ヨ

用紙サイズ

プリンタドライバの項目で、印刷データ上で設定されている用紙のサイズをリストの中から選択する。一覧に印刷する用紙サイズがない場合は、使用する用紙サイズを設定する必要がある。

用紙サポート

本機にセットしてある用紙を支えるためのもの。用紙サポートにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なる。

用紙種類

プリンタドライバの設定項目で、本機にセットした用紙の種類を選択する。プリンタドライバでの設定と本機にセットしてある用紙の種類が異なると印刷結果がにじむなど思うような印刷品質で印刷されなくなる。

用紙設定画面

プリンタドライバの設定画面で、印刷する用紙サイズや、印刷方向などを選択する。

用紙のセット方向

本機に用紙をセットするときの、用紙の向き。印刷する用紙（往復ハガキ除く）は、すべて縦方向にセットする必要がある。

ラ

ラジオボタン

2 つまたはそれ以上の選択肢の中から 1 つだけを選択するための画面上のボタン。

リ

リストボックス

プリンタドライバなどの設定項目などで［▼］をクリックすると、選択候補が一覧となって表示される窓のこと。

レ

レイアウト画面

プリンタドライバの設定画面で、スタンプマークや割り付け印刷など用途に合わせて印刷データを加工することができる。

連続印刷

電源スイッチのオン / オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく印刷し続けること。

ロ

ローカルプリンタ

コンピュータにインターフェイスケーブルで直接接続されたプリンタのこと。

ロジカルシーキング
双方向最短距離印字機能。次の行の印字位置への移動が最短距離になるように判断して改行する機能。

ワ

割り付け印刷
プリンタドライバの機能の 1 つ。1 枚の用紙に 2 ページまたは 4 ページのデータを割り付けて印刷する。

割付 / ポスター
プリンドライバの設定項目の 1 つ。1 枚の用紙に 2/4 ページのデータを割り付けて印刷したり、逆に 1 ページのデータを 4/9/16 ページに拡大し、分割印刷する機能。